BOOK NEWS from MARUZEN-YUSHODO

2024.01.10 作成

2023 年 12 月新聞書評に掲載された本

にがにが日記

岸 政彦 著

新潮社

生活史研究で知られ、大阪と沖縄、そして音楽に魅せられた社会学者が綴る、発見と内省、諧謔と哀切に満ちた日記。『新潮』『考える人』掲載に、最愛の猫とのかけがえのない日々を書き下ろした「おはぎ日記」を併録。

産経新聞 2023/12/03

2023:10./ 347p
978-4-10-350724-6
¥2,200〔税込〕

うるさいこの音の全部

高瀬 隼子 著

文藝春秋

ゲームセンターで働く長井朝陽の日常は、ペンネームで書いた小説が新人賞を受賞してから軋みはじめる。小説と現実の境界があいまいになっていき…。表題作に「明日、ここは静か」を併録。『文學界』掲載を単行本化。

産経新聞 2023/12/03

2023:10./ 262p
978-4-16-391761-0
¥1,760〔税込〕

デウスの城

伊東 潤 著

実業之日本社

彦九郎と善太夫、左平次は、幼馴染のキリシタン侍。関ケ原の戦いに敗れて主家を失い、全く別の道を歩むことになった 3 人は、島原の乱で敵同士となり再会を果たし…。Web ジェイ・ノベル連載を加筆し単行本化。

産経新聞 2023/12/03

2023:11./ 574p
978-4-408-53845-7
¥2,530〔税込〕

●ご注文の際には，タイトル・出版社名・価格のほか、ISBN も併せてお知らせください。
●原価の改定、為替相場の変動などの理由により価格を変更する場合がございます。予めご了承の程お願い申し上げます。
●ご注文、ご照会は弊社本・支店・営業部（課）までお申し付けください。
●表示価格は 2023 年 12 月時点での税込み価格です。

MARUZEN-YUSHODO
丸善雄松堂株式会社 ［学術情報ソリューション事業部 企画開発統括部］
〒105-0022 東京都港区海岸 1-9-18 国際浜松町ビル
URL kw.maruzen.co.jp Email: marketing@maruzen.co.jp

前田久吉、産経新聞と東京タワーをつくった大阪人(叢書パルマコン・ミクロス 06)

松尾 理也 著
創元社
戦後日本のシンボルを首都に建てたのは、南大阪・天下茶屋の農家の倅だった-。多くを語らぬ、稀代のメディア実業家・前田久吉の実像に迫る。『産経新聞』大阪本社発行夕刊連載を加筆し書籍化。

産経新聞 2023/12/03

2023:11./ 333p
978-4-422-70130-1
¥2,750〔税込〕

洞窟壁画考

五十嵐ジャンヌ 著
青土社
描いた人たちはだれで、いつ、どのようにして描いたのか。そもそもいったい何のために暗い洞窟の奥に描いたのか。実際にフランスやスペインの遺跡におもむいた研究家が、洞窟壁画を様々な観点で理解できるように解説する。

産経新聞 2023/12/03

2023:10./ 466p,41p
978-4-7917-7568-2
¥4,950〔税込〕

革命と住宅(ゲンロン叢書 015)

本田 晃子 著
ゲンロン
狭小で劣悪な住宅環境と、建てられることのない紙上の「亡霊建築」に分離したソビエト/ロシアの建築の数々。建築から見えるロシアが抱える矛盾と、そこで生きる人びとの姿を論考する。『ゲンロン β』掲載を加筆し書籍化。

産経新聞 2023/12/03、読売新聞 2023/12/24

2023:9./ 346p
978-4-907188-51-1
¥2,970〔税込〕

本の栞にぶら下がる

斎藤 真理子 著
岩波書店
韓国文学翻訳の名手による読書エッセイ。埋もれた詩人や作家に光を当て、疫病や戦争に向き合ってきた経験を紐解くなど、韓国文学に止まらない古今の本を取り上げながら、その普遍性を今に開く。『図書』連載を加筆し単行本化。

産経新聞 2023/12/10

2023:9./ 212p
978-4-00-061610-2
¥1,980〔税込〕

トゥデイズ

長嶋 有 著
講談社
子育てのため、郊外にある大規模マンション「R グランハイツ」に引っ越してきた美春と恵示。築 50 年のマンションに集まり住む住人たちとともに、かけがえのない日々を重ねていく。『群像』『ことばと』掲載を単行本化。

産経新聞 2023/12/10

2023:10./ 186p
978-4-06-533308-2
¥1,760〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

吉村昭と津村節子～波瀾万丈おしどり夫婦～

谷口 桂子 著
新潮社
学習院大学で出会い、結婚し一男一女を儲けたふたりの小説家。文芸界きっての「おしどり夫婦」と評され、同志としてライバルとして、ときに苦節を乗り越えてきた知られざるドラマを、証言と資料を駆使して綴る。

産経新聞 2023/12/10

2023:10./ 207p
978-4-10-355241-3
¥1,815〔税込〕

もゆる椿

天羽恵 著
徳間書店
道場剣一筋の真木誠二郎は、尊王攘夷派の黒幕を誅殺すべく、江戸から京まで刺客の供をするよう言い渡される。鬼のような刺客と聞いて臆病者の誠二郎は怯えるが、現れたのは年端もいかない少女・美津で…。

産経新聞 2023/12/10

2023:10./ 280p
978-4-19-865709-3
¥2,090〔税込〕

名前のない鍋、きょうの鍋

白央篤司 著
光文社
仕事を終えてから冷凍野菜でサッと作るひとり鍋、釜山の母に習った鯖とキムチの蒸し煮鍋…。市井の人々の名もなき鍋を、自宅に上がり、台所で作って、食べているところまで取材。鍋を通してそれぞれの暮らしと人生を垣間見る。

産経新聞 2023/12/10

2023:10./ 189p 図版16p
978-4-334-10101-5
¥1,760〔税込〕

武器としての「中国思想」

大場 一央 著
東洋経済新報社
なぜ官僚は叩かれるのか。なぜ日本人は独創性がないと言われるのか。なぜ人間性と能力は比例するのか。気鋭の中国思想研究者が人生で大事なことを、孔子、孟子、老荘、墨子、韓非子など代表的な儒学者たちの人生から読み解く。

産経新聞 2023/12/10

2023:10./ 216p
978-4-492-04744-6
¥1,980〔税込〕

VISION 夢を叶える逆算思考

三笘 薫 著
双葉社
三笘薫は、なぜ“世界の MITOMA”になれたのか。目標や理想像に向かって自身をアップデートしていった考え方や練習法から、メンタル、食事、言葉、海外挑戦についてまで、サッカー選手としての歩みを振り返りつつ明かす。

産経新聞 2023/12/10

2023:6./ 309p
978-4-575-31806-7
¥1,650〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

だからタイはおもしろい～暮らしてわかったタイ人の「素の顔」～(光文社新書　1284)

髙田胤臣 著
光文社
経済格差、階級社会、利己主義…。一筋縄ではいかぬ「裏の顔」があるからこそ、タイはますますおもしろい! タイで働き、タイ語を話し、タイ人と結婚して家庭を持つ著者が、ほんとうのタイとタイ人の姿を伝える。

産経新聞 2023/12/17

2023:11./ 214p
978-4-334-10135-0
¥880〔税込〕

照子と瑠衣

井上荒野 著
祥伝社
照子と瑠衣。ともに 70 歳。妻を見下す夫を捨て、老人マンションの陰湿な人間関係を見限った。新天地に来て、ストレスのない暮らしを手に入れたふたりは、自分の人生を取り戻していき…。『コフレ』連載に加筆、訂正。

産経新聞 2023/12/17

2023:10./ 216p
978-4-396-63651-7
¥1,760〔税込〕

シナリオ・センター式物語のつくり方～プロ作家・脚本家たちが使っている～

新井 一樹 著
日本実業出版社
シナリオ、小説、自分史、マンガ原作…。創作のコツがわかる! プロ作家・脚本家を輩出しているシナリオ・センターが、初めてでもできる物語のつくり方を指南。何を考えればいいのか、どう書けば面白くなるのかを伝える。

産経新聞 2023/12/17

2023:7./ 300p
978-4-534-06029-7
¥1,760〔税込〕

「雪女」、百年の伝承～辺見じゅん・木下順二・鈴木サツ・松谷みよ子・そしてハーン～

遠田勝 著
幻戯書房
いつしか土着のものとして語られるようになる民話「雪女」。そのはじまりは、ラフカディオ・ハーン「怪談」だった。逆輸入された物語が既存の小話を駆逐し、古来の口碑然と書き換えられていく軌跡を、ハーン研究者が辿る。

産経新聞 2023/12/17

2023:10./ 251p
978-4-86488-283-5
¥3,080〔税込〕

歴史としての二十世紀(新潮選書)

高坂 正堯 著
新潮社
“いい人”の政治家が、なぜ戦争を起こすのか。クラウゼヴィッツの戦争論の限界とはなにか。戦争の時代に逆戻りした今、現実主義の視点から 2 度の世界大戦と冷戦を振り返る。国際政治学者・高坂正堯の幻の名講演を書籍化。

産経新聞 2023/12/17、毎日新聞 2023/12/23

2023:11./ 231p
978-4-10-603904-1
¥1,760〔税込〕

ドボク模型～大人にも子どもにも伝わる最強のプレゼンモデル～

日経コンストラクション 編
藤井 俊逸 著
日経ＢＰ社
土木災害・事故のメカニズムを模型で説明しよう。100 円ショップ等で手に入る素材を使った「ドボク模型」の作り方、説明のポイントを紹介。実験動画を視聴できる QR コード付き。『日経コンストラクション』連載等を書籍化。

産経新聞 2023/12/24

2023:12./ 183p
978-4-296-20377-2
¥3,080〔税込〕

厨房の哲学者

脇屋 友詞 著
幻冬舎
重要なのは、何かを選ぶこと。選ばなければ、人生は始まらない。選ばざるを得なかった仕事に黙々と熱狂する。運命に従え。道は開ける-。中華の巨匠が綴る、心が奮い立つ圧倒的自伝。

産経新聞 2023/12/24

2023:12./ 234p
978-4-344-04210-0
¥1,650〔税込〕

温泉旅行の近現代(歴史文化ライブラリー　582)

高柳　友彦 著
吉川弘文館
温泉旅行は、どのように今日のような身近なレジャーとして定着したのか。旅行形態や費用感、交通・情報インフラなどの変遷を追い、そのなかでの温泉地の対応にも言及しつつ、江戸から現代までの温泉旅行を通史的に描く。

産経新聞 2023/12/24

2023:12./ 7p,218p
978-4-642-05982-4
¥1,870〔税込〕

それでも私は介護の仕事を続けていく

六車　由実 著
KADOKAWA
介護とはいかなる営みなのか。最後まで希望をもって生きるとは。介護民俗学を提唱して 10 年余。コロナ禍の現場で介護の在り方を問い続け、照らし出された新境地。『カドブン』連載に書き下ろしを加え、大幅に加筆修正。

朝日新聞 2023/12/02

2023:9./ 323p
978-4-04-109829-5
¥1,870〔税込〕

石の来歴・浪漫的な行軍の記録(講談社文芸文庫)

奥泉 光 著
講談社
現実と非現実の交錯を描く芥川賞受賞作。石に異常な執着を示す男の人生。長男の死、妻の狂気、次男の学生運動、夢と現実の交錯のなかで描かれる奥泉光の芥川賞受賞作。他に「浪漫的な行軍の記録」所収

朝日新聞 2023/12/02

2009:12./ 364p
978-4-06-290070-6
¥1,760〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

ダーウィンの呪い(講談社現代新書　2727)

千葉 聡 著
講談社
自然科学に革命を起こすにとどまらず、政治・経済・文化・社会・思想に多大な影響をもたらした進化論。だが、曲解した後継者たちが「優生思想」という怪物を生み出し…。進化論が生み出した「迷宮」の謎に挑む。

朝日新聞 2023/12/02

2023:11./ 342p
978-4-06-533691-5
¥1,320〔税込〕

陸王(集英社文庫 い 73-2)

池井戸　潤 著
集英社
埼玉県行田市にある老舗足袋業者「こはぜ屋」の四代目社長は、会社存続のために足袋製造の技術を生かしたランニングシューズの開発を思い立ち…。従業員 20 名の地方零細企業が一世一代の大勝負に打って出る!

朝日新聞 2023/12/02

2019:6./ 750p
978-4-08-745883-1
¥1,100〔税込〕

のぼうの城(ビッグスピリッツコミックススペシャル)

和田　竜、花咲　アキラ 著
小学館
「この城、敵にまわしたが間違いか」とまで敵将に言わしめた、忍城の攻防戦。天下の豊臣秀吉の力を跳ね返した“のぼう”こと成田長親の、全く新しい英雄像とは…?
『美味しんぼ』の花咲アキラがベストセラー小説をコミック化!!

朝日新聞 2023/12/02

2009:5./ 275p
978-4-09-182559-9
¥680〔税込〕

あらあらかしこ<1>(フラワーコミックス)

波津 彬子 著
小学館
著名な小説家・高村紫汞先生の書生として暮らし始めた青年・杏之介。謎めく紫汞先生や貫禄たっぷりの猫・櫨染さんとの暮らしは杏之介が驚くことばかり。そんな中、先生宛に時々届く不思議な手紙を 杏之介は清書のため垣間見ることに。

朝日新聞 2023/12/02

2023:10./ 194p
978-4-09-872360-7
¥1,100〔税込〕

鉄塔武蔵野線

銀林　みのる 著
新潮社
鉄塔をこよなく愛する少年二人の、夏の日の大冒険。武蔵野線の側にある全ての鉄塔を写真におさめ、それぞれに名前をつけるという、バカバカしくも壮大な行為を描く。鉄塔写真 340 枚も収録。

朝日新聞 2023/12/02

1994:12./ 246p
978-4-10-402001-0
¥1,548〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

学校の近くの家

青木 淳悟 著
新潮社
ちょっと変わった先生。母の謎と PTA。男子と女子の攻防。隣町への小さな旅…。「5 年生男子」の視点から克明に立ち上がる、驚くべき世界像。三島賞作家による前代未聞の<小学生小説>。『新潮』掲載に書き下ろしを追加。

朝日新聞 2023/12/02

2015:12./ 201p
978-4-10-474104-5
¥1,760〔税込〕

ジュリアン・バトラーの真実の生涯(河出文庫　か 44-1)

川本 直 著
河出書房新社
アメリカを代表する作家、ジュリアン・バトラーの生涯は長きにわたって夥しい伝説的なゴシップの靄に包まれていた。しかし、2017 年、覆面作家による回想録が刊行され…。スキャンダラスに生きた恋人たちの生涯を描く。

朝日新聞 2023/12/02

2023:11./ 503p
978-4-309-42020-2
¥1,265〔税込〕

宇宙から考えてみる「生命とは何か?」入門(14 歳の世渡り術)

松尾 太郎 著
河出書房新社
宇宙での生命探査は、人類の“生命”についての考え方も変えてしまう。天文史 2500 年×生命史 2500 年×系外惑星探査の最前線を通して、これからの生命と地球を考える極上の入門書。

朝日新聞 2023/12/02

2023:10./ 238p
978-4-309-61757-2
¥1,562〔税込〕

まだ温かい鍋を抱いておやすみ(祥伝社文庫　あ 42-1)

彩瀬まる 著
祥伝社
保育園児の息子がいる素子は、友人を誘い、日帰り温泉旅行へ。そこで、家族の好みを優先するうちに、自分の食べたい物が分からなくなっていたことに気づき…。大切な「あのひと口」の記憶を紡ぐ、食にまつわる 6 つの物語。

朝日新聞 2023/12/02

2023:10./ 223p
978-4-396-35013-0
¥770〔税込〕

キレイはこれでつくれます

MEGUMI 著
ダイヤモンド社
スキンケア、メイク、体、髪、心…。キレイになって自分をもっと好きになる! プチプラコスメから美容医療まで、1000 以上の美容法を試した美容オタク MEGUMI が、本当に良かったアイテム、ハウツーを紹介する。

朝日新聞 2023/12/02

2023:4./ 191p
978-4-478-11729-3
¥1,650〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

ガンディーの真実～非暴力思想とは何か～(ちくま新書　1750)

間 永次郎 著
筑摩書房
西洋文明が生み出すあらゆる暴力に抗うガンディーの非暴力思想はいかに生まれたのか。真実を直視し、真実と信じるものに忠実であろうとしたガンディーの生涯から、後の世代に大きな影響を与えた思想の全貌と限界に迫る。

朝日新聞 2023/12/02

2023:9./ 278p,8p
978-4-480-07578-9
¥1,034〔税込〕

活版印刷三日月堂<2>　海からの手紙(ポプラ文庫　ほ 4-2)

ほしお　さなえ 著
ポプラ社
小さな活版印刷所「三日月堂」には、今日も悩みを抱えた客がやってくる。店主の弓子が活字を拾い、刷り上げるのは、誰かの忘れていた記憶や、言えなかった想い…。活字と言葉の温かみに、優しい涙が流れるシリーズ第 2 弾。

朝日新聞 2023/12/02

2017:2./ 329p
978-4-591-15329-1
¥748〔税込〕

宗教右派とフェミニズム

ポリタス TV 編
山口 智美／斉藤 正美 著
青弓社
統一教会、LGBTQ への差別、慰安婦…。1990 年代から現在までの家族や生殖、ジェンダーをめぐる右派的な政策や社会運動をまとめ、宗教右派と政治の蜜月を描き出す。ネット報道番組『ポリタス TV』をもとに書籍化。

朝日新聞 2023/12/02

2023:8./ 216p
978-4-7872-3525-1
¥1,980〔税込〕

ブラック・ジャック MISSING PIECES

手塚 治虫 著
リットーミュージック
1973 年から 1983 年にかけて連載された「ブラック・ジャック」。単行本化の際、手塚治虫自身の手によって特に大きく改変されたエピソードを中心に、オリジナル版と単行本版を比較して読めるような形で掲載。

朝日新聞 2023/12/02

2023:11./ 383p
978-4-8456-3962-5
¥4,950〔税込〕

細部から読みとく西洋美術～めくるめく名作鑑賞 100～

スージー・ホッジ 著
フィルムアート社
絵画や彫刻を「もっとよく見たい」すべての美術ファンの好奇心に応えるビジュアルブック。ルネサンスから現代までの西洋美術の名作 100 点の細部に注目し、拡大図版とともに考察・分析する。

朝日新聞 2023/12/02

2023:9./ 439p
978-4-8459-2119-5
¥4,180〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

翼～李箱作品集～(光文社古典新訳文庫　KA イ 2-1)

李箱 著
光文社
陽の差さない部屋で怠惰を愛する「僕」は、隣室で妻が「来客」からもらうお金を分け与えられて…。表題作をはじめ、近代化・植民地化に見舞われる朝鮮半島にて新しい文学を求めた孤高の男が綴った小説、詩、随筆等を収録する。

朝日新聞 2023/12/02、読売新聞 2023/12/17

2023:11./ 310p
978-4-334-10129-9
¥1,100〔税込〕

ジェンダー目線の広告観察

小林美香 著
現代書館
コンプレックスを刺激する脱毛・美容広告、バリエーションの少ない「デキる男」像…。ジェンダーの視点で公共空間にあふれる広告を読み解き、メディアリテラシーの必要性などを考察する。テキストデータ請求券付き。

朝日新聞 2023/12/02、日本経済新聞 2023/12/02

2023:9./ 182p
978-4-7684-5950-8
¥2,200〔税込〕

UFO vs.調査報道ジャーナリスト～彼らは何を隠しているのか～

ロス・コーサート 著
作品社
世界中で公然と目撃されながら、未だに「未確認」とされている UFO。ロズウェル事件から近年のケースまで、有名な UFO 目撃事件への各国当局の対応を徹底検証。国家内部での情報隠匿と開示要求をめぐる攻防をつぶさに追う。

朝日新聞 2023/12/02、日本経済新聞 2023/12/02

2023:10./ 417p 図版 16p
978-4-86182-974-1
¥3,520〔税込〕

安楽死が合法の国で起こっていること(ちくま新書　1759)

児玉 真美 著
筑摩書房
拡大していく対象者像、合法化後に緩和される手続き要件、安楽死を「日常化」していく医療現場…。安楽死が合法化された国で起こっていることに加え、世界的なコロナ禍で医師と家族が抱えた葛藤や日本の実状などを紹介する。

朝日新聞 2023/12/02、日本経済新聞 2023/12/09

2023:11./ 284p
978-4-480-07577-2
¥1,034〔税込〕

Q

呉 勝浩 著
小学館
清掃会社で働くハチは執行猶予中の身。ある日、血の繋がらない姉・ロクから連絡が入る。2 人の弟・キュウを脅す者が現れたというのだ。ダンスの天賦の才を持ち、華やかな表舞台で輝こうとする弟のため、ハチは…。

朝日新聞 2023/12/02、日本経済新聞 2023/12/23

2023:11./ 663p
978-4-09-386699-6
¥2,420〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

賃金の日本史～仕事と暮らしの一五〇〇年～(歴史文化ライブラリー 575)

高島　正憲 著
吉川弘文館
奈良時代の日本最古の賃金記録から明治期の職人の収入まで。史料を博捜し、昔の人びとの賃金の高さや生活水準に迫る分析手法を丹念に解説。1500 年にわたる日本の賃金史を数字とデータで読み解く。

朝日新聞 2023/12/02、日本経済新聞 2023/12/23

2023:9./ 6p,309p
978-4-642-05975-6
¥2,200〔税込〕

但馬日記～演劇は町を変えたか～

平田 オリザ 著
岩波書店
東京から豊岡へ移住した理由は「転勤」！ 演劇で新たな共同体を作る試みは成功したか? 劇作家・演出家である平田オリザが語る 3 年半の記録。『世界』連載を加筆修正、書き下ろしを加え単行本化。

朝日新聞 2023/12/09

2023:9./ 7p,243p
978-4-00-061608-9
¥2,530〔税込〕

夫のちんぽが入らない(講談社文庫 こ 92-1)

こだま 著
講談社
初めて体を重ねようとした夜、彼の性器が全く入らなかった。その後も 2 人は「入らない」一方で精神的な結びつきを強くしていき、結婚。しかし…。「入らない」2 人の生活を、ユーモア溢れる筆致で綴る。文庫版エッセイも収録。

朝日新聞 2023/12/09

2018:9./ 249p
978-4-06-512970-8
¥660〔税込〕

斜陽の国のルスダン(星海社 FICTIONS ナ 5-01)

並木 陽 著
星海社
ヨーロッパの東の果ての国ジョージアの女王とイスラームの王子の国の命運を賭けた一大歴史ロマンス。ジョージア大使らとの特別鼎談も収録する。宝塚歌劇星組公演「ディミトリ～曙光に散る、紫の花～」の原作。

朝日新聞 2023/12/09

2022:11./ 183p
978-4-06-529453-6
¥1,300〔税込〕

索引 ～の歴史～書物史を変えた大発明～

デニス・ダンカン 著
光文社
索引をめぐる物語は、冊子本や活版印刷の発明などの書物史とともにあり、情報処理の歴史でもある。興味深いエピソードとともに、13 世紀の写本の時代から今日の電子書籍まで連なるその道筋を描き出す。

朝日新聞 2023/12/09

2023:8./ 429p
978-4-334-10031-5
¥3,520〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

ミステリー・オーバードーズ(光文社文庫　し 51-2)

白井智之 著
光文社
探偵たちの集まった館で殺人事件が発生。その晩、彼らが口にしたワインに幻覚剤が混入していたことで、事件は思わぬ方向へ転がっていき…。異世界転生からエログロまで、“食”をテーマにした全 5 篇を収録した短篇集。

朝日新聞 2023/12/09

2023:11./ 364p
978-4-334-10118-3
¥814〔税込〕

無礼語辞典

大修館書店編集部 編
関根健一 著
大修館書店
配慮が伝わる言葉選びをサポートする辞典。使い方や相手によって無礼になる言葉約 600 項目を五十音順に並べ、例文や解説、言いかえ表現を収録。分類からさがす見出し語一覧、五十音索引付き。「品格語辞典」の姉妹編。

朝日新聞 2023/12/09

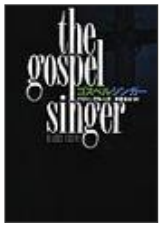
2023:8./ 256p
978-4-469-22279-1
¥1,980〔税込〕

印(創元推理文庫　M イ-7-6)

アーナルデュル・インドリダソン 著
東京創元社
母親の死後、精神的に不安定になっていた女性が自殺した。死後の世界に興味をもち、降霊術師のもとに出入りしていたことも。本当に自殺なのか。捜査官エーレンデュルは疑問を抱き…。北欧ミステリの巨人によるシリーズ第 6 弾。

朝日新聞 2023/12/09

2023:11./ 437p
978-4-488-26608-0
¥1,386〔税込〕



ゴスペルシンガー(扶桑社ミステリー　ク 32-1)

ハリー・クルーズ 著
扶桑社
ジョージア州エニグマは、行き止まりの町。その町の誰もが、美しい容姿と天使の歌声を持つカリスマ・ゴスペルシンガーの帰還を待ち望んでいて…。南部を舞台に、人の愚かしさと世界の混沌を、魂と臓腑をえぐる筆致で描き出す。

朝日新聞 2023/12/09

2023:11./ 377p
978-4-594-09510-9
¥1,320〔税込〕

キツネを飼いならす～知られざる生物学者と驚くべき家畜化実験の物語～

リー・アラン・ダガトキン／リュドミラ・トルート 著
青土社
キツネは犬になれるか? 何千年もの進化をわずか数十年で再現した、シベリアで行われたキツネの家畜化実験。実験の詳細、人間と動物を結びつけてきた深い絆、政治的陰謀など、その全貌を明らかにする。

朝日新聞 2023/12/09

2023:11./ 235p 図版 12p
978-4-7917-7592-7
¥2,640〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

母を失うこと～大西洋奴隷航路をたどる旅～

サイディヤ・ハートマン 著
晶文社
奴隷になるとは、奴隷制の後を生きるとはいかなることか。かつて奴隷が旅をした大西洋奴隷航路を遡り、歴史をはぎ取られ母を失った人びとの声をよみがえらせる、現代ブラック・スタディーズの古典的作品にして紀行文学の傑作。

朝日新聞 2023/12/09

2023:9./ 374p
978-4-7949-7376-4
¥3,080〔税込〕

台湾のアイデンティティ～「中国」との相克の戦後史～(文春新書　1434)

家永 真幸 著
文藝春秋
台湾のアイデンティティは、中国との距離感によって時代ごとに大きく揺れ動いてきた。民主化以前の台湾をめぐる政治的争点をはじめとする歴史の結び目を紐解きながら、「人」を起点に台湾現代史を描き出す。

朝日新聞 2023/12/09、朝日新聞 2023/12/16、日本経済新聞 2023/12/16

2023:11./ 261p
978-4-16-661434-9
¥1,210〔税込〕

京都～未完の産業都市のゆくえ～(新潮選書)

有賀 健 著
新潮社
「京料理が和食の代表」「インバウンドで大儲け」…これは本当に正しいのか? 地元の「洛中」礼賛一辺倒に疑問を持つ京大出身の経済学者が、「千年の都」が辿った特異な近現代の軌跡を、統計データを駆使して分析する。

朝日新聞 2023/12/09、読売新聞 2023/12/17

2023:9./ 286p
978-4-10-603901-0
¥1,925〔税込〕

---

21 世紀の金融政策～大インフレからコロナ危機までの教訓～

ベン・Ｓ・バーナンキ 著
日経ＢＰ社
インフレ、雇用、金融危機-。経済の変化にどう対応すればよいか。ノーベル経済学賞受賞の元 FRB 議長が、過去の連邦準備制度(Fed)の政策立案の歴史を解き明かし、21 世紀の Fed の金融政策の手段や新たな課題を示す。

朝日新聞 2023/12/09、日本経済新聞 2023/12/16

2023:10./ 545p
978-4-296-11627-0
¥5,280〔税込〕

指先から旅をする

藤田 真央 著
文藝春秋
20 か国・100 都市。世界が彼のピアノに恋をした。クラシック・シーンを更新し続ける 24 歳のピアニストが綴った、2 年間の全記録。世界中で撮影された公演&オフショットも満載。『WEB 別冊文藝春秋』連載を書籍化。

朝日新聞 2023/12/09、毎日新聞 2023/12/09

2023:12./ 270p
978-4-16-391784-9
¥2,200〔税込〕

基地国家の誕生～朝鮮戦争と日本・アメリカ～

南基正 著
東京堂出版
朝鮮戦争の「前線基地」であった日本。韓国における現代日本研究の第一人者が、戦後日本が「軍隊をもたず、同盟国の安全保障上の要の位置で基地の役割に徹する」基地国家として生まれ変わった過程を論じる。

朝日新聞 2023/12/09、毎日新聞 2023/12/09

2023:10./ 478p
978-4-490-21090-3
¥4,950〔税込〕

神々の復讐～人喰いヒグマたちの北海道開拓史～

中山 茂大 著
講談社
なぜヒグマは人を襲うのか? 自然界の聖域に侵入する人間たちの欲望と、それに牙を剝いた凶暴なヒグマたちによる凄惨な戦いの数々-。膨大な資料をデータベース化し、歴史に埋もれた事件群を掘り起こす。

朝日新聞 2023/12/16

2022:11./ 285p
978-4-06-529886-2
¥2,420〔税込〕

なれのはて

加藤 シゲアキ 著
講談社
テレビ局員・守谷京斗は、吾妻李久美から祖母の遺品である絵を使って「たった一枚の展覧会」を企画したいと相談され、絵を描いた謎の画家の正体を探り始める。すると、秋田のある一族が暗い水の中に沈めた業に繋がり…。

朝日新聞 2023/12/16

2023:10./ 443p
978-4-06-533143-9
¥2,145〔税込〕

免疫「超」入門～「がん」「老化」「脳」のカギも握る、すごいシステム～(ブルーバックス　B-2246)

吉村 昭彦 著
講談社
ウイルスなどの病原体はどのように感染を起こし、免疫はどのように働くのか。免疫の複雑な仕組みを基本からわかりやすく解説。がんと免疫の関係や、老化や脳との深い関わりについての最新研究も紹介する。

朝日新聞 2023/12/16

2023:11./ 238p
978-4-06-534037-0
¥1,100〔税込〕

風が吹いたり、花が散ったり(講談社文庫 あ 133-6)

朝倉 宏景 著
講談社
彼女は俺を信じている。俺は彼女に嘘をついている…。視覚障害のある女性ランナー・さちの伴走者として未体験のマラソン距離に挑む 19 歳のフリーター・亮磨。不器用な若者たちを描く青春小説。

朝日新聞 2023/12/16

2023:12./ 380p
978-4-06-534084-4
¥891〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

ずっとそこにいるつもり?

古矢永 塔子 著
集英社
物怖じしない転校生の美月。副担任の杏子は、クラスで虐めの標的になることを懸念するが…。アミの会短編アワード 2022 受賞作「まだあの場所にいる」など予想外の展開&結末の全 5 話を収録。『小説すばる』掲載を単行本化。

朝日新聞 2023/12/16

2023:10./ 236p
978-4-08-771848-5
¥1,760〔税込〕

モヤ対談

花田 菜々子 著
小学館
名物書店員が面白いと思った本の著者 20 人と、その本のテーマについて語り、日々直面する問題やこれからの生き方と社会について考える対談集。『STORY BOX』連載を単行本化。

朝日新聞 2023/12/16

2023:11./ 463p
978-4-09-389143-1
¥1,870〔税込〕

十の輪をくぐる(小学館文庫 つ 14-1)

辻堂 ゆめ 著
小学館
認知症の 80 歳の母を自宅で介護しながら、妻とバレーボール部で活躍する高 2 の娘と暮らす泰介。ある時、母が「私は…東洋の魔女」と呟いた。母が隠していた「家族の過去」とは…。

朝日新聞 2023/12/16

2023:12./ 472p
978-4-09-407318-8
¥979〔税込〕

ツキノワグマ～すぐそこにいる野生動物～

山崎 晃司 著
東京大学出版会
野生動物と人間の世界が交差する現代における両者のつきあい方とは。人間とツキノワグマの歴史をていねいにたどりながら、その生態をとらえなおし、管理や保全のための試み、これからのつきあい方を考える。

朝日新聞 2023/12/16

2017:8./ 276p
978-4-13-063348-2
¥3,960〔税込〕

動物感覚～アニマル・マインドを読み解く～

テンプル・グランディン、キャサリン・ジョンソン 著
ＮＨＫ出版
わたしはアスペルガー、そして動物の通訳者…。自閉症についての理解を広めるために世界的に活躍してきた著者が、自閉症であるからこそ知りえた動物の感覚を研究した成果を発表した科学ノンフィクション。全米ベストセラー。

朝日新聞 2023/12/16

2006:5./ 443,17p
978-4-14-081115-3
¥3,520〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

母がゼロになるまで～介護ではなく手助けをした 2 年間のはなし～

リー・アンダーツ 著
河出書房新社
風呂に入らないのも、ゴミ屋敷になるのも、お金を借りまくるのも、支援を拒否するのも、すべて母なりの理由があった-。困っていた母と困らされた私の生の記録。
note 掲載を書籍化。

朝日新聞 2023/12/16

2023:9./ 217p
978-4-309-20891-6
¥1,837〔税込〕

綿の帝国～グローバル資本主義はいかに生まれたか～

スヴェン・ベッカート 著
紀伊國屋書店出版部
綿の歴史は資本主義の歴史であり、常に暴力と強制を伴っていた-。約 5 千年前のインドでつくり始められた綿糸や綿布。5 大陸にわたる綿とそれに関わる人々の歩んだ道をたどり、現代世界の成り立ちと資本主義の本質を追究する。

朝日新聞 2023/12/16

2022:12./ 848p
978-4-314-01195-2
¥4,950〔税込〕

レビー小体型認知症とは何か～患者と医師が語りつくしてわかったこと～(ちくま新書　1766)

樋口 直美／内門 大丈 著
筑摩書房
レビー小体型認知症の早期発見のポイント、幻視や睡眠障害への対応、薬についての知識や治療で気をつけること、アルツハイマー病との違い…。高齢化社会では誰もが知っておくべきことを、患者と医師が徹底的に語りつくす。

朝日新聞 2023/12/16

2023:12./ 201p
978-4-480-07596-3
¥946〔税込〕

古本屋群雄伝(ちくま文庫)

青木　正美 著
筑摩書房
東京下町で半世紀にわたり古本屋を営む著者が、文人や趣味人、有名無名の古本屋の先達の姿を追った異色の人物伝。

朝日新聞 2023/12/16

2008:12./ 496p
978-4-480-42491-4
¥1,320〔税込〕

体育がきらい(ちくまプリマー新書　437)

坂本 拓弥 著
筑摩書房
ボールが怖い、失敗すると恥ずかしいなどの理由できらわれがちな体育だが、強さや速さよりも重要なことがある。「体育の授業がきらい」「スポーツがきらい」など「きらい」の理由を哲学で解きほぐしながら、体育の本質に迫る。

朝日新聞 2023/12/16

2023:10./ 218p
978-4-480-68461-5
¥968〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

ひゃっか!(ハルキ文庫 い 24-10)

今村 翔吾 著
角川春樹事務所
花を愛する女子高生・春乃は、父の郷里・香川で行われる「全国高校生花いけバトル」決勝大会出場を目指していたが、パートナーが見つからない。そんな中、転校生・山城貴音が大衆演劇の役者で、生け花の素養もあると聞き…。

朝日新聞 2023/12/16

2023:10./ 362p
978-4-7584-4595-5
¥836〔税込〕

フランスの子どもの育ちと家族～一人ひとりに届ける福祉が支える～

安發 明子 著
かもがわ出版
日本で生活保護ワーカーをしていてバーンアウトした著者が、フランスで出産・子育てして出会った社会のかたちとは。子どもと家族をまるごと支えて育てるフランスの子ども家庭福祉とソーシャルワークを紹介する。

朝日新聞 2023/12/16

2023:8./ 192p
978-4-7803-1280-5
¥1,980〔税込〕

庭仕事の真髄～老い・病・トラウマ・孤独を癒す庭～

スー・スチュアート・スミス 著
築地書館
世界的ガーデン・デザイナーを夫に持つ精神科医がガーデニングにめざめ、自然と庭と人間の精神のつながりに気づいていき…。心理学・神経科学等の最新知見や様々な実例、著者の個人的体験をもとに、庭仕事の深層を描き出す。

朝日新聞 2023/12/16

2021:11./ 368p,30p
978-4-8067-1626-6
¥3,520〔税込〕

戦時下の庶民日記

青木 正美 著
日本図書センター
朝日新聞 2023/12/16

1987:4./ 240p
978-4-8205-0664-5
¥1,760〔税込〕

地衣類、ミニマルな抵抗

ヴァンサン・ゾンカ 著
みすず書房
世界の縁に身を置き、抵抗の姿勢を崩さない生物である地衣類。その環境詩学を東西の文学や思考と現代アートに見出し、そこに共生の思考をさぐり、人新世の未来に伝える野心作。

朝日新聞 2023/12/16、朝日新聞 2023/12/23

2023:10./ 392p
978-4-622-09651-1
¥4,950〔税込〕

大規模言語モデルは新たな知能か～ChatGPT が変えた世界～(岩波科学ライブラリー　319)

岡野原 大輔 著
岩波書店
チャット GPT を支える大規模言語モデルとは、どのような仕組みなのか。何が可能となり、どんな影響が考えられるのか。人の言語獲得の謎も解き明かされるのか。新たな知能の正負両面をみつめ、今後の付き合い方を考える。

朝日新聞 2023/12/23

2023:6./ 140p
978-4-00-029719-6
¥1,540〔税込〕

ルポ無縁遺骨～誰があなたを引き取るか～

森下香枝 著
朝日新聞出版
死は誰にも平等に訪れる。遺体となり、火葬され、骨と灰になるが、それを誰が拾い弔ってくれるのか。高齢化と孤立化で「無縁遺骨」になる可能性は誰にでもある。その実態と墓じまいの現状を追う。『朝日新聞』連載を単行本化。

朝日新聞 2023/12/23

2023:11./ 237p
978-4-02-251949-8
¥1,760〔税込〕

地雷グリコ

青崎　有吾 著
KADOKAWA
射守矢真兎(いもりや・まと)。女子高生。勝負事に、やたらと強い。平穏を望む彼女が日常の中で巻き込まれる、風変わりなゲームの数々。次々と強者を打ち破る真兎の、勝負の先に待ち受けるものとは-。本格頭脳バトル小説。

朝日新聞 2023/12/23

2023:11./ 348p
978-4-04-111165-9
¥1,925〔税込〕

未明の砦

太田　愛 著
KADOKAWA
大手自動車メーカーで働く 4 人の非正規工員は、共謀罪の初の標的となり、公安とグローバル企業を相手に闘うことを選ぶ。4 人が決意した最後の実力行使の手段とは-。学芸通信社の配信により各紙にて掲載したものに加筆修正。

朝日新聞 2023/12/23

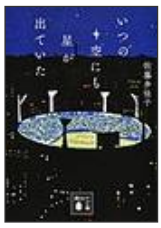
2023:7./ 609p
978-4-04-113980-6
¥2,860〔税込〕

口訳古事記

町田 康 著
講談社
イザナキとイザナミの国生み、アマテラスの「天の岩屋」ひきこもり、何度も殺されては甦ったオオクニヌシの国作り…。奔放なる愛と野望、裏切りと謀略にみちた日本最古のドラマの画期的な大阪弁訳。『群像』掲載を書籍化。

朝日新聞 2023/12/23

2023:4./ 474p
978-4-06-531204-9
¥2,640〔税込〕



いつの空にも星が出ていた(講談社文庫　さ 97-4)

佐藤　多佳子　著
講談社
さえない高校教師、未来を探して揺らぐ 10 代のカップル、奇妙な同居生活を送る青年たち、コックの父と少年野球に燃える息子。彼らをつなぐのはベイスターズを愛する熱烈な思い! 横浜ファンたちの様々な人生を描いた小説集。

朝日新聞 2023/12/23

2023:8./ 501p
978-4-06-532429-5
¥1,045〔税込〕

硫黄島上陸～友軍ハ地下ニ在リ～

酒井　聡平　著
講談社
日本兵 1 万人がいまだ行方不明という、「硫黄島の戦い」の謎。滑走路下にいるのか、それとも…。新聞記者が、民間人の上陸が原則禁止された硫黄島に 4 度上陸し、日米の機密文書も徹底調査。執念でたどりついた真実を明かす。

朝日新聞 2023/12/23

2023:7./ 335p
978-4-06-532522-3
¥1,650〔税込〕

未完の天才南方熊楠(講談社現代新書　2710)

志村　真幸　著
講談社
驚くべき才能を多方面に発揮しながら、その仕事のほとんどが未完に終わった南方熊楠。なぜ熊楠は完成を嫌ったのか? 最新の研究成果や新発見資料から熊楠の生涯を辿るとともに、その天才性と未完成の謎に迫る。

朝日新聞 2023/12/23

2023:6./ 255p
978-4-06-532636-7
¥1,034〔税込〕

水を縫う(集英社文庫　て 6-2)

寺地　はるな　著
集英社
男なのに刺繍が好きな高 1 の清澄。姉の水青は、かわいいものや華やかな場が苦手。そんな彼女のために、清澄はウェディングドレスを手作りすると宣言するが、母から反対され…。世の中の普通や当たり前を問い直す家族小説。

朝日新聞 2023/12/23

2023:5./ 260p
978-4-08-744521-3
¥693〔税込〕

環と周～Anthology of Short Stories Exploring the Many Facets of Love Through Family,Romance,and Friendship～(マーガレットコミックス　ココハナ)

よしなが　ふみ　著
集英社
家族、恋、友情……さまざまな関係性で綴られる“好きのかたち”

朝日新聞 2023/12/23

2023:10./ 217p
978-4-08-844839-8
¥748〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

サキの忘れ物(新潮文庫　つ-34-3)

津村 記久子 著
新潮社
ある日、千春はアルバイト先の喫茶店で客が忘れていった一冊の本を手にする。それは千春がはじめて読み通した本となり…。たやすくない日々に宿る僥倖のような、まなざしあたたかな短篇 9 編を収録。

朝日新聞 2023/12/23

2023:9./ 268p
978-4-10-120143-6
¥649〔税込〕

墨のゆらめき

三浦 しをん 著
新潮社
都内の老舗ホテルに勤務する続力は、招待状の宛名書きを依頼しに書家の遠田薫を訪ね、なぜか副業の手紙の代筆を手伝うことに。あらゆる筆跡を自在に書き分ける遠田と接するうち、続は文字が放つきらめきに魅せられていく。

朝日新聞 2023/12/23

2023:5./ 225p
978-4-10-454108-9
¥1,760〔税込〕

沈黙の勇者たち～ユダヤ人を救ったドイツ市民の戦い～(新潮選書)

岡 典子 著
新潮社
収容所送りを逃れて潜伏したユダヤ人のうち、約半数の 5000 人が生きて終戦を迎えられたのはなぜか。反ナチ抵抗組織だけでなく、娼婦や農場主といった無名のドイツ市民による救援活動の驚くべき実態を描き出す。

朝日新聞 2023/12/23

2023:5./ 283p
978-4-10-603899-0
¥1,925〔税込〕

都会の鳥の生態学～カラス、ツバメ、スズメ、水鳥、猛禽の栄枯盛衰～(中公新書　2759)

唐沢孝一 著
中央公論新社
自然の少ない人工的な環境の都会で、したたかに適応して生きている鳥たち。身近な鳥、珍しい鳥、意外な鳥たちの知られざる生態を紹介するとともに人間と鳥たちとの関係の変化も解説する。カラー口絵をはじめ、写真も多数掲載。

朝日新聞 2023/12/23

2023:6./ 2p,238p,図版16p
978-4-12-102759-7
¥1,155〔税込〕

ゆめはるか吉屋信子～秋灯机の上の幾山河～<上>(中公文庫　た 28-21)

田辺聖子 著
中央公論新社
栃木女子高校時代から頭角を現した信子は、竹久夢二の誘いで上京し、岡本かの子や野上弥生子らとの出会い…。大正・昭和と多くの読者に受け入れられながらも、時代と社会的偏見に晒され続けた吉屋信子の評伝。

朝日新聞 2023/12/23

2023:6./ 451p
978-4-12-207378-4
¥1,430〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

ゆめはるか吉屋信子～秋灯机の上の幾山河～<中>(中公文庫　た 28-22)

田辺聖子 著
中央公論新社
新聞の懸賞小説で「地の果まで」が 1 等に選ばれ、信子は小説家として本格的に歩み始める。流行作家として嫉妬や羨望の的になりつつも充実した日々を送るが、日中戦争が勃発し…。男性中心の文壇に挑み続けた吉屋信子の評伝。

朝日新聞 2023/12/23

2023:7./ 529p
978-4-12-207395-1
¥1,430〔税込〕

ゆめはるか吉屋信子～秋灯机の上の幾山河～<下>(中公文庫　た 28-23)

田辺聖子 著
中央公論新社
敗戦直後。信子は精力的な執筆活動を再開するも、林芙美子の急逝に呆然とする。人生の残り時間で自分が書くべきものは何か。その思いは「徳川の夫人たち」「女人平家」に結実し…。男性中心の文壇に挑み続けた吉屋信子の評伝。

朝日新聞 2023/12/23

2023:8./ 436p
978-4-12-207404-0
¥1,430〔税込〕

現代日本の新聞と政治～地方紙・全国紙と有権者・政治家～

金子　智樹 著
東京大学出版会
新聞は政治にいかなる影響を与えるのか。地方紙に光を当て、政治報道や論説の送り手としての新聞と、受け手としての有権者、政治家との関係を多面的に分析し、現代日本政治における新聞の役割を包括的に解き明かす。

朝日新聞 2023/12/23

2023:2./ 5p,254p
978-4-13-036287-0
¥6,270〔税込〕

日本的雇用システムをつくる 1945-1995～オーラルヒストリーによる接近～

梅崎　修／南雲　智映／島西　智輝 著
東京大学出版会
戦後からはじまる日本的雇用システム。その構築過程について、制度構築の当事者たち(経営者、人事担当者、労働組合、労働者、官僚など)の意図と行為の連鎖に焦点を当てながら、オーラルヒストリーの方法論を用いて分析する。

朝日新聞 2023/12/23

2023:4./ 8p,547p
978-4-13-046138-2
¥10,780〔税込〕

ラジオと戦争～放送人たちの「報国」～

大森 淳郎／ＮＨＫ放送文化研究所 著
ＮＨＫ出版
長期にわたる取材と膨大な資料渉猟から、アジア・太平洋戦争に直面した放送人たちの矜持や高揚、困惑や懊悩、才智や創意、諦念を克明に追い、戦時下ラジオの責任に真正面から向き合う。『放送研究と調査』掲載を加筆・修正。

朝日新聞 2023/12/23

2023:6./ 573p
978-4-14-081940-1
¥3,960〔税込〕

陰陽師<烏天狗ノ巻>(「陰陽師」シリーズ　短編集 16)

夢枕 獏 著
文藝春秋
晴明と博雅の変わりゆく気持ちと、変わらない絆とは…。「梅道人」「兼家奇々掻痒」「金木犀の夜」「ちび不動」「殺生石」など全 8 編を収録する。『オール讀物』掲載を単行本化。

朝日新聞 2023/12/23

2023:10./ 278p
978-4-16-391739-9
¥1,760〔税込〕

青い壺(文春文庫 あ 3-5)

有吉 佐和子 著
文藝春秋
人生の数奇な断面を描き出す名作!シングルマザーの苦悩、すれ違う夫婦、相続争いに悩む娘の言葉を聴いてドキリとする親…人間の奥深く救うドロドロした心理を 小気味よく、鮮やかに描き出す絶品の 13 話!

朝日新聞 2023/12/23

2011:7./ 345p
978-4-16-713710-6
¥781〔税込〕

エピタフ～幻の島、ユルリの光跡～

岡田 敦 著
インプレス
根室半島沖に浮かぶユルリ島では、半世紀前に漁師が島を去り、残された家畜の馬が野性化し…。固有の自然を守るために上陸することが厳しく制限され、馬だけが暮らすこの島の風景を、関係者との対話とともに伝える。

朝日新聞 2023/12/23

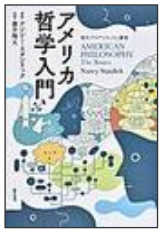
2023:6./ 240p
978-4-295-01654-0
¥2,970〔税込〕

無用の効用

ヌッチョ・オルディネ 著
河出書房新社
「無用の効用」を言い換えるなら、「<役立たず>が<役に立つ>」。役に立たない文学や芸術を愛せる人間になるために、錚々たる古の文人・思想家の言葉をたどり、生きる意志を再発見する。

朝日新聞 2023/12/23

2023:2./ 269p
978-4-309-23124-2
¥2,475〔税込〕



アメリカ哲学入門(現代プラグマティズム叢書　第 7 巻)

ナンシー・スタンリック 著
勁草書房
アメリカ哲学史における重要人物の思想を概観。ジョナサン・エドワーズ、建国の父たち、プラグマティストらに加え、女性、黒人、ネイティヴ・アメリカンなどアイデンティティをもつ論者も採り上げて、あらたな歴史観を示す。

朝日新聞 2023/12/23

2023:10./ 320p
978-4-326-19984-6
¥3,630〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

セックスする権利

アミア・スリニヴァサン 著

勁草書房

個人的で親密で、このうえなく政治的なセックスが、本当に自由になるには、なにが必要か-。女性の欲望のありかたを、世界の「セックスの政治と倫理」を、フェミニストたちの豊かな思想的蓄積から照射するエッセイ集。

朝日新聞 2023/12/23

2023:2./ 336p
978-4-326-65439-0
¥2,970〔税込〕

神奈川県関東大震災朝鮮人虐殺関係資料

姜徳相／山本すみ子 編

三一書房

関東大震災時の神奈川県における朝鮮人虐殺に関する新発見資料をまとめる。「鮮高秘収第22号(大22・11・21)震災に伴う朝鮮人並に支那人に関する犯罪及び保護状況其他調査の件」などの資料と解説を収録。

朝日新聞 2023/12/23

2023:9./ 335p
978-4-380-23004-2
¥3,300〔税込〕

デミーンの自殺者たち～独ソ戦末期にドイツ北部の町で起きた悲劇～

エマニュエル・ドロア 著

人文書院

1945年5月初め、ソ連兵の暴力を恐れたドイツ北西部の小さな町は、ドイツ史上最大規模の集団自殺の舞台になった。虐待、強姦、放火…なぜ戦時暴力は起こるのか。語られなかった戦争の悲劇を丹念に追う。

朝日新聞 2023/12/23

2023:5./ 192p
978-4-409-51098-8
¥3,080〔税込〕

関東大震災と民衆犯罪～立件された一一四件の記録から～(筑摩選書　0262)

佐藤 冬樹 著

筑摩書房

関東大震災直後から多発した、自警団による朝鮮人、中国人らに対する襲撃事件。検察が立件、起訴した600人以上の被告、約90人の日本人被害者のプロフィールを分析するなどして、民衆犯罪の全貌に迫る。

朝日新聞 2023/12/23

2023:8./ 300p,14p
978-4-480-01780-2
¥1,980〔税込〕

カブトムシの謎をとく(ちくまプリマー新書　434)

小島 渉 著

筑摩書房

知名度の高さにもかかわらず、わかっていないことが多いカブトムシ。子どものころから昆虫好きだった著者が、カブトムシの研究を始めたいきさつや、幼虫のくらし、活動時間をめぐる謎などについて解説する。

朝日新聞 2023/12/23

2023:8./ 221p
978-4-480-68457-8
¥968〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

棕櫚を燃やす

野々井　透 著
筑摩書房
唯一の心地よい関係を育ててきた父の体内に何かが棲み、余命一年であるという。春野と妹・澄香は毎日をあまさず暮らそうと約束するが…。喪失へと向かう家族を描いた表題作など全 2 編を収録する。

朝日新聞 2023/12/23

2023:3./ 157p
978-4-480-80511-9
¥1,540〔税込〕

資本主義の次に来る世界

ジェイソン・ヒッケル 著
東洋経済新報社
人類や地球に不幸と破滅をもたらさない「成長に依存しない次なるシステム」とは何か? 経済人類学者が、「アニミズム対二元論」という視点から文明を読み解き次なる社会を描く、かつてない文明論・未来論。

朝日新聞 2023/12/23

2023:5./ 296p,28p
978-4-492-31549-1
¥2,640〔税込〕

敵前の森で

古処　誠二 著
双葉社
戦後まもなく、インパール作戦の日本人指揮官・北原に、捕虜の処刑と、民間人に対する虐待の嫌疑がかけられた。語学将校の英人大尉は、腹を探るような尋問を続けるが…。『小説推理』連載に加筆、訂正。

朝日新聞 2023/12/23

2023:4./ 221p
978-4-575-24620-9
¥1,870〔税込〕

ひとりで食べたい～わたしの自由のための小さな冒険～

野村　麻里 著
平凡社
一合土鍋、新型コロナ時代の献立表、ひとり温泉の愉しみ…。「ひとりで食べること」に光を当てるエッセイ集。「孤独のグルメ」など“ひとり食本”も紹介する。『ウェブ平凡』連載を加筆修正し書き下ろしを加えて書籍化。

朝日新聞 2023/12/23

2023:6./ 211p
978-4-582-83927-2
¥1,980〔税込〕

現代ロシア政治～地域研究のファーストステップ～

油本 真理、溝口 修平、河本 和子、松嵜 英也、立石 洋子、長谷川 雄之、大串 敦、安達 祐子、富樫 耕介、長島 徹、高橋 沙奈美、藤澤 潤、加藤 美保子、長谷 直哉、岡田 美保、小泉 悠 著
法律文化社
プーチン政権が行き着いたウクライナへの軍事侵攻。ロシアでは何が起こったのか。これからどうなっていくのか。ロシア政治についての見取り図を提供する。各章の冒頭に学習すべきポイント、末尾におすすめ文献・映画を付す。

朝日新聞 2023/12/23

2023:8./ 12p,246p
978-4-589-04279-8
¥2,970〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

北海道犬旅サバイバル

服部文祥 著
みすず書房
背負っている食料は米と調味料だけ。河原で野営し、鹿を撃って食いつなぐ。サバイバル登山家が、愛犬を連れて、宗谷岬から襟裳岬まで、晩秋の北海道南北分水嶺700km をまる 2 か月かけて歩き通した旅のドキュメント。

朝日新聞 2023/12/23

2023:9./ 247p
978-4-622-09653-5
¥2,640〔税込〕

離れていても家族

品田 知美／水無田 気流／野田 潤／高橋 幸 著
亜紀書房
過酷な日本の家族の現実。自助を担う器ではなく、女性を閉じ込める檻でもなく、<ハッピーな家族>はどのように作ることができるのか。日本とイギリスの家族を調査、比較しながら、社会学者たちが日本の家族の実像を分析する。

朝日新聞 2023/12/23

2023:8./ 308p
978-4-7505-1806-0
¥2,200〔税込〕

毒の水～PFAS 汚染に立ち向かったある弁護士の 20 年～

ロバート・ビロット 著
花伝社
一度体内に取り込まれると消えることなく蓄積し、がんや潰瘍性大腸炎などの原因となる PFAS(有機フッ素化合物)。長年隠されてきた事実を暴き、巨大企業を告発した一人の弁護士の、人生を賭けた壮絶な闘いの記録。

朝日新聞 2023/12/23

2023:4./ 417p
978-4-7634-2056-5
¥2,750〔税込〕

女性の自立をはばむもの～「主婦」という生き方と新宗教の家族観～

いのうえ せつこ 著
花伝社
主婦たちが「新宗教」に魅了された 80 年代から現在に至るまで、この国の「女性の自立」をめぐって何が起き、新宗教の家族観はそこにどのように影響を及ぼしてきたのかを考察。女性の貧困、著者の父の「妾」をめぐる旅も収録。

朝日新聞 2023/12/23

2023:5./ 154p
978-4-7634-2062-6
¥1,650〔税込〕

就活の社会学～大学生と「やりたいこと」～

妹尾 麻美 著
晃洋書房
なぜ大学生は「やりたいこと」や熱意を問われ、語るようになっていくのか? 労働市場媒介者が果たす役割と大学生の状況の定義を明らかにし、就職情報サービスと行為によって成り立つ「就活」の仕組みを解明する。

朝日新聞 2023/12/23

2023:1./ 250p
978-4-7710-3693-2
¥4,620〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

共食と孤食～50 年の食生態学研究から未来へ～

足立 己幸 編
足立 己幸／衞藤 久美 著
女子栄養大学出版部
「共食」「孤食」の本質を改めて問うとともに、著者らの生活者・研究者としての実践と最新の国内外の研究の双方向から、誰ひとり取り残さない食の未来を考える。

朝日新聞 2023/12/23

2023:8./ 303p
978-4-7895-5006-2
¥2,750〔税込〕

無目的～行き当たりばったりの思想～

トム・ルッツ 著
青土社
無目的は我々を自由にする-。人間の基本的な性癖「無目的」を創造性の源として、効率的な思考や生産性の要求に対抗できるものとして擁護する著者の深い学識が、予期せぬ場所へ読者を導く書。無目的がテーマの短い文章で構成。

朝日新聞 2023/12/23

2023:7./ 197p
978-4-7917-7574-3
¥2,420〔税込〕

数学者たちの黒板

ジェシカ・ワイン 著
草思社
なぜ数学者には黒板が必要なのか。フィールズ賞受賞者を含む数学者 109 人の板書の写真と、その黒板にまつわるエッセイを収録する。数学者たちの黒板への情熱に溢れた本。

朝日新聞 2023/12/23

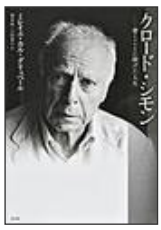
2023:7./ 239p
978-4-7942-2657-0
¥3,850〔税込〕

ムラブリ～文字も暦も持たない狩猟採集民から言語学者が教わったこと～

伊藤 雄馬 著
集英社インターナショナル
言葉とは、自由とはなにか? インドシナ最後の狩猟採集民・ムラブリ。タイとラオスの山奥に住む彼らの言語は消滅の危機にある。ムラブリ語に青春をささげた言語学者が、人間と言葉の新たな可能性を拓くノンフィクション。

朝日新聞 2023/12/23

2023:2./ 255p
978-4-7976-7425-5
¥1,980〔税込〕



クロード・シモン～書くことに捧げた人生～

ミレイユ・カル＝グリュベール 著
水声社
難解な作風で知られるノーベル文学賞受賞作家クロード・シモンの伝記。手記や創作ノート、絵画作品や写真、伯母の手帳など、さまざまな資料を検証し、作品と突き合わせながら、作家の人生の軌跡を描破する。

朝日新聞 2023/12/23

2023:6./ 407p 図版 32p
978-4-8010-0562-4
¥7,700〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

アメリカの人種主義～カテゴリー/アイデンティティの形成と転換～

竹沢 泰子 著
名古屋大学出版会
差別を生み出し続けたステレオタイプ、制度、学知などによる黒人、アメリカ先住民、アジア系移民の人種化の実態をとらえ、排除に抗うアイデンティティ形成のジレンマを提示。アートを手がかりに、固定化された対立をほどく。

朝日新聞 2023/12/23

2023:2./ 516p
978-4-8158-1118-1
¥4,950〔税込〕

冬の植物観察日記

鈴木 純 著
雷鳥社
山梨で迎えた厳しい冬と、そこにある形のない春。春は、どこからやってくるのだろう…。東京から山梨へ移住した植物観察家・鈴木純が綴った、2022 年 10 月から 2023 年 3 月までの日記。

朝日新聞 2023/12/23

2023:10./ 271p
978-4-8441-3798-6
¥2,090〔税込〕

墨夷応接録　増補新版

森田 健司 編
アーネスト・サトウ 著
作品社
日米開国交渉に関する最重要史料でありながら、一般にはほとんど知られていない「墨夷応接録」「英国策論」を現代語訳。明治維新以後 150 年の常識を覆す。原文、「日米和親条約」「下田追加条約」、解説も収録。

朝日新聞 2023/12/23

2023:11./ 354p
978-4-86182-998-7
¥3,740〔税込〕

ガラスの帽子

ナヴァ・セメル 著
東宣出版
1942 年の強制連行から約 3 年間の収容所生活とロシア軍による解放を綴った表題作など、ホロコースト生還者とその次世代がかかえる心の傷を、詩情を湛えた文体でリアリスティックに描いた短篇集。全 9 篇を収録。

朝日新聞 2023/12/23

2023:6./ 205p
978-4-88588-111-4
¥2,420〔税込〕

オアハカの動物たち(民衆藝術叢書)

岩本慎史 著
大福書林
マチェテ(山刀)を使った粗い彫り、釘で打ちつけただけの手足や尻尾…。メキシコ・オアハカ州の色あせた木彫りの動物たち「オアハカン・ウッド・カーヴィング」。その初期の色彩と造形を 130 点の作品で紹介する。

朝日新聞 2023/12/23

2023:9./ 159p
978-4-908465-19-2
¥2,750〔税込〕

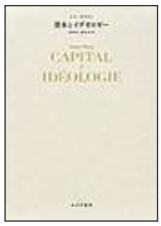
MARUZEN-YUSHODO

ポスト島ぐるみの沖縄戦後史

古波藏 契 著
有志舎
基地の島へと変貌し、都市化が進んだ 1950 年代の沖縄。銃剣とブルドーザーで故郷を追われた農民による「島ぐるみ闘争」はどのように鎮静化されたのか。沖縄戦後史研究の原点に立ち戻り、閉塞する沖縄の“今”を読み変える。

朝日新聞 2023/12/23

2023:7./ 8p,305p
978-4-908672-66-8
¥3,080〔税込〕



資本とイデオロギー

トマ・ピケティ 著
みすず書房
<財産主義>の視点から世界史をたどり、イデオロギーと格差の関係を明らかにする。さらに現代民主政治を分析し、労働者の企業統治参画と累進年次資産税など、新たな公正な経済システムを提示する。「21 世紀の資本」の続編。

朝日新聞 2023/12/23、日本経済新聞 2023/12/23

2023:8./ 1128p
978-4-622-09048-9
¥6,930〔税込〕

なぜ男女の賃金に格差があるのか～女性の生き方の経済学～

クラウディア・ゴールディン 著
慶應義塾大学出版会
育児をしながら働き続けるときに、女性の前に立ちはだかるものは何なのか。ジェンダー平等が進んできた現在でも残る男女の賃金格差の構造を、歴史と詳細なデータから解き明かす。

朝日新聞 2023/12/23、日本経済新聞 2023/12/23

2023:4./ 385p
978-4-7664-2847-6
¥3,740〔税込〕

また会う日まで

池澤夏樹 著
朝日新聞出版
海軍軍人、天文学者、クリスチャンとして、戦前、戦中、戦後を生きた秋吉利雄。この 3 つの資質はどのように混じり合い、たたかったのか。史実を融合した歴史小説。朝日新聞連載を加筆修正し単行本化。

朝日新聞 2023/12/23、毎日新聞 2023/12/23

2023:3./ 723p
978-4-02-251897-2
¥3,960〔税込〕

街とその不確かな壁

村上 春樹 著
新潮社
その街に行かなくてはならない。なにがあろうと-。<古い夢>が奥まった書庫でひもとかれ、呼び覚まされるように、封印された“物語”が深く静かに動きだす。魂を揺さぶる書下ろし長編。

朝日新聞 2023/12/23、毎日新聞 2023/12/23

2023:4./ 661p
978-4-10-353437-2
¥2,970〔税込〕

アメリカ知識人の共産党～理念の国の自画像～

中山　俊宏 著
勁草書房
第二次世界大戦以前、共産主義はアメリカでも多くの知識人を魅了したが、戦後は「異物」として排除された。反共リベラル、ニューレフト、新保守主義者の、自由社会の根幹を問う論争を解き明かし、理念の国の深層をのぞく。

朝日新聞 2023/12/23、毎日新聞 2023/12/23

2023:4./ 360p
978-4-326-30328-1
¥5,170〔税込〕

空と星と風の歌

小手鞠るい 著
童心社
日本社会には朝鮮人に対する根深い差別がある。昔は仲良くつきあっていたこともある両国なのに-。在日朝鮮人二世の男性との出会いが中学生・空奈の心を揺さぶり…。「空を見上げて」など差別のない社会を希求する 3 編の物語。

朝日新聞 2024/12/30

2023:11./ 167p
978-4-494-02083-6
¥1,430〔税込〕

星を編む

凪良 ゆう 著
講談社
才能という名の星を輝かせるために、魂を燃やす編集者たち。漫画原作者・作家となった櫂を担当した 2 人の編集者が繋いだものとは-。「汝、星のごとく」の続編。『小説現代』掲載を加筆改稿し単行本化。

東京・中日新聞 2023/12/02

2023:11./ 285p
978-4-06-532786-9
¥1,760〔税込〕

アントニオ猪木とは何だったのか(集英社新書　1180)

入不二 基義／夢枕 獏／吉田 豪／香山 リカ／水道橋博士／ターザン 山本／松原 隆一郎 著
集英社
2022 年 10 月 1 日、享年 79。不世出のプロレスラー、アントニオ猪木は死んだ。哲学者から芸人まで独自の視点を持つ 7 人の論客が、あらゆる枠を越境したプロレスラー、アントニオ猪木という存在の謎に迫る。

東京・中日新聞 2023/12/03

2023:9./ 157p
978-4-08-721280-8
¥924〔税込〕

坂本図書

バリューブックス・パブリッシング
本から始まる。本に気づかされる。本で確信する。坂本龍一の傍には、いつも本があった-。無類の本好きで知られる坂本龍一が憧れた、36 人の記憶と想像の人物録。『婦人画報』連載を加筆修正。

東京・中日新聞 2023/12/03

2023:9./ 286p
978-4-910865-06-5
¥2,200〔税込〕

自由の丘に、小屋をつくる

川内 有緒 著
新潮社
わが子が困難な時代を生き抜くために、自分にできることは何なのか。たどりついたのは「小屋を作る」ことだった-。不器用ナンバーワンの著者による、軽快ものづくりエッセイ。スタジオジブリ発行『熱風』連載に加筆修正。

東京・中日新聞 2023/12/03、日本経済新聞 2023/12/09

2023:10./ 347p
978-4-10-355251-2
¥2,420〔税込〕

の、すべて～On a Swing～

古川 日出男 著
講談社
美貌と弁舌で支持を集め、「スサノオ」と呼ばれた二世政治家・大沢光延がテロに遭った。その伝記を制作しようとする芸術家・河原真古登が出発点に見出したのは、一人の巫女との「運命の恋」だった…。『群像』連載を単行本化。

東京・中日新聞 2023/12/03、日本経済新聞 2023/12/23

2023:9./ 557p
978-4-06-532947-4
¥3,300〔税込〕

一駅一話!山手線全 30 駅のショートミステリー(宝島社文庫　このミス大賞 C ひ-2-8)

柊 サナカ 著
宝島社
母親から教育虐待を受けている児童を救うため、3 人の乗客が立ち上がり…。駅と駅のあいだの時間で 1 編が楽しめる、山手線をテーマにしたチャーミングでシュールな超短編集。「通勤電車の流儀」をはじめ全 30 話を収録する。

東京・中日新聞 2023/12/09

2023:11./ 280p
978-4-299-04782-3
¥789〔税込〕

戦争と財政の世界史～成長の世界システムが終わるとき～

玉木 俊明 著
東洋経済新報社
「戦争」と「財政」によって形成された現代社会。防衛費倍増の財源として増税や国債発行が議論される今、その歴史的背景を探り、日本をはじめとする世界経済の債務超過が招く危機の可能性を問う。

東京・中日新聞 2023/12/10

2023:9./ 276p
978-4-492-37135-0
¥2,200〔税込〕

台湾侵攻に巻き込まれる日本～安倍政治の「継承者」、岸田首相による敵基地攻撃・防衛費倍増の真実～

半田滋 著
あけび書房
台湾有事は 2027 年までに起きる? 米中が軍事衝突すれば沖縄が「捨て石」にされる!「敵基地攻撃能力の保有」で「専守防衛」を投げ捨て「新しい戦前」に向かう岸田政権の危険性を問う。

東京・中日新聞 2023/12/10

2023:10./ 231p
978-4-87154-240-1
¥1,980〔税込〕

夢分けの船

津原 泰水 著
河出書房新社
映画音楽の勉強のため、専門学校に通うことになった修文は、風月荘 704 号室にまつわる噂を聞く。かつて「音楽」という「夢」を追い続け、自ら命を絶った 3 代前の住人の幽霊の話を…。『文藝』連載を単行本化。

東京・中日新聞 2023/12/10、読売新聞 2023/12/17

2023:10./ 338p
978-4-309-03128-6
¥1,980〔税込〕

栗山ノート<2> 世界一への軌跡

栗山英樹 著
光文社
WBC 日本代表監督に任命されてから優勝するまでの日々を、振り返り検証した唯一の記録。常識を覆し、感動を呼ぶ采配を振る名将の、仕事にも人生にも効く、門外不出のノート「栗山ノート」の続編。

東京・中日新聞 2023/12/16

2023:7./ 282p
978-4-334-95392-8
¥1,650〔税込〕

怪物に出会った日～井上尚弥と闘うということ～

森合 正範 著
講談社
井上と闘った誰もが、絶望を味わう。だが、やがて立ち上がり、また次の闘いへと挑んでいく。ナルバエス、エルナンデス、ドネア、河野公平…。自らの人生を賭けて「井上尚弥」と闘った男たちが、井上の強さを語る。

東京・中日新聞 2023/12/16、朝日新聞 2023/12/16

2023:10./ 438p
978-4-06-533748-6
¥2,090〔税込〕

ドードー鳥と孤独鳥

川端裕人 著
国書刊行会
科学記者のタマキと、ゲノム研究者のケイナ。絶滅動物を偏愛するふたりが 20 年ぶりに再会した。ケイナに触発されたタマキは、江戸時代に日本に来た「ドードー鳥」の謎と行方を追う旅へ出て…。メールマガジン掲載を書籍化。

東京・中日新聞 2023/12/17

2023:9./ 370p
978-4-336-07519-2
¥2,970〔税込〕

天守のない城をゆく～城の楽しみ方、活かし方～

澤宮優 著
青土社
人びとの思いが息づく全国の天守のない城を巡り、その奥深さ、地域と一体になった保存・活用例を紹介。行き過ぎた城の観光利用に歯止めをかけ、望ましいあり方に一石を投じる。

東京・中日新聞 2023/12/17

2023:10./ 251p
978-4-7917-7594-1
¥2,420〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

女の世界～大正という時代～

尾形 明子 著
藤原書店
百年前、こんな面白い雑誌があった! 「男も読む女性雑誌」として 1915(大正 4)年に創刊された『女の世界』。ゴシップ、スキャンダルから女性の権利、政治まで、清濁併せ呑む自由が溢れていた雑誌を初紹介。

東京・中日新聞 2023/12/17

2023:9./ 310p
978-4-86578-392-6
¥3,300〔税込〕

幻のレコード～検閲と発禁の「昭和」～

毛利 眞人 著
講談社
文字は取り締まれても、音声に権力の網はかけられるのか。音声メディアにおいていまなお続く「指導」と「自主規制」の巧妙にして隠微な構造や、業界の自主規制の実態に迫る。

東京・中日新聞 2023/12/17、読売新聞 2023/12/17

2023:10./ 365p
978-4-06-532257-4
¥2,310〔税込〕

放浪記(岩波文庫　緑 169-3)

林　芙美子 著
岩波書店
第一次大戦後の東京。地方出身者の「私」は、震災を経て変わりゆく都市の底辺で、貧窮にあえぎ、職を転々としながらも、逆境におしつぶされることなくひたすらに文学に向かってまっすぐに生きる。全 3 部を収録。

読売新聞 2023/12/03

2014:3./ 572p
978-4-00-311693-7
¥1,166〔税込〕

食料危機の未来年表～そして日本人が飢える日～(朝日新書　929)

高橋五郎 著
朝日新聞出版
日本はすでに食料自給率 18%の隠れ飢餓国。先進国の「隠れ飢餓」という実態にメスを入れ、国際市場やサプライチェーンを支配するフードメジャーの闇など、食料システムのいまを解説し、飢餓なき世界への道を探る。

読売新聞 2023/12/03

2023:10./ 239p
978-4-02-295212-7
¥979〔税込〕

焼き芋とドーナツ～日米シスターフッド交流秘史～

湯澤　規子 著
KADOKAWA
有名無名を問わず、近代社会への転換期と産業革命期を生きた日米の女性たちのライフストーリーを記述。「なかったこと」にされてきた日常茶飯の世界と、実は主体的だった女性労働者の実像を蘇らせる。

読売新聞 2023/12/03

2023:9./ 364p
978-4-04-112649-3
¥2,420〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

シャーロック・ホームズの冒険(角川文庫)

コナン・ドイル 著
角川書店
世界中で愛される名探偵ホームズと、相棒ワトスン医師の名コンビの活躍が、最も読みやすい最新訳で蘇る!女性翻訳家ならではの細やかな感情表現が光る「ボヘミア王のスキャンダル」を含む短編集全 12 編。

読売新聞 2023/12/03

2010:2./ 464p
978-4-04-250110-7
¥924〔税込〕

ラザロの迷宮

神永 学 著
新潮社
湖畔にある洋館を、学生時代の友人と共に訪れたミステリ作家・月島理生。殺人事件の犯人を当てる脱出型の謎解きイベントが開催されるはずだったが、参加者たちは本物の死体を発見してしまい…。予測不能のサイコ・ミステリ。

読売新聞 2023/12/03

2023:9./ 478p
978-4-10-306608-8
¥1,980〔税込〕

五輪汚職～記者たちが迫った祭典の闇～

読売新聞社会部取材班 著
中央公論新社
2021 年、コロナ禍による 1 年の延期を経て開催された東京五輪・パラリンピック。電通「一強支配」は、いかに生まれたのか? 大会を巡る汚職事件と談合事件を取り上げ、醜い利権と、「黒い祭典」の演出者の正体に迫る。

読売新聞 2023/12/03

2023:9./ 211p
978-4-12-005693-2
¥1,760〔税込〕

カリコ博士のノーベル賞物語

メーガン・ホイト 著
中央公論新社
全力でがんばれ! そして、どんなものにもあなたの進む道のじゃまをさせないこと。夢は大きく! 貧しい時代や不十分な研究環境を乗り越え、2023 年ノーベル生理学・医学賞を受賞したカリコ博士の伝記絵本。

読売新聞 2023/12/03

2023:11./ 40p
978-4-12-005727-4
¥1,980〔税込〕

数の生い立ち・図形のふしぎ(中公文庫 や 73-2)

矢野健太郎 著
中央公論新社
人間が数を数え、整数の計算の規則を考え出し、負の数、分数、小数、無理数、複素数を考えるにいたるまでの歴史をたどる「数の生いたち」と、図形の性質を多数の図版やエピソードを交えて解説する「図形のふしぎ」を合本。

読売新聞 2023/12/03

2023:10./ 355p
978-4-12-207435-4
¥1,100〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

ハンティング・タイム

ジェフリー・ディーヴァー 著
文藝春秋
逃亡する優秀なエンジニア母娘と追う暴力のプロ。熾烈な追撃と反撃の末に明らかになる真実とは。反転する構図、二重底三重底の策謀、伏線と見えぬ伏線…。サプライズ・ミステリ。

読売新聞 2023/12/03

2023:9./ 377p
978-4-16-391758-0
¥3,080〔税込〕

琥珀の夏(文春文庫　つ 18-7)

辻村 深月 著
文藝春秋
かつてカルト集団として批判された団体の敷地から子どもの白骨が発見された。弁護士の法子は、遺体は自分の知る少女ではないかと胸騒ぎを覚える。30 年前の記憶が蘇り、忘れて大人になった者と取り残された者はやがて法廷へ。

読売新聞 2023/12/03

2023:9./ 616p
978-4-16-792091-3
¥1,155〔税込〕

懐疑主義の勧め～信頼せよ、されど検証せよ～

ピッパ・ノリス 著
勁草書房
社会的不寛容の深刻化、民主主義の後退などに対する反省をきっかけに、信頼のあり方への懸念が高まっている。ヨーロッパ価値観研究と世界価値観調査に基づき、冷笑主義にも軽信性にも陥らない懐疑的信頼の重要性を示す。

読売新聞 2023/12/03

2023:10./ 5p,314p
978-4-326-30331-1
¥4,950〔税込〕

人事変革ストーリー～個と組織「共進化」の時代～(光文社新書　1276)

髙倉千春 著
光文社
個が活きる組織とは? 外資企業と日本企業で戦略人事や人事制度改革に取り組んできた人事のプロフェッショナルが、日本企業が抱える課題と歩むべき道を示す。

読売新聞 2023/12/03

2023:10./ 248p
978-4-334-10088-9
¥990〔税込〕

横溝正史の日本語

今野真二 著
春陽堂書店
なぜ、同じ作品でも時代によって変容するのか? 編集、校正を経て繰り返し出版される横溝正史の作品群。各書に掲載された文章を徹底比較し、ことばや表記の異なりは正史が意図したものなのかを考える。

読売新聞 2023/12/03

2023:9./ 399p
978-4-394-77008-4
¥2,420〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

帆船軍艦の殺人

岡本 好貴 著
東京創元社
1795 年、英国海軍の戦列艦ハルバート号は北海に向けて出航した。ある新月の晩、衆人環視下で水兵が何者かに殺害される。フランス海軍との苛烈な戦闘を挟んで、さらに殺人は続く。海尉ヴァーノンは調査を進めるが…。

読売新聞 2023/12/03

2023:10./ 332p
978-4-488-02567-0
¥1,980〔税込〕

おくり絵師(ハルキ文庫　時代小説文庫 も 5-1)

森 明日香 著
角川春樹事務所
絵師歌川国藤のもとで修行中のおふゆ。思うように描けず悩んでいたある日、亡くなった役者を描いた「死絵」に出会う。一方、昔馴染みの役者が浅草の芝居小屋の夏興行で主役を張ることに。おふゆは初日の舞台を見に行くが…。

読売新聞 2023/12/03

2023:10./ 241p
978-4-7584-4599-3
¥836〔税込〕

「経済成長」の起源～豊かな国、停滞する国、貧しい国～

マーク・コヤマ／ジャレド・ルービン 著
草思社
世界はどのようにして豊かになったのか? 持続的な経済成長に成功した経済圏には前提条件があった! その条件を、地理、政治、文化、宗教、人口動態、植民地などの要因をもとに、最新理論を引きつつ検証する。

読売新聞 2023/12/03

2023:8./ 441p
978-4-7942-2669-3
¥3,740〔税込〕

恐怖～ダリオ・アルジェント自伝～

ダリオ・アルジェント 著
フィルムアート社
独自の美学を追求するホラー/サスペンス映画の巨匠が、恐怖に魅入られた幼少期、家族、作品とその俳優や仲間たち、試練や苦難、強迫観念や倒錯的な夢について鮮やかな筆致で明かす。フォトギャラリーも収録。

読売新聞 2023/12/03

2023:10./ 422p,3p 図版32p
978-4-8459-2013-6
¥3,740〔税込〕

江戸大名庭園は挑む～「名園」の復活そして都市庭園の未来～

菊池　正芳 著
はる書房
小石川後楽園、浜離宮恩賜庭園など、都立公園として活用されている大名庭園。都市における「みどりの空間」の大切さや、荒れ傷つき失われようとしていた大名庭園復活への道のり、未来に向けた取り組みを描く。

読売新聞 2023/12/03

2023:8./ 243p
978-4-89984-209-5
¥2,090〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

書を捨てよ、町へ出よう　復刻版

寺山　修司 著

トゥーヴァージンズ

1967 年刊行の名著初版を完全復刻。常に時代を先行し続けた寺山修司の全活動の起点であり、ドロップ・アウト時代の到来を予言した衝撃の書。横尾忠則のコラージュ作品も多数収録。リソグラフ印刷の復刻チケット付き。

読売新聞 2023/12/03

2023:11./ 309p
978-4-908406-43-0
¥3,960〔税込〕

安倍晋三と日本の大戦略～21 世紀の「利益線」構想～

マイケル・J・グリーン 著

日経ＢＰ社

日本の新たなグランド・ストラテジーはどのように築かれていったのか。日本におけるグランド・ストラテジーの歴史的ルーツを明らかにしたうえで、安倍晋三によって推進された外交・安全保障戦略の大転換の過程を描く。

読売新聞 2023/12/03、毎日新聞 2023/12/23

2023:8./ 463p
978-4-296-11426-9
¥3,850〔税込〕

永瀬清子詩集(岩波文庫　緑 231-1)

永瀬 清子 著

岩波書店

“女の戦場”のただ中で書きつづけた詩人・永瀬清子の勁い生命感あふれる作品群より詩と短章を精選。戦前から女性詩を牽引してきた<現代詩の母>のエッセンスを感じられる詩集。谷川俊太郎との対談も収録。

読売新聞 2023/12/10

2023:10./ 388p
978-4-00-312311-9
¥1,155〔税込〕

よもだ俳人子規の艶(朝日新書　924)

夏井いつき／奥田瑛二 著

朝日新聞出版

34 年の短い生涯で約 25000 もの俳句を残した正岡子規。ユーモアあり、反骨精神あり、ダンディズムあり。見つめるものをあるがままに切り取り、17 音で詠む子規の俳句を縦横無尽に読む、全三夜の子規トーク。

読売新聞 2023/12/10

2023:9./ 191p
978-4-02-295230-1
¥935〔税込〕

るん(笑)(集英社文庫　と 34-1)

酉島 伝法 著

集英社

平熱は 38 度で、病気の原因はクスリを飲むこと? お祈りで全ての病気を治す? SF 界期待の星・酉島伝法が、スピリチュアルと科学が逆転したユートピア・ニッポンを描いた連作小説。

読売新聞 2023/12/10

2023:9./ 271p
978-4-08-744571-8
¥693〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

敦煌　改版(新潮文庫　い-7-4)

井上 靖 著
新潮社
読売新聞 2023/12/10

2009:12./ 307p
978-4-10-106304-1
¥649〔税込〕

若き数学者のアメリカ　改版(新潮文庫)

藤原 正彦 著
新潮社
読売新聞 2023/12/10

2003:9./ 342p
978-4-10-124801-1
¥649〔税込〕

最果ての泥徒

高丘 哲次 著
新潮社
泥徒(ゴーレム)が産業として躍進する時代。泥徒創造主の名門家に育ったマヤは自らの泥徒スタルィを創りあげる。ある日、一族に伝わる秘宝にして泥徒を<完全なる被造物>に至らしめる手掛かりが、何者かに奪われ…。

読売新聞 2023/12/10

2023:9./ 404p
978-4-10-353212-5
¥2,310〔税込〕

平和と美の使者として森下洋子自伝

森下洋子／祐成秀樹 著
中央公論新社
3 歳でバレエを始め、舞踊生活 70 年を超えてなお輝き続けるバレリーナ・森下洋子が、唯一無二の歩みを秘蔵エピソードとともに語る。『読売新聞』連載を大幅に加筆修正し、書き下ろしを加えて単行本化。

読売新聞 2023/12/10

2023:10./ 4p,260p
978-4-12-005599-7
¥2,200〔税込〕

日の名残り(ハヤカワ epi 文庫)

カズオ・イシグロ 著
早川書房
短い旅に出た老執事が、美しい田園風景のなか古き佳き時代を回想する。長年仕えた卿への敬慕、執事の鑑だった亡父、女中頭への淡い想い、二つの大戦の間に邸内で催された重要な外交会議の数々……。遠い思い出は輝きながら胸のなかで生き続ける。

読売新聞 2023/12/10

2001:5./ 365p
978-4-15-120003-8
¥1,012〔税込〕

コルシア書店の仲間たち(文春文庫)

須賀 敦子 著
文藝春秋
かつてミラノに、懐かしくも奇妙な一軒の本屋があった。そこに出入りするのもまた、懐かしくも奇妙な人びとだった。女流文学賞受賞の筆者が流麗に描くイタリアの人と町。

読売新聞 2023/12/10

1995:11./ 237p
978-4-16-757701-8
¥583〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

ハッキング思考～強者はいかにしてルールを歪めるのか、それを正すにはどうしたらいいのか～

ブルース・シュナイアー 著
日経ＢＰ社
業界規制を逃れて急成長したウーバー、税制の穴を突き多額の税金を逃れたグーグルやアップル…。強者はいかにしてルールを歪めるのか、それを正すにはどうしたらいいのか。AI 時代に必要な「ハック」の重要性とあり方を示す。

読売新聞 2023/12/10

2023:10./ 365p
978-4-296-00157-6
¥2,420〔税込〕

迷彩色の男

安堂 ホセ 著
河出書房新社
男性限定クルージングスポットで 26 歳の男が血まみれで発見される。容疑者候補はあの夜、あの建物、あの扉から逃げた男たち全員であるはずだった-。事件の背後に浮かびあがる“迷彩色の男”を描く。『文藝』掲載を単行本化。

読売新聞 2023/12/10

2023:9./ 163p
978-4-309-03141-5
¥1,760〔税込〕

好き?好き?大好き?(河出文庫　レ 5-1)

R・D・レイン 著
河出書房新社
恋人、家族、友人、果ては敵まで、さまざまな人間関係の内奥にひそむ感情の本質を、異才の精神科医が患者の声から聴きとり、詩の言葉へと昇華。数多のサブカルチャーに霊感を与えつづける伝説的詩篇の復刊。

読売新聞 2023/12/10

2023:10./ 177p
978-4-309-46790-0
¥891〔税込〕

柳田國男(Century Books　人と思想　199)

菅野覚明 著
清水書院
日本民俗学の創始者として知られる柳田國男。広大で奥の深い柳田の思想世界は、どのような体系性を持つのか。彼の探求を貫くライトモチーフは何か。「一天才の個人芸」とも評される柳田学の全貌を明快に描いた評伝。

読売新聞 2023/12/10

2023:9./ 371p,11p
978-4-389-42199-1
¥1,320〔税込〕

ちくま日本文学<016> 稲垣足穂(ちくま文庫)

稲垣　足穂 著
筑摩書房
読売新聞 2023/12/10

2008:5./ 475p
978-4-480-42516-4
¥968〔税込〕

薔薇の名前<上>

ウンベルト・エーコ 著
東京創元社
読売新聞 2023/12/10

1990:1./ 413p
978-4-488-01351-6
¥2,530〔税込〕

薔薇の名前<下>

ウンベルト・エーコ 著
東京創元社
読売新聞 2023/12/10

1990:1./ 426p
978-4-488-01352-3
¥2,530〔税込〕

カフカ素描集

アンドレアス・キルヒャー 編
フランツ・カフカ 著
みすず書房
画家としてのカフカを知ることができる、素描集。チューリッヒの金庫に 2019 年まで保管されていた約 160 点余におよぶ素描を実物大オールカラーで収録する。解説と解釈のテクストも掲載。

読売新聞 2023/12/10

2023:10./ 340p
978-4-622-09606-1
¥14,300〔税込〕

新版画の世界～川瀬巴水から吉田博まで美しく進化する浮世絵スピリット～

クリス・ウーベンレック 著
パイインターナショナル
浮世絵のエッセンスに西洋画の技法を取り入れ、明治～昭和に制作された新版画。オランダの個人コレクションと版元・渡邊家のコレクションから、代表作家の川瀬巴水や、アニメ・漫画界も注目する吉田博などの作品を紹介する。

読売新聞 2023/12/10

2023:8./ 223p
978-4-7562-5779-6
¥3,960〔税込〕

スーツアクターの矜持

鈴木 美潮 著
集英社インターナショナル
ハリウッドでも真似のできない特殊技能で、視聴者を魅了するスーツアクター。歴史、スタント、文化、待遇問題、国際比較など、その世界をあらゆる方向から論じるノンフィクション。大瀬康一、古谷敏らのインタビューも掲載。

読売新聞 2023/12/10

2023:9./ 318p
978-4-7976-7436-1
¥1,980〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

シューベルトの手当て

クレール・オペール 著
アルテスパブリッシング
自閉症の若者、認知症の高齢者、終末期の患者たちに寄り添い、チェロを奏でつづける。その調べは患者の痛みを軽減し、不安も解消し…。演奏家であり、アートセラピストである著者が起こした奇跡の音楽療法の物語。

読売新聞 2023/12/10

2023:11./ 237p
978-4-86559-285-6
¥2,640〔税込〕

グリーンランド～人文社会科学から照らす極北の島～

高橋 美野梨 編
藤原書店
大部分が北極圏に位置し、面積は日本の 6 倍、エスキモーとスカンディナヴィアの人たちとの合流の地グリーンランド。人類学、政治学等、人文社会科学の知見からその輪郭をたどり、世界最大の島における人間の営みを描く。

読売新聞 2023/12/10

2023:8./ 401p
978-4-86578-395-7
¥3,960〔税込〕

奇跡の女優◎芦川いづみ

倉田 剛 著
鳥影社
引退から半世紀以上を経た今もなお、昭和の名作を上映する映画館では出演作品の特集が繰り返し組まれる女優・芦川いづみ。出演全映画作品を紹介し、彼女の魅力に迫る。貴重な写真も多数収録。

読売新聞 2023/12/10

2023:10./ 291p
978-4-86782-053-7
¥2,970〔税込〕

ちゃぶ台～生活者のための総合雑誌～<12(2023 年秋/冬号)>　捨てない、できるだけ

ミシマ社
「捨てない、できるだけ」を特集。津村記久子のエッセイ「持たされるゴミと缶と保冷剤」、伊藤亜紗の論考「会議の研究(3)ワーカーズコープの共同想像」、三島邦弘のブックレビュー等を収録する。

読売新聞 2023/12/10

2023:12./ 161p
978-4-909394-98-9
¥1,980〔税込〕

をんごく

北沢 陶 著
KADOKAWA
大正時代末期、画家の壮一郎は妻・倭子の死を受け入れられずにいた。巫女に降霊を頼むと「普通の霊とは違う」と警告を受ける。倭子の霊について探る壮一郎は、死を自覚していない霊を喰う「エリマキ」と出会い…。

読売新聞 2023/12/10、産経新聞 2023/12/17

2023:11./ 237p
978-4-04-114265-3
¥1,980〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

「よく見る人」と「よく聴く人」～共生のためのコミュニケーション手法～(岩波ジュニア新書　975)

広瀬 浩二郎、相良 啓子 著
岩波書店
目の見えない研究者と耳が聞こえない研究者が、互いの違いを超えてわかり合うためのコミュニケーションの可能性を考える。手話メッセージ動画が見られる QR コード、テキストデータ請求券付き。

読売新聞 2023/12/17

2023:9./ 206p
978-4-00-500975-6
¥1,034〔税込〕

スモールワールズ(講談社文庫 い 157-1)

一穂 ミチ 著
講談社
夫婦円満を装う主婦と家庭に恵まれない少年。初孫の誕生に喜ぶ祖母と娘家族。向き合うことができなかった父と子…。誰かの悲しみに寄り添いながら、愛おしい喜怒哀楽を描く連作集。書下ろし掌編「スモールスパークス」も収録。

読売新聞 2023/12/17

2023:10./ 349p
978-4-06-533456-0
¥825〔税込〕

スーザン・ソンタグ～「脆さ」にあらがう思想～(集英社新書 1184)

波戸岡 景太 著
集英社
戦争、病、ジェンダー…。多岐にわたる事象を喝破した批評家ソンダク。若きカリスマとなったデビューから、「9.11 事件」でバッシングの対象になった晩年までの生涯とともに、彼女の知性が読者を挑発し続ける理由を探る。

読売新聞 2023/12/17

2023:10./ 237p
978-4-08-721284-6
¥1,210〔税込〕

続きと始まり

柴崎 友香 著
集英社
2 つの大震災。未知の病原体の出現。誰にも同じように流れたはずの、あの月日-。別々の場所で暮らす男女 3 人の日常を描き、蓄積した時間を見つめる、叙事的長編小説。『すばる』連載を単行本化。

読売新聞 2023/12/17

2023:12./ 341p
978-4-08-771856-0
¥1,980〔税込〕

小島(新潮文庫　お-95-4)

小山田 浩子 著
新潮社
当たり前の風景、繰り返される日々の営みが、かすかに世界を震わせる-。さまざまな場所で出会う何気ない出来事をつぶさに描いた中短篇の他、広島カープと広島の人々の特別な関わりをテーマにした奇談連作など全 14 編を収録。

読売新聞 2023/12/17

2023:11./ 404p
978-4-10-120544-1
¥825〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

山県有朋～明治国家と権力～(中公新書　2777)

小林道彦 著
中央公論新社
陸軍卿・内相として徴兵制・地方自治制を導入し、枢密院議長を務め、長州閥陸軍や山県系官僚閥を背景に、最有力の元老として長期にわたり日本政治を動かした山県有朋。その生涯を通して、興隆する近代日本の光と影を描く。

読売新聞 2023/12/17

2023:11./ 7p,300p
978-4-12-102777-1
¥1,056〔税込〕

宮部みゆきが「本よみうり堂」でおすすめした本<2015-2019>(中公新書ラクレ　803)

宮部みゆき 著
中央公論新社
ミステリー、海外ノンフィクションから、社会時評、歴史、恐竜まで、人気作家の好奇心を刺激した書籍の数々…。新聞読書委員就任から 5 年間に紹介した 128 冊をまとめた書評エッセイ集。『読売新聞』掲載を新書化。

読売新聞 2023/12/17

2023:11./ 279p
978-4-12-150803-4
¥990〔税込〕

ディアローグ～ドゥルーズの思想～(河出文庫　ト 6-15)

ジル・ドゥルーズ、クレール・パルネ 著
河出書房新社
『アンチ・オイディプス』と『千のプラトー』の間にもう一人の盟友パルネとともに書かれた 70 年代ドゥルーズの思想を凝縮した名著。

読売新聞 2023/12/17

2011:12./ 292p
978-4-309-46366-7
¥1,320〔税込〕

破れ星、燃えた

倉本 聰 著
幻冬舎
NHK とのトラブル、応えられなかった石原裕次郎からの依頼、富良野移住と「北の国から」の誕生、先に逝ってしまった数々の盟友たち…。大脚本家・倉本聰の痛快無比な自伝。『サンケイスポーツ』連載を加筆し書籍化。

読売新聞 2023/12/17

2023:8./ 336p
978-4-344-04151-6
¥1,980〔税込〕

盤上の夜(創元 SF 文庫　SF み 2-1)

宮内　悠介 著
東京創元社
囲碁、チェッカー、麻雀、古代チェス、将棋…。対局の果てに、現出するものとは。ひとりのジャーナリストが物語る、盤上遊戯・卓上遊戯をめぐる 6 つの奇蹟。清新な SF 連作集。

読売新聞 2023/12/17

2014:4./ 333p
978-4-488-74701-5
¥902〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

損害賠償訴訟と弁護士の使命～医事関係訴訟を素材に～

鈴木 利廣 著
日本評論社
弁護士は、司法制度を活用して社会的制度の改善を図るために何をすべきか。主に「医療と人権」を課題としてきた、薬害エイズ訴訟等の代理人弁護士が、これまでの活動を分析する。

読売新聞 2023/12/17

2023:11./ 16p,188p
978-4-535-52765-2
¥2,200〔税込〕

時を乗せて 折々の記(中国文学逍遙 1)

著者：井波律子　編者：井波陵一 著
本の泉社
富山生まれの京都育ち。希代の中国文学者・井波律子は、幼年時代に育まれた記憶を糧としつつ、闊達なエッセイを綴り続けた。単行本未収録の、身辺雑記を含む折々のエッセイを収録する。

読売新聞 2023/12/17

2023:9./ 282p
978-4-7807-2248-2
¥2,530〔税込〕

汲めど尽きせぬ古典の魅力(中国文学逍遙 2)

著者：井波律子　編者：井波陵一 著
本の泉社
神仙思想から漢詩の世界、白話小説まで、著者の専門分野である中国文学の多彩な魅力を伝える、単行本未収録の論述やエッセイをまとめる。幸田露伴に関する文章も集成。

読売新聞 2023/12/17

2023:10./ 266p
978-4-7807-2250-5
¥2,530〔税込〕

楽しく漢詩文を学ぼう(中国文学逍遙 3)

著者：井波律子　編者：井波陵一 著
本の泉社
井波律子は様々な場で中国文学の魅力を伝え、学ぶ楽しさを語り続けた。高校の先生や生徒への講演記録、そして読書案内など、単行本未収録の作品をまとめる。

読売新聞 2023/12/17

2023:11./ 268p
978-4-7807-2251-2
¥2,530〔税込〕

ロシア地政学地図

デルフィヌ・パパン／蔵持不三也 著
柊風舎
ソ連邦崩壊の衝撃、クリミアの併合、石油・天然ガスの供給問題、正教世界の分裂、ウクライナ戦争、食料問題…。多岐にわたるテーマを、100 点以上におよぶ最新の地図とインフォグラフィックで詳細に表現し解説する。

読売新聞 2023/12/17

2023:10./ 153p
978-4-86498-103-3
¥9,350〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

とある家族の物語

田中耕三郎／田中成人 著
トゥーヴァージンズ
あたりまえの日常が、こんなにも尊い。なにげないひと時も特別な 1 日も、父が記録したのは、ありのままの子どもたちの姿。カラー化写真と日記でたどる、昭和の家族の物語。インスタグラム投稿をもとに書籍化。

読売新聞 2023/12/17

2023:9./ 159p
978-4-910352-75-6
¥2,420〔税込〕

善と悪の生物学～何がヒトを動かしているのか～<上>

ロバート・M・サポルスキー 著
ＮＨＫ出版
人間が互いに傷つけ、気づかうのはなぜか? 人間は戦争をやめられるか? スタンフォード大学の名物教授が、生物学、脳神経科学、心理学を総覧し、人間行動の謎に迫る。

読売新聞 2023/12/17、読売新聞 2023/12/24

2023:10./ 653p
978-4-14-081945-6
¥3,960〔税込〕

善と悪の生物学～何がヒトを動かしているのか～<下>

ロバート・M・サポルスキー 著
ＮＨＫ出版
人間が互いに傷つけ、気づかうのはなぜか? 人間は戦争をやめられるか? スタンフォード大学の名物教授が、生物学、脳神経科学、心理学を総覧し、人間行動の謎に迫る。

読売新聞 2023/12/17、読売新聞 2023/12/24

2023:10./ 517p
978-4-14-081946-3
¥3,850〔税込〕

京都古典文学めぐり～都人の四季と暮らし～

荒木 浩 著
岩波書店
「源氏物語」「枕草子」「方丈記」…。京都の地名・寺社を手がかりに、都人が暮らした古典文学の舞台を訪ね、わかりやすい現代語訳とエッセイ、絵巻などの豊富な図版で名作の魅力を伝える。『京都新聞』連載をもとに単行本化。

読売新聞 2023/12/24

2023:6./ 14p,247p,14p
978-4-00-061597-6
¥2,530〔税込〕

ガバナンス貨幣論～理念・歴史・制度設計～

田邉 昌徳 著
岩波書店
<ガバナンス>こそが貨幣を貨幣たらしめるという立場に立ち、貨幣の機能と現状、貨幣の成立と消滅、よりよい貨幣のガバナンスのあり方を論じることで、<社会的共通資本>として貨幣を位置付けることを目指す。

読売新聞 2023/12/24

2023:9./ 428p
978-4-00-061611-9
¥8,140〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

ねこになった少年(岩波少年文庫)

征矢　清 著
岩波書店
ある日ぼくは外国の青年から買った眼鏡をかけると、ネコになって空間をワープし、パリに来てしまう。パリのネコたちは鋭敏な本能で感じとった地球の危機を、必死で人間に伝えようとしていた。

読売新聞 2023/12/24

1996:11./ 384p
978-4-00-112138-4
¥748〔税込〕

まちがえる脳(岩波新書　新赤版 1972)

櫻井 芳雄 著
岩波書店
脳はまちがえるという事実に焦点を当て、多くの事例を紹介。そして、脳内の信号伝達が本来不確かで確率的であることや、間違えるからこそ新たなアイデアを創造し、高次機能を実現することを、研究成果をふまえて解説する。

読売新聞 2023/12/24

2023:4./ 244p
978-4-00-431972-6
¥1,034〔税込〕

植物少女

朝比奈秋 著
朝日新聞出版
植物状態になった母とその娘。成長するにつれ、母の存在も大きく変化し…。「生きるとは何か」を問う、現役の医師だからこそ描けた真摯な母娘の物語。『小説トリッパー』掲載を加筆・修正。

読売新聞 2023/12/24

2023:1./ 178p
978-4-02-251884-2
¥1,760〔税込〕

ラウリ・クースクを探して

宮内悠介 著
朝日新聞出版
ソ連時代のエストニアに生まれたラウリは、黎明期のコンピュータ・プログラミングで稀有な才能をみせ、魂の親友と呼べるロシア人のイヴァンと出会う。だが二人は時代の波に翻弄され…。『小説トリッパー』掲載を単行本化。

読売新聞 2023/12/24

2023:8./ 236p
978-4-02-251926-9
¥1,760〔税込〕

プロダイバーのウニ駆除クエスト～環境保全に取り組んでわかった海の面白い話～

中村　拓朗（スイチャンネル） 著
KADOKAWA
海の砂漠化現象“磯焼け”の原因のひとつとして、深刻な問題となっているウニの増殖。長崎の海でウニ駆除はじめ、5 年以上にわたって環境保全活動を続けるプロダイバーが綴る、今の“海のリアル”がわかる冒険譚エッセイ。

読売新聞 2023/12/24

2023:9./ 239p
978-4-04-606420-2
¥1,760〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

月と散文

又吉　直樹 著
KADOKAWA
いろんなものが失くなってしまった日常だけれど、窓の外の夜空には月は出ていて、書き掛けの散文だけは確かにあった-。又吉直樹 10 年ぶりのエッセイ集。又吉直樹オフィシャルコミュニティ『月と散文』掲載を加筆・修正。

読売新聞 2023/12/24

2023:3./ 356p
978-4-04-897131-7
¥1,760〔税込〕

装幀百花～菊地信義のデザイン～(講談社文芸文庫 き L1)

水戸部 功 編
菊地 信義 著
講談社
装幀デザインの革新者・菊地信義がライフワークとして手がけた 35 年間の講談社文芸文庫より 121 点を精選した決定版作品集。文字デザインの豊饒なる可能性を解きあかす。

読売新聞 2023/12/24

2022:12./ 158p
978-4-06-530022-0
¥2,420〔税込〕

福沢諭吉～最後の蘭学者～(講談社現代新書　現代新書 100 2699)

大久保 健晴 著
講談社
19 世紀後半、西洋は近代文明のモデルである一方で、独立を阻む脅威でもあった。この矛盾を乗り越えるために、福沢諭吉が重視したのが学問であった。「蘭学」をキーワードに、福沢諭吉の思想の本質に迫る。

読売新聞 2023/12/24

2023:3./ 126p
978-4-06-531511-8
¥880〔税込〕

ハツカネズミと人間(講談社文庫 す 51-1)

ジョン・スタインベック 著
講談社
しっかり者のジョージと怪力のレニー。カリフォルニアの農場を転々として働く男たちの友情、たくましい生命力、そして苛酷な現実と悲劇を、温かいヒューマニズムの眼差しで描いた名作を新訳。

読売新聞 2023/12/24

2023:9./ 195p
978-4-06-532731-9
¥682〔税込〕

裸の大地<第 2 部>　犬橇事始

角幡 唯介 著
集英社
北極での犬のチーム編成とカオスな訓練、犬橇技術の獲得…。コロナ禍の中でも著者は裸の大地を自由自在に旅し、百年前のエスキモーの魂に近づいていく。悪戦苦闘の新冒険。折り込み地図付き。『すばる』連載を加筆し書籍化。

読売新聞 2023/12/24

2023:7./ 357p
978-4-08-781731-7
¥2,530〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

日本美術・この一点への旅

山下 裕二 著
集英社
この作品を見るために旅しよう! 47 都道府県を網羅し、縄文から平成まで、ぜひ見てほしい日本美術の名作や知られざる逸品をオールカラーで詳しく解説する。『エクラ』連載を加筆し書籍化。データ:2023 年 9 月現在。

読売新聞 2023/12/24

2023:9./ 159p
978-4-08-781742-3
¥2,420〔税込〕

ナポレオン街道～可愛い皇帝との旅～

伊集院 静 著
小学館
法典を編纂し、道を整備し、ルーヴル美術館や競馬の基礎を築いたナポレオン。伊集院静が稀代の「英雄」を紐解きながら、コルシカ島、パリ、ワーテルローなどナポレオンゆかりの地を旅する。『週刊ポスト』連載を加筆修正。

読売新聞 2023/12/24

2023:9./ 395p 図版 8 枚
978-4-09-389132-5
¥2,200〔税込〕

葬送のフリーレン<VOL.1>(少年サンデーコミックス)

山田 鐘人 著
小学館
物語は“冒険の終わり”から始まる。英雄たちの“生き様”を物語る、後日譚(アフター)ファンタジー!

読売新聞 2023/12/24

2020:8./ 177p
978-4-09-850180-9
¥550〔税込〕

旅のつばくろ(新潮文庫　さ-7-58)

沢木 耕太郎 著
新潮社
思い起こせば私が初めて 1 人だけの大旅行をしたのが 16 歳のときの東北一周旅行だった…。本州「北の端」龍飛崎、美景広がる軽井沢や兼六園など、世界を巡ってきた著者が日本を気ままに歩いて綴った旅エッセイ。

読売新聞 2023/12/24

2023:11./ 213p
978-4-10-123535-6
¥605〔税込〕

花に埋もれる

彩瀬 まる 著
新潮社
憧れ、執着、およそ恋に似た感情が幻想を呼び起こし、世界の色さえ変えていく-。女による女のための R-18 文学賞受賞作「花に眩む」も収録した、ベストアルバム的短編集。

読売新聞 2023/12/24

2023:3./ 193p
978-4-10-331965-8
¥1,760〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

成瀬は天下を取りにいく

宮島 未奈 著
新潮社
中 2 の夏休みの始まりに幼馴染の成瀬がまた変なことを言い出した。コロナ禍、閉店を控える西武大津店に毎日通い、中継に映るという。さらには M-1 に挑み、実験のため坊主頭に…。『小説新潮』掲載に書き下ろしを加え書籍化。

読売新聞 2023/12/24

2023:3./ 201p
978-4-10-354951-2
¥1,705〔税込〕

ぼくはあと何回、満月を見るだろう

坂本 龍一 著
新潮社
自らに残された時間を悟り、教授は語り始めた。創作や社会運動を支える哲学、国境を越えた多彩な活動、坂本家の歴史と家族に対する想い、ガンと共に生きること-。最晩年までの足跡を未来に遺す自伝。『新潮』連載を書籍化。

読売新聞 2023/12/24

2023:6./ 285p
978-4-10-410603-5
¥2,090〔税込〕

台湾漫遊鉄道のふたり

楊双子 著
中央公論新社
昭和 13 年、台湾。作家・青山千鶴子は台湾人通訳・王千鶴と出会う。千鶴と台湾縦貫鉄道に乗りこんだ千鶴子は、つぎつぎ台湾の味に魅了されていく。ただ、いつまでも心の奥を見せない千鶴に、千鶴子の焦燥感は募り…。

読売新聞 2023/12/24

2023:4./ 371p
978-4-12-005652-9
¥2,200〔税込〕

ぼっちな食卓～限界家族と「個」の風景～

岩村暢子 著
中央公論新社
好きなものを好きなところで好きなときに食べる。個人の自由を突き詰めたとき、家族はどうなっていくのか-。定点観測の場として食卓調査を行った家庭の 10 年後、20 年後を追跡し、超「個」社会の現実を明らかにする。

読売新聞 2023/12/24

2023:9./ 253p
978-4-12-005691-8
¥1,870〔税込〕

戦後日本政治史～占領期から「ネオ 55 年体制」まで～(中公新書　2752)

境家史郎 著
中央公論新社
占領期、55 年体制、「改革の時代」を経て、再び自民党が野党を圧倒する現在。日本政治は「元いた場所」に戻っただけなのか。憲法をめぐる対立に着目して戦後政治をたどり、日本政治の現在地を見極める。

読売新聞 2023/12/24

2023:5./ 4p,304p
978-4-12-102752-8
¥1,056〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

盆土産と十七の短篇(中公文庫　み 5-2)

三浦 哲郎 著
中央公論新社
えびフライ、と呟いてみた-。忘れ得ぬ一行で始まる「盆土産」ほか、「金色の朝」などの名短篇と、人生の哀歓を描いた佳篇による精選集。中学・高校の国語教科書に収録された作品を中心に選び、独自に編集したもの。

読売新聞 2023/12/24

2020:6./ 250p
978-4-12-206901-5
¥946〔税込〕

盧溝橋事件から日中戦争へ

岩谷　將 著
東京大学出版会
なぜ局地紛争は全面戦争となったのか。1937(昭和 12)年 7 月 7 日、偶発的に起きた発砲事件から、上海、南京での戦闘を経て長期全面戦争となっていく過程を史料をもとに跡付け、戦争の本質に迫る。人物略歴一覧等も収録。

読売新聞 2023/12/24

2023:8./ 308p
978-4-13-020314-2
¥5,280〔税込〕

平和の追求～18 世紀フランスのコスモポリタニズム～

川出　良枝 著
東京大学出版会
戦争が絶えない 18 世紀のフランス。平和を求め続けた人々の世界秩序構想とは、いかなるものだったのか。啓蒙の時代に生み出されたコスモポリタニズム(世界市民主義)の多様な相貌を明らかにし、その意義を捉え直す。

読売新聞 2023/12/24

2023:1./ 7p,321p,78p
978-4-13-030186-2
¥6,380〔税込〕

無限角形～1001 の砂漠の断章～

コラム・マッキャン 著
早川書房
限りなく円に近く、決して円ではない多角形、無限角形。娘を失ったイスラエル人の父とパレスチナ人の父が出会った時、深い哀しみが平和への武器となる-。実話をもとに、1001 の断章で築かれた喪失と平和へのモニュメント。

読売新聞 2023/12/24

2023:4./ 685p
978-4-15-210230-0
¥4,620〔税込〕

この世界からは出ていくけれど

キム・チョヨプ 著
早川書房
芸術を見て楽しめない特殊な障害を持つマリがダンスのレッスンを希望してきた。彼女が踊る目的とは? 韓国新世代 SF 作家の旗手が贈る、優しさと希望に満ちた 7 篇。「わたしたちが光の速さで進めないなら」に続く第 2 短篇集。

読売新聞 2023/12/24

2023:9./ 292p
978-4-15-210268-3
¥2,640〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

ハリケーンの季節

フェルナンダ・メルチョール 著
早川書房
都市から離れた村で、外界と隔絶していた<魔女>が死んだ。村人から恐れられつつ、秘かに頼られてもいた。魔女は殺された。この村の誰かに…。荒々しくも詩的な言葉で、現代メキシコの村に吹き荒れる暴力に迫る小説。

読売新聞 2023/12/24

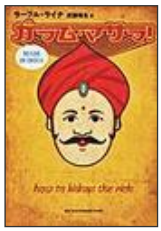
2023:12./ 250p
978-4-15-210290-4
¥3,410〔税込〕

闇の精神史(ハヤカワ新書 014)

木澤　佐登志 著
早川書房
どんづまりの現実、その外部としての「宇宙」。頭上の暗闇に、人は何を見るのか。ロシア宇宙主義から、アフロフューチャリズム、サイバースペースとメタバースまでを繋ぎ論じる。『SF マガジン』連載を書籍化。

読売新聞 2023/12/24

2023:10./ 310p
978-4-15-340014-6
¥1,122〔税込〕



ガラム・マサラ!～MADE IN INDIA～

ラーフル・ライナ 著
文藝春秋
ニューデリーの教育コンサルタント・ラメッシュは替え玉受験で全国トップの成績をあげてしまう。受験不正がバレたら、待つのは破滅。しかし誘拐と報復誘拐の連鎖が開始され、騒動はラメッシュの予想を超える修羅場へ…。

読売新聞 2023/12/24

2023:10./ 382p
978-4-16-391771-9
¥2,420〔税込〕

日本百名虫　フォトジェニックな虫たち(文春新書　1415)

坂爪 真吾 著
文藝春秋
「品格・歴史・個性」を兼ね備えた日本の虫 100 種を、美しい写真とともに紹介。「フォトジェニックな虫たち」では、不完全変態の昆虫と水生・肉食性の甲虫 50 種の名前や生態、その歴史と関係した人物などを解説する。

読売新聞 2023/12/24

2023:7./ 223p
978-4-16-661415-8
¥1,320〔税込〕

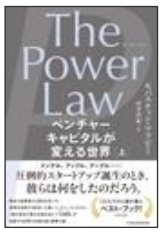
日本百名虫　ドラマティックな虫たち(文春新書　1416)

坂爪 真吾 著
文藝春秋
「品格・歴史・個性」を兼ね備えた日本の虫 100 種を、美しい写真とともに紹介。「ドラマティックな虫たち」では、草食・菌食性の甲虫とチョウ・ガなど 50 種の虫の名前や生態、その歴史と関係した人物などを解説する。

読売新聞 2023/12/24

2023:7./ 223p
978-4-16-661416-5
¥1,320〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

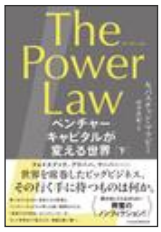


The Power Law～ベンチャーキャピタルが変える世界～<上>

セバスチャン・マラビー 著
日経ＢＰ社
インテル、アップル、グーグル…。人々の日常をつくった企業は、どのように生まれたのか。数多の起業家から原石を見つけ、世界を変革する存在へと導くベンチャーキャピタルの内実と、その社会的衝撃を緻密に描く。

読売新聞 2023/12/24

2023:9./ 389p
978-4-296-11508-2
¥2,090〔税込〕



The Power Law～ベンチャーキャピタルが変える世界～<下>

セバスチャン・マラビー 著
日経ＢＰ社
フェイスブック、アリババ、ウーバー…。世界を席巻したビッグビジネスの行く手に待つものは何か。数多の起業家から原石を見つけ、世界を変革する存在へと導くベンチャーキャピタルの内実と、その社会的衝撃を緻密に描く。

読売新聞 2023/12/24

2023:9./ 427p 図版 12p
978-4-296-11509-9
¥2,090〔税込〕

ニジンスキーは銀橋で踊らない

かげはら 史帆 著
河出書房新社
1912 年、バレエ・ダンサー。1958 年、宝塚歌劇団男役。2 人のスターに焦がれて生きた女性・ロモラの半生を描いた、長編の「推し」小説。著者の個人ウェブサイト連載のテキストを改題、改稿して書籍化。

読売新聞 2023/12/24

2023:5./ 369p
978-4-309-03107-1
¥1,980〔税込〕

寝煙草の危険

マリアーナ・エンリケス 著
国書刊行会
寝煙草の火で老婆が焼け死ぬ臭いで目覚める夜更け、庭から現れどこまでも付き纏う腐った赤ん坊の幽霊、死んだはずの虚ろな子供が大量に溢れ返る街…。現代アルゼンチン文学の頂点に君臨する作家の恐怖譚を集めた短篇集。

読売新聞 2023/12/24

2023:5./ 282p
978-4-336-07465-2
¥4,180〔税込〕

半導体戦争～世界最重要テクノロジーをめぐる国家間の攻防～

クリス・ミラー 著
ダイヤモンド社
半導体は石油以上の「戦略的資源」だった-。いびつな業界構造、発展の歴史、入り組んだ国家間の思惑を、多くの科学者、技術者、CEO、政府官僚へのインタビューに基づき、鮮やかに解説する。

読売新聞 2023/12/24

2023:2./ 551p
978-4-478-11546-6
¥2,970〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

創造性はどこからやってくるか～天然表現の世界～(ちくま新書　1742)

郡司ペギオ幸夫 著
筑摩書房
ふと何かが降りてくる-。「アイデアが浮かばない」と悩む人への想像もつかない世界の外部を召喚するためのレッスンであり、生命基礎論の研究者が「天然表現」という作品制作を思い立ち、実現するまでのドキュメンタリー。

読売新聞 2023/12/24

2023:8./ 286p
978-4-480-07575-8
¥1,034〔税込〕

論語(ちくま学芸文庫　ツ 11-1)

土田 健次郎 編
筑摩書房
至上の徳である“仁”を追求した孔子の言行録「論語」の決定版訳注書。朱子、伊藤仁斎、荻生徂徠など数多の解釈を比較考量し、新たな書き下し文と明快な現代語訳、詳細な注と補説を付す。

読売新聞 2023/12/24

2023:11./ 727p
978-4-480-51195-9
¥1,980〔税込〕

文明交錯(海外文学セレクション)

ローラン・ビネ 著
東京創元社
鉄、銃、馬、そして病原菌に対する免疫をインカの人々がもっていたとしたら? そしてインカ帝国がスペインを征服したのだとしたら、世界はどう変わっていただろうか? 大胆かつ魅力あふれる歴史改変小説。

読売新聞 2023/12/24

2023:3./ 409p
978-4-488-01685-2
¥3,300〔税込〕

私雨邸の殺人に関する各人の視点

渡辺　優 著
双葉社
嵐で別荘に閉じこめられた 11 人。持ち主は密室で殺された。誰が犯人? 誰が探偵? クローズド・サークルで起きる連続殺人の真相が、メリーゴーラウンドのように移り変わる視点に炙り出され…。『小説推理』連載に加筆訂正。

読売新聞 2023/12/24

2023:4./ 293p
978-4-575-24623-0
¥1,925〔税込〕

原爆～科学者たちは何を夢見たのか～<上>

L.-F. ボレ 著
平凡社
20 世紀前半、混迷を極める国際情勢のなか、アメリカによる原子爆弾の開発・製造が始まった…。原子爆弾の開発から広島への投下までを克明に描いたバンド・デシネ。主な登場人物紹介、用語・人物解説も掲載。

読売新聞 2023/12/24

2023:7./ 223p
978-4-582-28696-0
¥4,180〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

原爆～科学者たちは何を夢見たのか～<下>

L.-F. ボレ 著
平凡社
原爆投下を止めるように働きかける科学者たちの嘆願も虚しく事態は進行し、人類史上最悪の悲劇が広島を襲う…。原子爆弾の開発から広島への投下までを克明に描いたバンド・デシネ。主な登場人物紹介、用語・人物解説も掲載。

読売新聞 2023/12/24

2023:7./ 269p
978-4-582-28697-7
¥4,180〔税込〕

電車の窓に映った自分が死んだ父に見えた日、スキンケアはじめました。

伊藤　聡 著
平凡社
男がスキンケアなんて恥ずかしい…。そう思っていたアラフィフ会社員が、あれよあれよと美容沼にハマっていき…。男性美容とセルフケアをめぐる、笑いと感動の体験記。

読売新聞 2023/12/24

2023:2./ 206p
978-4-582-83917-3
¥1,980〔税込〕

ゾルゲ伝～スターリンのマスター・エージェント～(新資料が語るゾルゲ事件　2)

オーウェン・マシューズ 著
みすず書房
稀代のスパイ、リヒアルト・ゾルゲの伝記。戦争の岐路、情報の最前線に立ちながら、彼は何に殉じたのか? 英独日露の新資料を駆使して、歴史的事実だけでなくゾルゲと彼をめぐる多くの人々の人間性にも迫る。

読売新聞 2023/12/24

2023:5./ 552p
978-4-622-09548-4
¥6,270〔税込〕

吉田満～身捨つる程の祖国はありや～(ミネルヴァ日本評伝選)

貝塚　茂樹 著
ミネルヴァ書房
戦艦大和の乗務員として沖縄水上特攻に参加し、生還した吉田満は、戦後「戦艦大和ノ最期」など多数の論稿を執筆した。戦時に青年期を過ごした戦中派・散華の世代として、戦争と平和、人間の生き方への思索を続けた人生を追う。

読売新聞 2023/12/24

2023:11./ 448p
978-4-623-09579-7
¥4,620〔税込〕

ネオ万葉

横山裕一 著
パイインターナショナル
「万葉集」「新古今和歌集」などを題材に、性別や年齢、時空を超えたキャラクターたちがおりなす、具象表現に徹底した、まったく新しい和歌の世界。173 首の和歌から編まれた、22 の物語を収録する。

読売新聞 2023/12/24

2023:3./ 263p
978-4-7562-5727-7
¥2,970〔税込〕

スターリンの極東戦略 1941-1950～インテリジェンスと安全保障認識～

河西陽平 著
慶應義塾大学出版会
スターリン率いるソ連は、極東情勢の変容をどのように認識していたのか? 独ソ戦開戦時から冷戦開始後、朝鮮戦争とのかかわりまでを、ゾルゲたち諜報員によるインテリジェンスの役割を含め、豊富な一次史料から読み解く。

読売新聞 2023/12/24

2023:8./ 344p
978-4-7664-2911-4
¥4,950〔税込〕

いなくなっていない父

金川晋吾 著
晶文社
気鋭の写真家が綴る、親子という他人…。時に不気味に、時に息苦しく、時にユーモラスに目の前に現れる親子の姿を、ファインダーとテキストを通して描く、ドキュメンタリーノベル。

読売新聞 2023/12/24

2023:4./ 263p
978-4-7949-7354-2
¥1,870〔税込〕

こころを旅する数学～直観と好奇心がひらく秘密の世界～

ダヴィッド・ベシス 著
晶文社
たくさんの生徒が苦手意識をもつ数学。しかし数学は「学ぶ」ものではなく「やる」ものである。歴史上の偉大な数学者たちのさまざまなエピソードをひも解きながら、学校では教わらない、もうひとつの世界の見方を伝える。

読売新聞 2023/12/24

2023:3./ 449p
978-4-7949-7358-0
¥2,640〔税込〕

なぜヴィーガンか?～倫理的に食べる～

ピーター・シンガー 著
晶文社
人々がヴィーガンになるべき理由は「動物への配慮」「気候変動の問題」「自分の健康への配慮」-。“最も影響力のある現代の哲学者”がヴィーガニズムとベジタリアニズムについて書き継いできたエッセイと論考を精選収録。

読売新聞 2023/12/24

2023:7./ 150p
978-4-7949-7368-9
¥1,980〔税込〕

女帝と道化のロシア(学術選書　108)

坂内 徳明 著
京都大学学術出版会
ロマノフ朝ロシア帝国、4 人目の皇帝アンナ時代の息吹を伝える、ロシア特有の版画ルボーク。世俗的で多岐にわたる題材を扱うルボークを紹介しながら、民衆の娯楽と啓蒙の世界を伝える。

読売新聞 2023/12/24

2023:2./ 5p,415p
978-4-8140-0457-7
¥2,860〔税込〕

消え去る立法者～フランス啓蒙における政治と歴史～

王寺 賢太 著
名古屋大学出版会
18 世紀フランス、啓蒙の時代の哲学者たちの立法者論を焦点として、それぞれの著者の政治理論と歴史認識の関係を明らかにする。モンテスキュー「法の精神」、ルソー「人間不平等起源論」「社会契約論」などをとりあげる。

読売新聞 2023/12/24

2023:2./ 532p
978-4-8158-1120-4
¥6,930〔税込〕

柳家さん喬「笑い」の流儀

柳家さん喬 著
ビジネス社
落語ではなく剣道の稽古で教わった「間」、師匠の落とし噺に表れる「人情」、最終的な演出家はお客様…。江戸落語の第一人者が極上の仕事論を明かす。落語の速記録、「新作落語作者から見た柳家さん喬師匠」なども収録。

読売新聞 2023/12/24

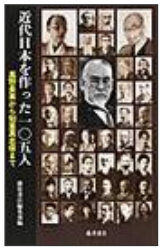
2023:8./ 271p
978-4-8284-2518-4
¥1,870〔税込〕

明治大正昭和化け込み婦人記者奮闘記

平山 亜佐子 著
左右社
日本の新聞黎明期。女だからと侮られ回ってくるのは雑用ばかり。そんな婦人記者たちは己の体一つで変装潜入ルポ(化け込み記事)へ向かい-。明治末期～昭和初期の婦人記者とそれぞれの企画を紹介し彼女らの本音と葛藤に迫る。

読売新聞 2023/12/24

2023:6./ 287p
978-4-86528-373-0
¥2,200〔税込〕



近代日本を作った 105 人～高野長英から知里真志保まで～

藤原書店編集部 編
藤原書店
1830 年から 1880 年までの約 50 年間に誕生し、“時代の先覚者”後藤新平と縁の深かった人々を選んだ「新しい近代日本人物誌」。時代の転換点を鮮やかに示す。『機』連載を単行本化。

読売新聞 2023/12/24

2023:4./ 450p
978-4-86578-386-5
¥3,300〔税込〕

二十世紀のツヅキです<1986-1993>

都筑道夫 著
フリースタイル
知っている人間が、書いておかないと、こういうことは、やがてわからなくなる-。1986 年から 1993 年までに『東京スポーツ』に連載した名物コラムを単行本化。「1994～1999 年」も同時刊行。

読売新聞 2023/12/24

2023:10./ 484p
978-4-86731-006-9
¥3,850〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

二十世紀のツヅキです<1994-1999>

都筑道夫 著
フリースタイル
若いひとたちに嫌われても、知っていることを、なかったことにするのは、罪悪なのである-。1994 年から 1999 年までに『東京スポーツ』に連載した名物コラムを単行本化。「1986～1993 年」も同時刊行。

読売新聞 2023/12/24

2023:10./ 490p
978-4-86731-007-6
¥3,850〔税込〕

命の嘆願書～モンゴル・シベリア抑留日本人の知られざる物語を追って～

井手　裕彦 著
集広舎
第二次世界大戦後、多くの日本兵らが旧ソ連全域とモンゴルに抑留された「シベリア抑留」。飢餓、極寒、重労働…。同胞の命の保証を求めて相手国政府と渡り合った日本人抑留者の闘いを、国家機密の壁を越えて追跡した記録。

読売新聞 2023/12/24

2023:8./ 1295p
978-4-86735-048-5
¥9,680〔税込〕

改革が作ったアメリカ～初期アメリカ研究の展開～

佐久間みかよ／橋川健竜／増井志津代／小倉いずみ 編
小鳥遊書房
植民地時代、独立革命前後、19 世紀…つねに「改革」とともにあったアメリカ。文学、宗教、歴史、文化をカバーする多角的な論考と先端的な視座から俯瞰するエッセイにより、学際的なアプローチで初期アメリカ研究を更新する。

読売新聞 2023/12/24

2023:3./ 302p
978-4-86780-010-2
¥3,740〔税込〕

南方ノート・戦後日記

大佛次郎記念館 編
大佛次郎 著
未知谷
大佛次郎が、昭和 18 年 11 月から 3 ケ月、同盟通信社の嘱託として南方(現シンガポールなど)視察に赴いた際に記した 6 冊の大学ノートと、昭和 21 年 3 月～25 年 8 月に断続的に記した 8 冊の日記群を収録。人名索引付き。

読売新聞 2023/12/24

2023:8./ 350p
978-4-89642-695-3
¥3,960〔税込〕

まるありがとう

養老 孟司 著
西日本出版社
まるがいなくなって、ほぼ 1 年になる。ポンと頭を叩いて、「バカ」というと、少し迷惑そうな顔で薄目を開ける。それができなくなったのが残念である-。養老孟司が愛猫「まる」の思い出を語る。「まる」の写真も多数収録。

読売新聞 2023/12/24

2021:12./ 175p
978-4-908443-67-1
¥1,320〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

うどん陣営の受難(100 min.NOVELLA)

津村 記久子 著

Ｕ－ＮＥＸＴ

4 年ごとに開かれる会社の代表選挙で、現社長は手堅い保守層の支持を集め、対抗馬は過激なスローガンを掲げる。両陣営の醜聞合戦、囲い込み工作…。社内政治の面倒臭さをリアルにコミカルに描いた中編小説。電子書籍を書籍化。

読売新聞 2023/12/24

2023:7./ 103p
978-4-910207-83-4
¥990〔税込〕

後世への最大遺物・デンマルク国の話　改版(ワイド版岩波文庫　350)

内村　鑑三 著

岩波書店

普通の人間にとって実践可能な人生の真の生き方とは何か。我々は後世に何を遺してゆけるのか。人生最大のこの根本問題について語りかける「後世への最大遺物」と、「デンマルク国の話」を併収。

日本経済新聞 2023/12/02

2012:5./ 142p
978-4-00-007350-9
¥990〔税込〕

人新世の「資本論」(集英社新書　1035)

斎藤 幸平 著

集英社

気候変動、コロナ禍…。人類の経済活動が地球を破壊する「人新世」=環境危機の時代。唯一の解決策は、潤沢な脱成長経済である-。晩期マルクスの思想をヒントに、危機の解決策と豊かな未来社会への道筋を具体的に描きだす。

日本経済新聞 2023/12/02

2020:9./ 375p
978-4-08-721135-1
¥1,122〔税込〕

男性の性暴力被害(集英社新書 1185)

宮﨑 浩一／西岡 真由美 著

集英社

なぜ男性の性暴力被害は「なかったこと」にされてきたのか。その背景には、「男らしさ」の呪縛があるのか。男性の性暴力被害の実態、その心身へ及ぼす影響、不可視化の構造、被害からの回復と支援の在り方などを明らかにする。

日本経済新聞 2023/12/02

2023:10./ 253p
978-4-08-721285-3
¥1,056〔税込〕

レジリエンスの時代～再野生化する地球で、人類が生き抜くための大転換～(集英社シリーズ・コモン)

ジェレミー・リフキン 著

集英社

地球を人類に適応させる「進歩の時代」から、人類が地球に適応し自然界と共存する「レジリエンスの時代」へ。科学技術にも精通した世界的な経済社会理論家が、未来への処方箋を示す。

日本経済新聞 2023/12/02

2023:9./ 462p
978-4-08-737002-7
¥3,080〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

プルートゥ～鉄腕アトム「地上最大のロボット」より～<1>(ビッグコミックス)

2004:9./ 180p
978-4-09-187431-3
¥576〔税込〕

長崎尚志プロデュース、浦沢直樹×手塚治虫 著
小学館
巨匠・手塚治虫の代表作に、現代を代表するコミック作家・浦沢直樹が挑む!『鉄腕アトム』の名作エピソード「地上最大のロボット」をモチーフにした話題作が、満を持して単行本化!!

日本経済新聞 2023/12/02

小学館世界の名作<9>　トム・ソーヤーの冒険

1998:7./ 103p
978-4-09-250009-9
¥1,760〔税込〕

マーク・トウェイン、三木 卓 著
小学館
わんぱく少年のトムは家をぬけ出していたずらの毎日。そんな中、真夜中の墓地で殺人を目撃。悩んだ末に証言台に立ちます。少年名作文学を芥川賞作家の三木卓が執筆。絵はアメリカの現地取材をふまえて描きます。

日本経済新聞 2023/12/02

暗夜行路　改版(新潮文庫)

2007:8./ 646p
978-4-10-103007-4
¥1,155〔税込〕

志賀直哉 著
新潮社
祖父と母との過失の結果、この世に生を享けた謙作は、母の死後、突然目の前にあらわれた祖父に引きとられて成長する。苛酷な運命に直面し、時には自暴自棄に押し流されそうになりながらも、強い意志力で幸福をとらえようとする謙作の姿を描く。

日本経済新聞 2023/12/02

小林秀雄の謎を解く～『考へるヒント』の精神史～(新潮選書)

2023:10./ 302p
978-4-10-603902-7
¥1,980〔税込〕

苅部 直 著
新潮社
モーツァルトやベルクソンを論じていた批評の達人・小林秀雄は、なぜ徳川思想史に傾倒したのか。「考へるヒント」など、ベストセラーを読み直し、人間の知の根源をも探る試みであったことを明らかにする超刺激的論考。

日本経済新聞 2023/12/02

人類の起源～古代 DNA が語るホモ・サピエンスの「大いなる旅」～(中公新書　2683)

2022:2./ 5p,294p
978-4-12-102683-5
¥1,056〔税込〕

篠田 謙一 著
中央公論新社
アフリカで誕生したホモ・サピエンスは、どのように全世界に広がったのか。アジア集団の遺伝的多様性の理由とは…。人類学の第一人者が、古代 DNA 研究の最新成果から人類の起源の謎を解き明かす。

日本経済新聞 2023/12/02

実験の民主主義～トクヴィルの思想からデジタル、ファンダムへ～(中公新書　2773)

宇野重規／若林恵 著

中央公論新社

19 世紀の大転換期を生きたトクヴィルの思索と行動を手がかりに、実験的な民主主義像を描出。新技術が人々の想像力を変えた歴史を捉え、フランス革命・アメリカ建国後の政治史を解説し、AI 時代の社会像と人間像を探究する。

日本経済新聞 2023/12/02

2023:10./ 8p,309p
978-4-12-102773-3
¥1,100〔税込〕

アメリカ・イン・ザ・ワールド～合衆国の外交と対外政策の歴史～<上>

ロバート・Ｂ・ゼーリック 著

日経ＢＰ社

アメリカの戦略の本質とは? ジェファーソン、リンカーン、ヘイ、ルーズヴェルト、ルート、ハル…。建国の時代から世界秩序形成の時代まで。3 代の大統領の政権に参画した著者が、合衆国外交の軌跡と立役者たちの足跡を描く。

日本経済新聞 2023/12/02

2023:9./ 503p
978-4-296-11641-6
¥4,400〔税込〕

アメリカ・イン・ザ・ワールド～合衆国の外交と対外政策の歴史～<下>

ロバート・Ｂ・ゼーリック 著

日経ＢＰ社

アメリカ外交の「5 つの伝統」とは? ケネディ、ニクソン、キッシンジャー、レーガン…。冷戦下での同盟システムの構築から冷戦後まで。3 代の大統領の政権に参画した著者が、合衆国外交の軌跡と立役者たちの足跡を描く。

日本経済新聞 2023/12/02

2023:9./ 507p
978-4-296-11642-3
¥4,400〔税込〕

科学をうたう～センス・オブ・ワンダーを求めて～

松村 由利子 著

春秋社

短歌を詠むということは、世界を言葉で切り取ること。三十一文字という小さな器に注がれた広大な世界-。遺伝子から宇宙まで、日常を支える科学技術を詠んだ短歌約 300 首をとおして、科学と文学の接点をみつめる。

日本経済新聞 2023/12/02

2023:10./ 260p
978-4-393-44425-2
¥2,530〔税込〕

根っからの悪人っているの?～被害と加害のあいだ～(あいだで考える)

坂上 香 著

創元社

著者の映画作品「プリズン・サークル」を手がかりに、著者と 10 代の若者たちがサークル(円座になって自らを語りあう対話)を行った記録。元加害者、被害者をゲストに迎え、「被害と加害のあいだ」をテーマに語りあう。

日本経済新聞 2023/12/02

2023:10./ 189p
978-4-422-36015-7
¥1,760〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

お金のむこうに人がいる～元ゴールドマン・サックス金利トレーダーが書いた予備知識のいらない経済新入門～

田内学 著
ダイヤモンド社
経済の主役は、言うまでもなく人だ。人を中心に経済を考えれば、経済を直感的に捉えることができる。元ゴールドマン・サックス金利トレーダーが、専門用語なしでやさしく書いた経済の入門書。

日本経済新聞 2023/12/02

2021:9./ 271p
978-4-478-11372-1
¥1,760〔税込〕

ぼくと、ぼくらの夏(創元推理文庫 M ひ 3-19)

樋口 有介 著
東京創元社
夏休みの朝、暑さと蟬の声で目醒めた戸川春一は、同級生・岩沢訓子が自殺したことを、刑事の父親から知らされる。その日の午後、酒井麻子と出会ったことで、春一は訓子の死の理由を探る羽目に…。

日本経済新聞 2023/12/02

2023:10./ 309p
978-4-488-45919-2
¥858〔税込〕

きみのお金は誰のため～ボスが教えてくれた「お金の謎」と「社会のしくみ」～

田内 学 著
東洋経済新報社
「お金自体には価値がない」「お金で解決できる問題はない」「みんなでお金を貯めても意味がない」 お金の謎を解いたとき、世界の見え方が変わった-。学校では教えてくれない「お金と社会の本質」がわかる経済教養小説。

日本経済新聞 2023/12/02

2023:10./ 247p
978-4-492-04735-4
¥1,650〔税込〕

自由と成長の経済学～「人新世」と「脱成長コミュニズム」の罠～(PHP 新書 1273)

柿埜 真吾 著
ＰＨＰ研究所
現在流行の「脱成長コミュニズム」は、環境保護や心の豊かさを名目に、破綻したマルクスの構想を甦らせようとするものに他ならない。不寛容を生み、環境を破壊する共産主義の正体を暴く。

日本経済新聞 2023/12/02

2021:8./ 213p
978-4-569-85014-6
¥1,023〔税込〕

謝罪論～謝るとは何をすることなのか～

古田 徹也 著
柏書房
「すみません」では済まないとき、何をすれば謝ったことになる? 責任、償い、約束、赦し、後悔、誠意への懐疑…。謝罪の機能や不適切な謝罪の特徴を解き明かし、学際的な知を総動員して、「謝罪の全体像」に迫る。

日本経済新聞 2023/12/02

2023:9./ 303p
978-4-7601-5533-0
¥1,980〔税込〕

輸入ショックの経済学～インクルーシブな貿易に向けて～

遠藤正寛 著
慶應義塾大学出版会
輸入は<脅威>になりうるのか。中国等からの輸入の影響はどれくらいあるのか。製造業の雇用や賃金へのインパクトを詳細なデータに基づき分析し、「負」の影響を緩和する政策を検討する。

日本経済新聞 2023/12/02

2023:10./ 214p
978-4-7664-2928-2
¥2,640〔税込〕

少女、女、ほか

バーナディン・エヴァリスト 著
白水社
子ども時代のレイプ、小さな町での差別、エリートとなった娘との不仲…。時代も背景も様々な 12 人の英国黒人女性がそれぞれの人生を振り返り、乗り越えてきた苦難をウィットに富んだ斬新な文体で語る。

日本経済新聞 2023/12/02、読売新聞 2023/12/24

2023:10./ 525p
978-4-560-09366-5
¥4,950〔税込〕

移民の子どもの隣に座る～大阪・ミナミの「教室」から～

玉置太郎 著
朝日新聞出版
日本有数の歓楽街、大阪・ミナミにある、移民の子どもを支える市民団体「Minami こども教室」。取材を兼ね、ボランティアを続けてきた記者が、子どもたちと接するなかで見えてきた共生の本質を多数のエピソードから描く。

日本経済新聞 2023/12/02、毎日新聞 2023/12/16

2023:10./ 367p
978-4-02-251943-6
¥1,870〔税込〕

さらば、男性政治(岩波新書　新赤版 1955)

三浦 まり 著
岩波書店
女性の衆議院議員 9.7%。日本の政治をアップデートするには。「男性政治」の観点から、日本政治の構造に切り込み、なぜ性別均等な議会が実現しにくいのか、どのように変革の道筋をつけるのかを論じる。

日本経済新聞 2023/12/09

2023:1./ 298p
978-4-00-431955-9
¥1,078〔税込〕

インドの聖地タワンへ瞑想ツアー(角川文庫　き 9-63)

銀色　夏生 著
KADOKAWA
4000 メートル級の峠を越え、たどり着いた金色に輝くタワン僧院。さまざまな場所で瞑想し、この旅はまるで、幻の仲間たちと夢の中を漂っていたかのようで…。インドの奥地にある聖なる街・タワンへの書き下ろし旅行記。

日本経済新聞 2023/12/09

2023:11./ 122p
978-4-04-114105-2
¥770〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

推す力～人生をかけたアイドル論～(集英社新書 1189)

中森 明夫 著
集英社
アイドルを論じ続け、「推す」という生き方を貫き、時代とそのアイコンを見つめてきた評論家が<アイドル×ニッポン>の半世紀を描き出した、アイドル批評の決定版。懐かしさと新鮮な発見に満ちたエピソードが満載。

日本経済新聞 2023/12/09

2023:11./ 250p
978-4-08-721289-1
¥1,100〔税込〕

中受離婚～夫婦を襲う中学受験クライシス～

おおたとしまさ 著
集英社
中学受験は「夫婦」の受験だ! 子どもは無事に合格したものの、受験期間のすれ違いから破綻してしまった 3 組の夫婦。「夫」「妻」「子」、それぞれの立場から語られるセミ・フィクション。

日本経済新聞 2023/12/09

2023:11./ 221p
978-4-08-788092-2
¥1,760〔税込〕

ケネディという名の神話～なぜ私たちを魅了し続けるのか～(中公選書 141)

松岡完 著
中央公論新社
国内外での人気がいまなお高いケネディ。その魅力の源泉とは何か。なぜ神話化が可能だったのか。彼が大統領になるまでの過程、直面した課題と下した決断、死後のケネディ一族やアメリカ政治の動きを包括的に検証する。

日本経済新聞 2023/12/09

2023:10./ 311p
978-4-12-110142-6
¥2,090〔税込〕

神と黒蟹県

絲山 秋子 著
文藝春秋
日本のどこにでもあるような「地味県」の黒蟹県。そこで暮らす、そこを訪れる、名もなき人々や半知半能の神がすれ違いながら織りなす、かけがえなく、いとおしい日々を描く連作小説集。『文學界』掲載を単行本化。

日本経済新聞 2023/12/09

2023:11./ 232p
978-4-16-391775-7
¥1,980〔税込〕

人はなぜ老いるのか～老化の謎に挑む科学～

スー・アームストロング 著
大修館書店
私たちの誰もが避けて通れない「老化」とは一体何なのか? 老化を理解し、老化に伴う不自由さや疾患を予防したり遅らせたりする方法を見つけるための、科学者たちの奮闘の物語。

日本経済新聞 2023/12/09

2023:9./ 14p,339p
978-4-469-26966-6
¥2,860〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

勇者たちの中学受験～わが子が本気になったとき、私の目が覚めたとき～

おおたとしまさ 著

大和書房

入試本番期間の親子の壮絶な心情、子どもの背中に感じる成長、スマホに映し出される合否結果、塾業界の光と影…。気鋭の教育ジャーナリストが実話をもとに、中学受験を克明に描いた物語。

日本経済新聞 2023/12/09

2022:11./ 253p
978-4-479-39394-8
¥1,650〔税込〕

世界中で言葉のかけらを～日本語教師の旅と記憶～(筑摩選書　0266)

山本 冴里 著

筑摩書房

言葉を知らなくても、言葉で通じる時がある。言葉を学ぶことで、広がる世界がある-。中国雲南省、フランス、ハンガリー、エストニアなど、日本語教師が、世界の各地で慣れない言葉を使った体験を綴る、言語の旅の記録。

日本経済新聞 2023/12/09

2023:10./ 238p
978-4-480-01786-4
¥1,870〔税込〕

安全保障の戦後政治史～防衛政策決定の内幕～

塩田 潮 著

東洋経済新報社

憲法、安保改定、専守防衛、非核三原則、防衛費 1%枠、尖閣問題、集団的自衛権から岸田政権の三文書改定まで。防衛政策をめぐる攻防と決定の軌跡を描き、安保・防衛問題の歴史から浮かび上がる戦後政治の実相に迫る。

日本経済新聞 2023/12/09

2023:10./ 449p
978-4-492-06223-4
¥3,080〔税込〕

津波～暴威の歴史と防災の科学～

ジェイムズ・ゴフ、ウォルター・ダッドリー 著

みすず書房

世界各地で長年調査に携わる 2 人の研究者が、古今東西の事例をもとに、津波という地球規模の現象を解き明かす。科学的な知見、言い伝え、生存者へのインタビューを組み合わせ、津波のメカニズムと防災の心得を生き生きと説く。

日本経済新聞 2023/12/09

2023:10./ 354p
978-4-622-09622-1
¥4,620〔税込〕

一票の較差と選挙制度～民主主義を支える三層構造～

岩崎　美紀子 著

ミネルヴァ書房

日本の選挙制度の特性を、諸国との比較も行いながら客観的にあぶりだす。「一票の較差」問題を基底に、民主主義を支える基盤としての選挙制度が日本でいかに是正されるべきか、体系的に思考する。

日本経済新聞 2023/12/09

2021:12./ 256p
978-4-623-09306-9
¥4,950〔税込〕

自民党の女性認識～「イエ中心主義」の政治指向～

安藤　優子 著
明石書店
自民党は長らく、女性を従属的な「わきまえる」存在と見なし、「イエ中心主義」の政治指向を形成してきた。戦後の保守再生の流れの中で、そうした女性認識はいかに形作られ、戦略的に再生産されてきたのかを考察する。

日本経済新聞 2023/12/09

2022:7./ 305p
978-4-7503-5423-1
¥2,750〔税込〕

ロスチャイルドの女たち

ナタリー・リヴィングストン 著
亜紀書房
ドイツのユダヤ人ゲットーから身を立て、世界有数の金融帝国を築き上げたロスチャイルド家。その隆盛の裏には、女性たちの活躍があった。19 世紀から現代に至る激動の欧米史を縦軸に、一族の歴史を女性の側から描き出す。

日本経済新聞 2023/12/09

2023:10./ 643p
978-4-7505-1815-2
¥5,280〔税込〕

ジェンダー平等を実現する法と政治～フランスのパリテ法から学ぶ日本の課題～

辻村 みよ子／齊藤 笑美子 著
花伝社
政治・経済分野の「パリテ」を達成し、同性婚や生殖補助医療、氏の選択にまで法制度を広げたフランス。フランス人権宣言と憲法の歴史的展開、今に至るまでの政策動向を丁寧に追い、日仏を比較検討する。

日本経済新聞 2023/12/09

2023:4./ 252p
978-4-7634-2058-9
¥1,870〔税込〕

忘れられた思想家・山川菊栄～フェミニズムと戦時下の抵抗～

鈴木 裕子 著
梨の木舎
1910 年代後半、「女われら」の自主自立を訴えて登場した山川菊栄。その思想を、社会主義フェミニズムの思想と「戦時下抵抗」の思想を軸にたどる。巻末に年譜、系図、人名索引を掲載。

日本経済新聞 2023/12/09

2022:3./ 724p
978-4-8166-2203-8
¥7,480〔税込〕

万物の黎明～人類史を根本からくつがえす～

デヴィッド・グレーバー、デヴィッド・ウェングロウ 著
光文社
人類の歴史は、これまで語られてきたものと異なり、遊び心と希望に満ちた可能性に溢れていた-。考古学・人類学の研究成果に基づき、閉塞感に包まれた現代社会に新たな可能性を提示する新・真・世界史。

日本経済新聞 2023/12/09、東京・中日新聞 2023/12/10、毎日新聞 2023/12/23

2023:9./ 708p
978-4-334-10059-9
¥5,500〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

ケインズ～危機の時代の実践家～(岩波新書　新赤版 1990)

伊藤 宣広 著
岩波書店
第一次大戦の戦後処理、金本位制復帰問題、大恐慌…。ミクロ的に合理的でもマクロ的に正しいとは限らない「合成の誤謬」となる政治的決断に抗い続けて、マクロ経済学の誕生を告げる「一般理論」に至った実践家ケインズを描く。

日本経済新聞 2023/12/09、読売新聞 2023/12/24

2023:10./ 234p
978-4-00-431990-0
¥1,034〔税込〕

パピルスのなかの永遠～書物の歴史の物語～

イレネ・バジェホ 著
作品社
口承から巻物、冊子本までの書物と人々の足跡、図書館の誕生やアルファベットによる革命など、書物の歴史の黎明期をたどる。現代の社会現象や文学作品、映画にも言及しながら、書物の激動の旅を描いたエッセイ。

日本経済新聞 2023/12/09、毎日新聞 2023/12/09、毎日新聞 2023/12/23

2023:10./ 501p,47p
978-4-86182-927-7
¥5,280〔税込〕

悠木碧のつくりかた

悠木碧 著
中央公論新社
「魔法少女まどか☆マギカ」「薬屋のひとりごと」などで主演を務める人気声優・悠木碧が、生い立ちから仕事、オフの日のこと、推し活まで、自身について語る。寿美菜子と早見沙織との鼎談も収録。

日本経済新聞 2023/12/16

2023:9./ 219p
978-4-12-005695-6
¥1,870〔税込〕

宇宙に質量を与えた男ピーター・ヒッグス

フランク・クローズ 著
早川書房
「素粒子物理学最大の謎」はいかにして解かれたのか? ヒッグス粒子の発見にまつわるドラマ、ピーター・ヒッグスの人生、「ヒッグス」を追い続けた幾人もの同志たちの姿を精緻に描き出す。

日本経済新聞 2023/12/16

2023:10./ 383p
978-4-15-210274-4
¥2,970〔税込〕

アメリカスチュワーデス物語～差別の横行、セクハラの蔓延、低賃金。ついに立ち上がったスチュワーデスは革命を起こせるのか～

ネル・マクシェイン・ウルフハート 著
国書刊行会
ひょんなことからスチュワーデス労働組合の副議長になったパット。劣悪な労働環境と会社や組合の汚いやり口を見せつけられ、スチュワーデスたちはついに立ち上がる! 人間の尊厳のために戦ったアメリカの客室乗務員の実話。

日本経済新聞 2023/12/16

2023:10./ 346p
978-4-336-07504-8
¥4,180〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

風景をつくるごはん～都市と農村の真に幸せな関係とは～

真田純子 著
農山漁村文化協会
地方創生が喧伝されるが、なぜ中山間地の人たちばかりがんばらなくてはならないのか? 農村風景を入り口に、都市と農村が良好な関係であるための社会のシステムを考える。『土木技術』連載記事をもとに単行本化。

日本経済新聞 2023/12/16

2023:10./ 284p
978-4-540-23124-7
¥2,200〔税込〕

善と悪のパラドックス～ヒトの進化と<自己家畜化>の歴史～

リチャード・ランガム 著
ＮＴＴ出版
協力的で思いやりがありながら、同時に残忍で攻撃的な人間の特性は、いかにして育まれたのか? 世界を舞台に活躍する人類学者が、<自己家畜化>という人間の進化特性を手がかりに人類進化の秘密に迫る。

日本経済新聞 2023/12/16

2020:10./ 464p
978-4-7571-6080-4
¥5,390〔税込〕

髪をもたない女性たちの生活世界～その「生きづらさ」と「対処戦略」～

吉村さやか 著
生活書院
けがや病気でまだら頭やスキンヘッドとなった女性たちは「髪は女のいのち」という根強いジェンダー規範の中をどう生きてきたのか。その生活世界と多様な対処戦略に焦点を当て、常識的知を問い直す。テクストデータ引換券付き。

日本経済新聞 2023/12/16

2023:9./ 277p
978-4-86500-156-3
¥2,530〔税込〕

道を歩けば、神話～ベトナム・ラオスつながりの民族誌～

樫永　真佐夫 著
左右社
民族や“くに”のつながりとは? ベトナム・ラオスの旅に出た文化人類学者が、少数民族が独自に築いたもの、国の危機につくり出された英雄や神話、外部者たちとの交流により新たに根づいた文化などを 2 国の歴史と共にたどる。

日本経済新聞 2023/12/16

2023:11./ 311p
978-4-86528-392-1
¥2,750〔税込〕

人類の深奥に秘められた記憶

モアメド・ムブガル・サール 著
集英社
1938 年に 1 冊の本でパリの文壇の話題をさらい、剽窃のかどで消えてしまったセネガル人作家エリマン。彼は一体何者だったのか? 現代のくすぶる若手小説家ジェガーヌが、その軌跡を追い求め…。

日本経済新聞 2023/12/16、日本経済新聞 2023/12/23

2023:10./ 476p
978-4-08-773525-3
¥3,630〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

破果

ク・ビョンモ 著
岩波書店
守るべきものはつくらないを信条に、ハードな現場を生き抜いてきた60代女殺し屋・爪角。命あるものの温もりに気づいたとき、人生最後の死闘がはじまる-。韓国発の新感覚ノワール。

日本経済新聞 2023/12/23

2022:12./ 274p
978-4-00-061576-1
¥2,970〔税込〕

澤～句集～(澤俳句叢書 第8篇)

小澤 實 著
KADOKAWA
残雪を弾き出でたる熊笹ぞ 神の留守岬端まで歩きけり せきれいのうれしくあゆむ氷の上 水にたらしうがひぐすりの青き塔 著者が主宰する俳句雑誌『澤』に掲載した、平成12～24年の作品をまとめた第4句集。

日本経済新聞 2023/12/23

2023:11./ 185p
978-4-04-884559-5
¥2,970〔税込〕

香港陥落

松浦 寿輝 著
講談社
1941年、日本軍政前夜の香港。暗い過去を秘めた日英中の男3人が、ペニンシュラ・ホテルに集い、語り合う。やがて夜は更け、歴史が動き始め…。時代の狂風に翻弄される男達の愛と友情と苦悩を描く。『群像』掲載を書籍化。

日本経済新聞 2023/12/23

2023:1./ 252p
978-4-06-530023-7
¥1,980〔税込〕

農協のフィクサー

千本木 啓文 著
講談社
障がいをバネに差別と戦った若き時期、宿敵・野中広務を倒し、巨大利権を手中にして組合員ににらみをきかせる-。日本の最後の聖域「農協」を裏支配する男・中川泰宏の実像に迫る。『ダイヤモンド・オンライン』連載に加筆。

日本経済新聞 2023/12/23

2023:2./ 302p
978-4-06-530891-2
¥1,980〔税込〕

ティラノサウルス解体新書

小林 快次 著
講談社
どのように進化したのか? 日本にもいたのか? 恐竜の長い歴史のなかでも最大級で最強のティラノサウルス。超肉食恐竜といわれるその姿に、最新研究を紐解きながら迫る。座談会も収録。

日本経済新聞 2023/12/23

2023:3./ 319p
978-4-06-531315-2
¥1,870〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

フェルナンド・ペソア伝～異名者たちの迷路～

澤田 直 著
集英社
70 もの人格を作り作品を書き分けた、ポルトガルの国民的詩人フェルナンド・ペソア。死後、公刊されたものの十数倍もの作品が書かれていたことが判明し、現在も刊行され続ける。この巨人の生涯と言葉を丹念にたどった評伝。

日本経済新聞 2023/12/23

2023:8./ 491p
978-4-08-771823-2
¥3,080〔税込〕

呪術廻戦<1>(ジャンプコミックス)

芥見 下々 著
集英社
類稀な身体能力を持つ高校生・虎杖悠仁は、病床に伏せる祖父の見舞いを日課にしていた。だがある日学校に眠る「呪物」の封印が解かれ、化物が現れてしまう。取り残された先輩を救う為、校舎へ乗り込む虎杖だが!?

日本経済新聞 2023/12/23

2018:7./ 190p
978-4-08-881516-9
¥484〔税込〕

愚者の街<上巻>(新潮文庫　ト-25-1)

ロス・トーマス 著
新潮社
街をひとつ腐らせてほしい-。諜報員としての任務の過程で、何者かの策略により投獄され失職したダイに、不正と暴力で腐敗した街の再生計画が持ち込まれる。心に虚無を抱えるダイは、この無謀な計略に身を投じ…。

日本経済新聞 2023/12/23

2023:6./ 356p
978-4-10-240311-2
¥781〔税込〕

愚者の街<下巻>(新潮文庫　ト-25-2)

ロス・トーマス 著
新潮社
元悪徳警官、元娼婦に、元秘密諜報員。街を丸ごと腐らせる計画を託されたダイたちは、賭博や買春を黙認し賄賂を受け取る警察や風紀犯罪取締班の不正を訴え、スワンカートンの要人たちを次々と排斥していき…。

日本経済新聞 2023/12/23

2023:6./ 398p
978-4-10-240312-9
¥825〔税込〕

厳島

武内 涼 著
新潮社
兵力わずか四千の毛利元就軍が二万八千の陶晴賢軍を打ち破った「厳島の戦い」。名勝負の陰には壮絶な人間ドラマがあった。毛利元就と弘中隆兼の対照的な 2 人の武将を通して人間の矜持を問う歴史巨編。『産経新聞』連載を改稿。

日本経済新聞 2023/12/23

2023:4./ 430p
978-4-10-350644-7
¥2,530〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

グラーフ・ツェッペリン～あの夏の飛行船～(ハヤカワ文庫 JA 1555)

高野　史緒 著
早川書房
宇宙開発が進みながら、インターネットが実用化されたばかりの夏紀の宇宙。宇宙開発は発展途上だが、量子コンピュータの開発・運用が実現している登志夫の宇宙。
別々の 2021 年を生きる 2 人には、不可解な記憶があって…。

日本経済新聞 2023/12/23

2023:7./ 372p
978-4-15-031555-9
¥1,034〔税込〕

サン=フォリアン教会の首吊り男 新訳版(ハヤカワ・ミステリ文庫 HM 16-4)

ジョルジュ・シムノン 著
早川書房
駅の待合室で不審な男を見かけたメグレは、男の鞄を自分のものとすり替えた。すると男は拳銃で自殺してしまう。奇妙な事件の捜査に当たるメグレは、事件の陰にちらつく異様な首吊り男の絵の真相へと近づいていくが…。

日本経済新聞 2023/12/23

2023:5./ 223p
978-4-15-070954-9
¥1,276〔税込〕

サミュエルソンかフリードマンか～経済の自由をめぐる相克～

ニコラス・ワプショット 著
早川書房
20 世紀を代表する 2 人の偉大な経済学者、ポール・サミュエルソンとミルトン・フリードマンが生涯にわたって繰り広げた論争と、彼らの経済論が世界に与えた影響、知られざる交流の実態を、豊富な資料を基に描く。

日本経済新聞 2023/12/23

2023:8./ 462p
978-4-15-210263-8
¥3,740〔税込〕

完全ドキュメント北九州監禁連続殺人事件

小野 一光 著
文藝春秋
7 人はいかに洗脳され、次々と惨殺されたのか? 電気ショック、肉親殺し、遺体解体…。「北九州監禁連続殺人事件」の一部始終を 20 年にわたる取材を通して描く。
『文春オンライン』連載記事を加筆修正。

日本経済新聞 2023/12/23

2023:2./ 575p
978-4-16-391659-0
¥2,420〔税込〕

それは誠

乗代 雄介 著
文藝春秋
生き別れになった、大好きな「おじさん」にもう一度会いたい-。修学旅行で東京を訪れた 4 人の高校生たちが、コースを外れた小さな冒険を試みて…。『文學界』掲載を単行本化。

日本経済新聞 2023/12/23

2023:6./ 177p
978-4-16-391721-4
¥1,870〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

ジョン・メイナード・ケインズ～1883-1946～<上>

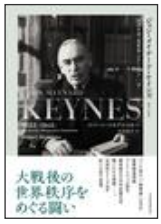
ロバート・スキデルスキー 著

日経ＢＰ社

2 つの世界大戦の時代を通じて、世界のあるべき秩序を求め、また母国を救うために奮闘、経済学に革命をもたらしたケインズの全貌を描き出す。上は、両親・家族、出生から、大恐慌の到来までを収録。

日本経済新聞 2023/12/23

2023:2./ 17p,640p
978-4-296-11356-9
¥4,950〔税込〕



ジョン・メイナード・ケインズ～1883-1946～<下>

ロバート・スキデルスキー 著

日経ＢＰ社

2 つの世界大戦の時代を通じて、世界のあるべき秩序を求め、また母国を救うために奮闘、経済学に革命をもたらしたケインズの全貌を描き出す。下は、不況の理論的解明から死に至るまでの後半生を収録。

日本経済新聞 2023/12/23

2023:2./ 620p,27p
978-4-296-11357-6
¥4,950〔税込〕

強欲資本主義は死んだ～個人主義からコミュニティの時代へ～

ポール・コリアー、ジョン・ケイ 著

勁草書房

自信過剰な経営者も、独善的な政治家や社会運動家も、目立ちたがりインフルエンサーも、行き過ぎた個人主義は社会を幸せにしない。コミュニティと市場が共存し、「共創」する新しい資本主義のための処方箋を提示する。

日本経済新聞 2023/12/23

2023:2./ 320p
978-4-326-55092-0
¥3,850〔税込〕

宇宙ベンチャーの時代～経営の視点で読む宇宙開発～(光文社新書　1246)

小松伸多佳、後藤大亮 著

光文社

宇宙開発は民間企業がイニシアティブをとる「ビジネス」として生まれ変わりつつある。その背景には何があるのか。ベンチャー・キャピタリストと JAXA のエンジニアが、企業経営とサイエンスの観点から展望する。

日本経済新聞 2023/12/23

2023:3./ 319p
978-4-334-04653-8
¥1,012〔税込〕

本の背骨が最後に残る

斜線堂有紀 著

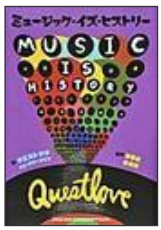
光文社

物語を語る者が「本」と呼ばれる国。1 冊につき 1 つの物語だが、稀に同じ本に異同が生じると、どちらかが「誤植」と断じられ「焚書」される-。表題作のほか、全 7 編を収録。新鋭作家が凶暴な想像力で紡いだ、絢爛甘美な物語。

日本経済新聞 2023/12/23

2023:9./ 276p
978-4-334-10051-3
¥1,870〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

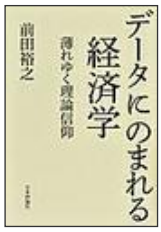


ミュージック・イズ・ヒストリー

クエストラヴ／ベン・グリーンマン 著
シンコーミュージック・エンタテイメント
ザ・ルーツのドラマー、クエストラヴがアメリカの音楽と歴史を振り返った画期的な一冊。音楽が様々な社会事象と結びつき、どのように変化し広まったかを独自の文体で徹底解説する。日本語版の特別寄稿も収録。

日本経済新聞 2023/12/23

2023:2./ 504p
978-4-401-65215-0
¥3,520〔税込〕



データにのまれる経済学～薄れゆく理論信仰～

前田 裕之 著
日本評論社
データ分析の波が押し寄せている経済学界は、その波にのみこまれてしまうのか。「理論と実証」のはざまで苦闘してきた経済学者たちの足跡を追いつつ、経済学の草創期から現在に至るまでの実証分析の全体像を描く。

日本経済新聞 2023/12/23

2023:6./ 352p
978-4-535-54038-5
¥2,420〔税込〕

松籟邸の隣人<1> 青夏の章

宮本 昌孝 著
ＰＨＰ研究所
吉田家の別荘・松籟邸に住み、後に総理大臣となる若者・茂。謎の隣人・天人とともに、数々の怪事件を解決していき…。虚と実を巧みに織り交ぜた、連作活劇ミステリー。『文蔵』連載を加筆・修正。

日本経済新聞 2023/12/23

2023:11./ 333p
978-4-569-85595-0
¥2,310〔税込〕

83 歳、最後のマジック～生涯野球監督迫田穆成～

坂上 俊次 著
ベースボール・マガジン社
部員 11 人の広島県立竹原高の監督に就任し、わずか 3 年後に 20 年間で 1 勝のチームを 35 年ぶり県 16 強に導いた迫田穆成。心に火をつけるアイデアと戦略、その生きざまのすべてに、中国放送アナウンサーの著者が迫る。

日本経済新聞 2023/12/23

2023:6./ 203p
978-4-583-11590-0
¥1,980〔税込〕

野獣の血(扶桑社ミステリー キ 18-1)

キム・オンス 著
扶桑社
1993 年、釜山の片隅の港町クアム。ホテルの支配人ヒスは、やくざ稼業に生きてきた。クアムは長年、海を挟んだ影島の組織と共存共栄を保っている。だがある日、組が所有する工場が流れ者のやくざヨンガンに襲撃され…。

日本経済新聞 2023/12/23

2023:7./ 719p
978-4-594-09499-7
¥1,540〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

グリーン経済学～つながってるけど、混み合いすぎで、対立ばかりの世界を解決する環境思考～

ウィリアム・ノードハウス 著
みすず書房
環境汚染の抑制、渋滞緩和、地球温暖化、グリーン化学、環境税、グリーン倫理、グリーンファイナンス…。ノーベル経済学賞受賞者が、社会・経済・政治分野の幅広い問題をグリーンの観点から考察する。

日本経済新聞 2023/12/23

2023:1./ 416p
978-4-622-09571-2
¥4,180〔税込〕

酔いどれクライマー永田東一郎物語～80 年代ある東大生の輝き～

藤原　章生 著
山と渓谷社
東大スキー山岳部に 8 年在籍し、カラコルムの難峰 K7 の初登頂を果たした永田東一郎。だが登頂を機に登山の世界から離れ、建築の道に進むも、病で 46 年の生涯を閉じ…。圧倒的な存在感を放ちながら破天荒に生きた男の人物伝。

日本経済新聞 2023/12/23

2023:2./ 381p
978-4-635-34042-7
¥1,980〔税込〕

現代日本の消費分析～ライフサイクル理論の現在地～

宇南山 卓 著
慶應義塾大学出版会
消費税率引上げ、老後の生活資金の不足問題など、日本の消費にまつわる多様な現象を「ライフサイクル理論」を用いて一貫した視点から分析。経済環境の変化がどのように家計行動を変えるのか、そのメカニズムを解明する。

日本経済新聞 2023/12/23

2023:5./ 29p,500p
978-4-7664-2895-7
¥7,480〔税込〕

家族～千葉皓史句集～

千葉皓史 著
ふらんす堂
枯菊の沈んでゆける炎かな 岩棚を潮のよこぎる日向ぼこ 卯の花や子供がつかふ風呂の音 菜の花を挿す亡き者に近々と 第 1 句集「郊外」以後、ほぼ平成末年までの作品を収めた第 2 句集。

日本経済新聞 2023/12/23

2023:4./ 182p
978-4-7814-1530-7
¥3,080〔税込〕

私の女性詩人ノート<3>

たかとう匡子 著
思潮社
それぞれの時代にあって、葛藤のなかで紡がれてきた詩のことば。もう「女性詩」という言葉を本当の意味での死語にしたい-。新藤凉子から蜂飼耳まで、12 人の女性詩人たちの表現を、実作者として一女性の視点から見つめ直す。

日本経済新聞 2023/12/23

2023:7./ 223p
978-4-7837-3828-2
¥2,750〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

皆神山

杉本真維子 著
思潮社
馬に乗るまでのあいだ、バケツに水を入れて、雑巾を用意し、林檎二つ、箒とちりとりも持ってきた ブーツを巾着に入れ、肩から提げて、自転車に乗っていそぐ。(「馬に乗るまで」より) 24 篇を収録した詩集。

日本経済新聞 2023/12/23

2023:4./ 109p
978-4-7837-4506-8
¥2,640〔税込〕

ビジネス教養としての最新科学トピックス(インターナショナル新書 130)

茜 灯里 著
集英社インターナショナル
宇宙視点の SDGs、新型コロナのまとめと展望、ChatGPT の危険性…。原著論文をもとに現代科学の最新情報をわかりやすくコンパクトに解説する。全 29 本を収録。WEB サイト『ニューズウィーク日本版』連載を書籍化。

日本経済新聞 2023/12/23

2023:10./ 221p
978-4-7976-8130-7
¥968〔税込〕

ノヴァ・ヘラス～ギリシャ SF 傑作選～(竹書房文庫 ば 3-1)

フランチェスカ・T・バルビニ／フランチェスコ・ヴァルソ 編
ヴァッソ・クリストウ 著
竹書房
隆起するギリシャ SF の世界へようこそ。生活のために水没した都市に潜り働くひとびとを描く「ローズウィード」、風光明媚な島で人造人間たちが観光客を歓迎する「われらが仕える者」など、全 11 編を収録。

日本経済新聞 2023/12/23

2023:4./ 271p
978-4-8019-3280-7
¥1,496〔税込〕

女性が科学の扉を開くとき～偏見と差別に対峙した六〇年～

リタ・コルウェル、シャロン・バーチュ・マグレイン 著
東京化学同人
米国科学界に著しい性差別があった 1960 年代よりジェンダーギャップを埋める努力はどのように成されてきたか。女性で初めて米国国立科学財団の長官を務めたリタ・コルウェルが、科学者としての人生を人間的な側面から語る。

日本経済新聞 2023/12/23

2023:11./ 344p
978-4-8079-2050-1
¥3,520〔税込〕

財政規律とマクロ経済～規律の棚上げと遵守の対立をこえて～

齊藤 誠 著
名古屋大学出版会
日本経済の進む隘路を照らす-。1990 年代前半から 2020 年代の現在まで財政余剰が常に赤字である日本。過去 30 年間の不可思議な均衡とその行方を包括的に解明し、政府・日銀のすべきこと/してはいけないことを示す。

日本経済新聞 2023/12/23

2023:10./ 6p,460p
978-4-8158-1136-5
¥4,950〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

遠い感～歌集～(かりん叢書 第 423 篇)

郡司和斗 著
短歌研究社
タリーズのカップになんて書いてあるのか読めんけどだぶん<がんばれ> しめやかな砂丘を口に棲まわせて夜風のなかのベランダにいる 18 歳から 24 歳まで(2017～2023 年)の作品から 333 首を収めた第 1 歌集。

日本経済新聞 2023/12/23

2023:9./ 142p
978-4-86272-748-0
¥2,200〔税込〕

たましひの薄衣～歌集～

菅原百合絵 著
書肆侃侃房
その母はお針子なりきローランサンの灰青色の深きさびしさ 睡りゆく意識の中をアレクサンドリア図書館燦と燃え落つ 東京、ジュネーヴ、リヨンで過ごした 10 年間の作品から 333 首を収めた第 1 歌集。

日本経済新聞 2023/12/23

2023:2./ 143p
978-4-86385-561-8
¥2,200〔税込〕

野球短歌～さっきまでセ界が全滅したことを私はぜんぜん知らなかった～

池松 舞 著
ナナロク社
サードから本塁までが遠すぎて半日かけてもたどりつけない 村上に重圧がとアナは言うが対する投手だってそうだわ 2022 年のプロ野球、阪神戦。一試合ごとに詠み続けた、野球への愛に満ちた短歌全 313 首を収録する。

日本経済新聞 2023/12/23

2023:3./ 177p
978-4-86732-019-8
¥1,760〔税込〕

月と書く～句集～

池田 澄子 著
朔出版
月を待つ春の空かな誕生日 晩秋と思いぬ不意に逢いたくなる 常の日や梅は案外匂わずに 夕涼の川という文字うつくしや 年取れば若いと言わる敗戦日 草と我そよぎてなどか月の雫 第 8 句集。

日本経済新聞 2023/12/23

2023:6./ 187p
978-4-908978-93-7
¥2,860〔税込〕

「誰でもよいあなた」へ～投壜通信～

伊藤 潤一郎 著
講談社
「見知らぬあなた」を待つ言葉として海に投じられる「投壜通信」のモチーフから発する思索の数々。ベケット、デリダ、石原吉郎、宇佐見りんらの言葉を紡ぎ、文芸と哲学を結び語るエッセイ集。『群像』隔月連載を加筆し書籍化。

毎日新聞 2023/12/02

2023:10./ 173p
978-4-06-533337-2
¥1,760〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

大ピンチずかん<2>

鈴木 のりたけ 著

小学館

たんじょうびケーキがたおれそう。おべんとうをわすれた…。こどもが出あう世の中の様々な「大ピンチ」を、大ピンチレベル順に紹介。大ピンチになる理由がわかる大ピンチグラフも採用。

毎日新聞 2023/12/02

2023:11./ 47p
978-4-09-725243-6
¥1,650〔税込〕

自衛隊失格～私が「特殊部隊」を去った理由～(新潮文庫　い-140-1)

伊藤 祐靖 著

新潮社

平時にしか通用しないリーダーを育てる幹部候補生学校、魂の抜け殻だった防衛大生、創設するも未完のままだった自衛隊初の特殊部隊…。勤続 20 年、北朝鮮の拉致工作船と対峙した著者が、捨て身の自伝で国防の現場を明かす。

毎日新聞 2023/12/02

2021:6./ 282p
978-4-10-102961-0
¥649〔税込〕

ヨーロッパ退屈日記(新潮文庫)

伊丹 十三 著

新潮社

1961 年、俳優としてヨーロッパに長期滞在した著者は、語学力と幅広い教養を武器に、当地での見聞を洒脱な文体で綴り始めた。上質のユーモアと、見識という名の背骨を通した文章は、戦後日本に初めて登場した本格的な「エッセイ」だった。

毎日新聞 2023/12/02

2005:3./ 304p
978-4-10-116731-2
¥649〔税込〕

遺伝と平等～人生の成り行きは変えられる～

キャスリン・ペイジ・ハーデン 著

新潮社

生まれつきの違いを武器とできれば、人生は変えられる! 遺伝と学歴の関係や双子の研究をしてきたアメリカの研究者が、科学と社会をビッグデータでつなぎ「新しい平等」を指向する、遺伝学の成果を解説する。

毎日新聞 2023/12/02

2023:10./ 387p,10p
978-4-10-507351-0
¥3,300〔税込〕

国のために死ねるか～自衛隊「特殊部隊」創設者の思想と行動～(文春新書 1069)

伊藤 祐靖 著

文藝春秋

新安保法制が施行され、「自衛隊員の戦死」が現実味を帯びてきた。今の日本という国家に「死ね」と命じる資格はあるのか?海上自衛隊特殊部隊の創設者が、自身の経験をもとに「国のために死ぬ」ことを突き詰めて考える。

毎日新聞 2023/12/02

2016:7./ 255p
978-4-16-661069-3
¥990〔税込〕

神は銃弾(文春文庫)

ボストン・テラン 著
文芸春秋
元妻を殺し、娘を拉致したカルトを追え。復讐に燃える男の追撃行を鮮烈に描く傑作ノワール、登場。英国推理作家協会新人賞受賞作!

毎日新聞 2023/12/02

2001:9./ 573p
978-4-16-752785-3
¥990〔税込〕

近代美学入門(ちくま新書　1754)

井奥 陽子 著
筑摩書房
「美しい」とはなにか。17〜19 世紀のヨーロッパで成立した美学について、芸術、芸術家、美、崇高、ピクチャレスクといった概念の変遷をたどり、その成立過程を明らかにする。勉強に役立つ読書案内付き。

毎日新聞 2023/12/02

2023:10./ 314p,4p
978-4-480-07584-0
¥1,210〔税込〕

陸軍中野学校外伝〜蔣介石暗殺命令を受けた男〜

伊藤 祐靖 著
角川春樹事務所
士族の家に生まれ、8 歳でニトログリセリンを自製。陸軍中野学校の課題を次々とクリアし、教範を作成し直させた異才は、蔣介石暗殺命令を受けるが…。特殊戦に生きる者の心情と歴史の闇を描く。

毎日新聞 2023/12/02

2023:10./ 329p
978-4-7584-1453-1
¥1,980〔税込〕

<公正>を乗りこなす〜正義の反対は別の正義か〜

朱 喜哲 著
太郎次郎社エディタス
うまく使いこなすことが難しいと思われている、「正義」や「公正」といった「正しいことば」。それが使いにくいのはなぜなのか、どうすれば使いこなせるのかを、具体例とともに考察する。WEB マガジン連載を大幅に加筆修正。

毎日新聞 2023/12/02

2023:9./ 269p
978-4-8118-0860-4
¥2,420〔税込〕

蛇の棲む水たまり

梨木 香歩、鹿児島 睦 著
ブルーシープ
馬は群れを出て森に入り、その森を出て次の森に入る手前で、蛇の棲む水たまりを見つけた-。陶芸家・鹿児島睦の器に、作家・梨木香歩が紡いだ物語を添えたおとな向け絵本。

毎日新聞 2023/12/02

2023:10./ 68p
978-4-908356-50-6
¥2,200〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

情報公開が社会を変える～調査報道記者の公文書道～(ちくま新書　1761)

日野 行介 著
筑摩書房
役所の不正に立ち向かうとき、強力な武器となる情報公開制度。これまでに千件もの情報公開請求を行い、数々のスクープを伝えてきた調査報道記者が、一般市民に向けて、そのしくみとテクニックをわかりやすく伝授する。

毎日新聞 2023/12/02、朝日新聞 2023/12/09

2023:11./ 220p
978-4-480-07591-8
¥968〔税込〕

関西フォークとその時代～声の対抗文化と現代詩～

瀬崎 圭二 著
青弓社
関西フォークとは、どのようなムーブメントだったのか。岡林信康、高田渡らフォークシンガーの音楽実践を現代詩との交差から描き出し、その音楽性や文学運動としての側面を照らす。『同志社国文学』等掲載に加筆。

毎日新聞 2023/12/02、朝日新聞 2023/12/16

2023:10./ 322p
978-4-7872-7458-8
¥3,080〔税込〕

近畿地方のある場所について

背筋 著
KADOKAWA
オカルト雑誌に掲載するため、ライターの私と編集者の小沢くんは、近畿地方の「ある場所」に関連した文章を収集。私たちは「ある場所」に潜む怪異の存在に気づき…。綴じ込みの「取材資料」付き。『カクヨム』掲載に加筆修正。

毎日新聞 2023/12/02、朝日新聞 2023/12/23

2023:8./ 334p
978-4-04-737584-0
¥1,430〔税込〕

窓ぎわのトットちゃん<続>

黒柳 徹子 著
講談社
東京大空襲の数日後、青森を目指して、ひとり夜行列車に乗ったトットを待ち受けていた試練とは? NHK の専属女優になりたての、トットが救われた一言とは? 「窓ぎわのトットちゃん」、42 年ぶりの続編。

毎日新聞 2023/12/02、読売新聞 2023/12/24

2023:10./ 253p
978-4-06-529671-4
¥1,650〔税込〕

駅スタンプ大図鑑～解説付き戦前の印影コレクション～

田中 比呂之 編
田中 比呂之 著
世界文化社
戦前の熱狂的なブームがよみがえる! 昭和初期に雑誌『旅』で紹介された「駅スタンプ」を、関東から外地(樺太・台湾・朝鮮・満洲)まで 1400 点以上カラーで掲載し、解説を付す。蒐集家の蔵出しスタンプなどコラムも充実。

毎日新聞 2023/12/02、読売新聞 2023/12/24

2023:10./ 271p
978-4-418-23218-5
¥3,190〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

マゼラン船団世界一周 500 年目の真実～大航海時代とアジア～

大野 拓司 著
作品社
いまから 500 年前、グローバリゼーションの嚆矢となったマゼランたち。なぜ彼らは東アジアにむかったのか。遭遇したフィリピンの人々はどう彼らを迎えたのか。記録・資料の調査、現地取材をもとに、真実を丁寧に解きほぐす。

毎日新聞 2023/12/02、毎日新聞 2023/12/16

2023:11./ 263p
978-4-86182-977-2
¥2,970〔税込〕

いろんな私が本当の私

長嶋　有／雁　須磨子／コナリミサト／丹羽　庭／鶴谷香央理／三本阪奈／米代　恭 著
双葉社
「三十歳」「もう生まれたくない」「三の隣は五号室」…。芥川賞・大江賞作家・長嶋有の小説を、雁須磨子、コナリミサト、丹羽庭、鶴谷香央理など 6 人の女性漫画家が紡ぐアンソロジー。

毎日新聞 2023/12/03

2023:11./ 221p
978-4-575-31841-8
¥1,430〔税込〕

月ぞ流るる

澤田 瞳子 著
文藝春秋
宮中きっての和歌の名手と言われる朝児は夫を亡くしたばかり。ひょんなことから女房として再び宮仕えをすることになったが…。「栄花物語」の作者である朝児(赤染衛門)からみた宮廷を描く。『公明新聞』連載を単行本化。

毎日新聞 2023/12/03、産経新聞 2023/12/17

2023:11./ 445p
978-4-16-391778-8
¥2,200〔税込〕

太陽の子(角川文庫)

灰谷　健次郎 著
角川書店
ふうちゃんが六年生になった頃、お父さんが心の病気にかかった。お父さんの病気は、どうやら沖縄と戦争に原因があるらしい。なぜ、お父さんの心の中だけ戦争は続くのだろう?著者渾身の長編小説!

毎日新聞 2023/12/09

1998:6./ 430p
978-4-04-352010-7
¥792〔税込〕

「90 年代 J-POP の基本」がこの 100 枚でわかる!(星海社新書 273)

栗本 斉 著
星海社
日本の 90 年代は、あらゆる音楽ジャンルが渾然一体となってヒット作が続出した。90 年代に誕生したアルバム群のなかから時代を象徴する 100 枚を厳選し、丹念にレビューする。

毎日新聞 2023/12/09

2023:9./ 266p
978-4-06-529705-6
¥1,375〔税込〕

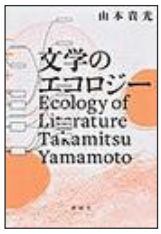
MARUZEN-YUSHODO

黒い海～船は突然、深海へ消えた～

伊澤 理江 著
講談社
2008 年、太平洋上で碇泊中の中型漁船が突如として沈没、17 人もの犠牲者を出した。“沈みようがない状況”でなぜ悲劇は起こったのか。海難史上まれに見る未解決事件の謎に挑む。『SlowNews』連載を加筆し書籍化。

毎日新聞 2023/12/09

2022:12./ 301p
978-4-06-530495-2
¥1,980〔税込〕



文学のエコロジー

山本 貴光 著
講談社
文学のエコロジーは、作品世界を探検するための地図となる-。小説を中心に文芸作品を取り上げ、ゲームクリエイターやプログラマーの目で眺めながら、言葉で表現された+省略された作品世界を論じる。『群像』連載を単行本化。

毎日新聞 2023/12/09

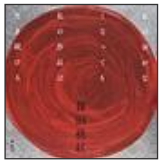
2023:11./ 439p
978-4-06-533645-8
¥2,750〔税込〕

自転車に乗る前に読む本～生理学データで読み解く「身体と自転車の科学」～(ブルーバックス B-2244)

髙石 鉄雄 著
講談社
自転車の活用法を応用生理学の視点から完全解説。運動強度、酸素摂取量、筋放電量、代謝系の応答など、さまざまな生理学データにもとづいて、身体・健康づくりへの効果的な自転車の乗り方を紹介する。

毎日新聞 2023/12/09

2023:10./ 190p
978-4-06-533711-0
¥1,100〔税込〕



私の体がなくなっても私の作品は生き続ける

篠田 桃紅 著
講談社
心に宿るもの、心にきざすもの、思い、それを「可視のもの」にしたい、「かたち」を創りたい-。107 歳で世を去った世界的美術家の、未公開作品と生前録音された肉声による最後の画文集。

毎日新聞 2023/12/09

2023:12./ 109p
978-4-06-534172-8
¥1,650〔税込〕

ロシア奪われた未来～ソ連崩壊後の四半世紀を生きる～

マーシャ・ゲッセン 著
白水社
ソ連崩壊後のロシアはこれまで、どのような道をたどって今日の姿になったのか。プーチン支配の世界で成人した男女 4 人の人生体験を縦糸に、著名な精神分析医・社会学者・哲学者 3 人の視点と言説を横糸に紡ぐノンフィクション。

毎日新聞 2023/12/09

2023:12./ 466p,51p
978-4-560-09387-0
¥6,380〔税込〕

私たちはいつから「孤独」になったのか

フェイ・バウンド・アルバーティ 著
みすず書房
“21 世紀の疫病”と呼ばれる「孤独」。対処の第一歩は、それが人間の本質的条件であるという見方を疑うことである。ネガティブな欠乏感としての「孤独」が近代において誕生し、複雑な感情群となるその歴史をひもとく。

毎日新聞 2023/12/09

2023:11./ 344p
978-4-622-09655-9
¥4,620〔税込〕

未知なる地球～無知の歴史 18-19 世紀～

アラン・コルバン 著
藤原書店
18 世紀以来の南北両極・氷河・火山・深海など「人間の知の及ばない地球の場所」に焦点を当て、科学・文学・詩を自在に結びつけながら、「知らないこと」の陰画としての人間の想像力の歴史をたどる。

毎日新聞 2023/12/09

2023:9./ 265p
978-4-86578-397-1
¥2,970〔税込〕

Dance with the invisibles～歌集～

睦月　都 著
KADOKAWA
香水を手首にかける朝の戸に鈍き刃物の香もまじりたり 礼拝のやうに誰もがうつむいて灰皿ひかる冬の居酒屋 猫なでてゐるとだんだん鯉になるここちするなり夜は泥なり 第 1 歌集。

毎日新聞 2023/12/09、日本経済新聞 2023/12/23

2023:10./ 221p
978-4-04-884441-3
¥2,750〔税込〕

おとめ座の荷風

持田 叙子 著
慶應義塾大学出版会
永井荷風はなぜ新たな女性像を描き続けたのか。知的な女性芸術家の出現に熱く期待した明治の若き荷風のあけぼのを、森鷗外や与謝野晶子を織り交ぜて論じ、「おとめ」の文学史を新たにつむぐ。

毎日新聞 2023/12/09、毎日新聞 2023/12/16

2023:9./ 251p
978-4-7664-2901-5
¥2,970〔税込〕

大泉黒石～わが故郷は世界文学～

四方田 犬彦 著
岩波書店
ロシア人を父に持ち、『中央公論』連載の「俺の自叙伝」で話題を呼ぶも、文壇から追放されて零落の晩年を過ごした大正時代のベストセラー作家、大泉黒石。その波瀾万丈の人生を綴った初の評伝。『図書』連載を加筆し書籍化。

毎日新聞 2023/12/16

2023:4./ 228p
978-4-00-061593-8
¥2,750〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

パスカル　小品と手紙(岩波文庫　青 614-5)

パスカル 著
岩波書店
「パンセ」と不可分な作として読まれるパスカルの遺稿群。“幾何学は最も素晴らしい職業ではあるが、結局は職業にすぎない”と喝破し、<人類の研究>と<神の探求>に専心した万能の天才の、人と思想と信仰を示す 21 篇。

毎日新聞 2023/12/16

2023:8./ 574p
978-4-00-336145-0
¥1,650〔税込〕

読み書きの日本史(岩波新書　新赤版 1978)

八鍬 友広 著
岩波書店
古代における漢字の受容から、往来物による学びの時代へ。近世の文字文化の多様な展開から、近代学校の成立へ。世界の事例にも目くばりしながら、識字の社会的意味を広くとらえ、今も揺らぎの中にあるリテラシーの歩みを描く。

毎日新聞 2023/12/16

2023:6./ 258p
978-4-00-431978-8
¥1,166〔税込〕

キリストと性～西洋美術の想像力と多様性～(岩波新書　新赤版 1992)

岡田 温司 著
岩波書店
中世からルネサンスにかけて、人々は、時にジェンダーの境界をさまよい、時に「クィア」と呼ばれる性的嗜好を先取りしたキリストを描いた。正統と異端のあいだで揺れる神の子のさまざまな姿に、図像と言説から迫る西洋美術史。

毎日新聞 2023/12/16

2023:10./ 220p
978-4-00-431992-4
¥1,122〔税込〕

李の花は散っても

深沢潮 著
朝日新聞出版
皇族でありながら政策によって李王朝に嫁いだ李方子王妃。半島から来た革命家と恋に落ち社会から転落していくマサ。2 人の女性の生涯を描く大河長編。『小説トリッパー』連載に書き下ろしを加え単行本化。

毎日新聞 2023/12/16

2023:4./ 361p
978-4-02-251817-0
¥1,980〔税込〕

白鶴亮翅

多和田葉子 著
朝日新聞出版
ベルリンで一人暮らしをする美砂は、隣人 M さんに誘われて太極拳学校へ。ロシア人富豪や英語教師と共に、右腕を力強く上げる技「白鶴亮翅」を習う。そして世界の名作を女性の視点から読み直し…。『朝日新聞』連載を加筆修正。

毎日新聞 2023/12/16

2023:5./ 276p
978-4-02-251904-7
¥1,980〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

明治大正史<世相篇>(角川ソフィア文庫 J102-17)

柳田　国男／佐藤　健二 著
KADOKAWA
固有名詞にとらわれることなく、眼前にでては消える事実によって、立派に歴史は書ける-。衣服、食物、風景、酒、恋愛、貧と病など、「生活の横断面」による現代史の記述に挑んだ実験。詳細な注と解説、初版時の写真も収録。

毎日新聞 2023/12/16

2023:10./ 698p,27p
978-4-04-400720-1
¥1,804〔税込〕

人間非機械論～サイバネティクスが開く未来～(講談社選書メチエ 786)

西田 洋平 著
講談社
AI は、人間にはなれない。けれども、AI の進歩は現代人の思考を変えつつある。AI の源流にある科学、サイバネティクスの思想を現代までたどり直し、情報・生命・社会の未来を読み解き、人間の世界観を根本から覆す科学論。

毎日新聞 2023/12/16

2023:6./ 325p
978-4-06-531778-5
¥2,255〔税込〕

カイエ・ソバージュ～人類最古の哲学|熊から王へ|愛と経済のロゴス|神の発明|対称性人類学～ 完全版(講談社選書メチエ　le livre)

中沢 新一 著
講談社
21 世紀の「第三次形而上学革命」を迎えるにあたり、旧石器人類の思考、国家の誕生、貨幣の発生、神の創造と一神教の成立まで、「超越的なもの」について、人類が考え得た全領域を踏破することをめざした講義録。

毎日新聞 2023/12/16

2023:7./ 836p
978-4-06-532389-2
¥7,700〔税込〕

世界史の中の戦国大名(講談社現代新書 2723)

鹿毛 敏夫 著
講談社
海に出たらやりたい放題!? 「王」を名乗って勝手に外交!? 中国へ、アジアへ、欧州へ海外進出した野心溢れる戦国大名たちの新たな貌を、グローバルヒストリーの視点から探る。

毎日新聞 2023/12/16

2023:10./ 317p
978-4-06-533218-4
¥1,210〔税込〕

きこえる

道尾 秀介 著
講談社
あなたの「耳が」推理する。「音」が導く真相に驚愕する。音声と小説を融合させた「体験型ミステリ」。作中の二次元コードは図書館(館内・館外とも)利用者視聴可。『小説現代』掲載を書籍化。

毎日新聞 2023/12/16

2023:11./ 262p
978-4-06-533454-6
¥1,760〔税込〕

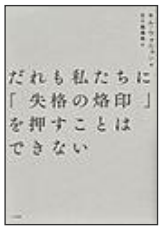
MARUZEN-YUSHODO

最愛の

上田 岳弘 著
集英社
久島は、情報も欲望もそつなく処理する「血も涙もない的確な現代人」として日常を生きている。だが、学生時代に手紙を交わし続けた望未だけが、人生唯一の愛として、心を離れない…。『すばる』連載に加筆・修正。

毎日新聞 2023/12/16

2023:9./ 353p
978-4-08-771840-9
¥2,310〔税込〕



だれも私たちに「失格の烙印」を押すことはできない

キム・ウォニョン 著
小学館
障害を抱えた子どもが、生まれてこない方がよかったという考えのもと、親が子どもを代理して、医師に対して損害賠償を請求する「不当な生」訴訟。障害者である自身の経験を交え、「不当な生」という概念を語り尽くす。

毎日新聞 2023/12/16

2022:12./ 335p
978-4-09-388854-7
¥1,980〔税込〕

ジェンダー格差～実証経済学は何を語るか～(中公新書 2768)

牧野百恵 著
中央公論新社
歴史・文化・社会的に形成される男女の差異=ジェンダー。実証経済学の成果から就業、教育、歴史、結婚、出産など様々な事柄を取り上げ、格差による影響や解消後の可能性について、国際的視点から描く。

毎日新聞 2023/12/16

2023:8./ 4p,230p
978-4-12-102768-9
¥990〔税込〕

対談日本の文学～わが文学の道程～(中公文庫　ち 8-17)

中央公論新社 編
中央公論新社
川端康成、小林秀雄、三島由紀夫、井上靖、有吉佐和子、吉行淳之介…。作家が自らの作品と交友を闊達自在に語り合う。全集「日本の文学」の月報対談を再編集。

毎日新聞 2023/12/16

2023:5./ 423p
978-4-12-207365-4
¥1,430〔税込〕

亡霊の地

陳　思宏 著
早川書房
ベルリンで同性の恋人を殺した天宏は刑期を終え、故郷の台湾の村に帰る。中元節を迎えていた村では死者の霊も舞い戻り…。生者と死者の語りで、天宏が恋人を殺した理由や、過ぎ去りし時代の恐怖と無情が明らかになっていく。

毎日新聞 2023/12/16

2023:5./ 422p
978-4-15-210239-3
¥3,850〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

イラク水滸伝

高野 秀行 著
文藝春秋
「水滸伝」さながら権力に抗うアウトローや迫害されたマイノリティが逃げ込むイラクの謎の巨大湿地帯<アフワール>とは? “現代最後のカオス”に挑んだノンフィクション。『オール讀物』連載を加筆・修正して単行本化。

毎日新聞 2023/12/16

2023:7./ 477p 図版 12p
978-4-16-391729-0
¥2,420〔税込〕

多数派の専横を防ぐ意思決定理論と EBPM

郡山 幸雄／宮木 幸一 著
日経ＢＰ社
多数決は社会を幸せにするのか。少数派も取りこぼさない、誰からも納得できる合意形成を科学的論拠から解説し、具体例をふんだんに紹介しながら、医学と経済学の共通点から解決策を探る。

毎日新聞 2023/12/16

2023:3./ 229p
978-4-296-11735-2
¥2,640〔税込〕

百夜～小説小野小町～

髙樹のぶ子 著
日経ＢＰ社
平安時代の「六歌仙」のひとりであり、優れた歌の才に加え、絶世の美女としても数々の伝説が残る小野小町。実作と伝わる和歌を拠り所に、小町伝説に秘められた真実を浮かび上がらせる。『ハルメク』『すばる』掲載を単行本化。

毎日新聞 2023/12/16

2023:5./ 381p
978-4-296-11802-1
¥2,420〔税込〕

砂漠の林檎～イスラエル短編傑作選～

サヴィヨン・リーブレヒト／ウーリー・オルレブ 著
河出書房新社
迷宮のような路地で見つけた写真集、不死の老人、ホロコーストの記憶、パレスチナとの紛争など、歴史と不安にさらされる社会に生きる人々を描いた傑作を精選。イスラエル文学紹介の第一人者によるオリジナル・アンソロジー。

毎日新聞 2023/12/16

2023:8./ 258p
978-4-309-20890-9
¥3,190〔税込〕

自称詞<僕>の歴史(河出新書 064)

友田 健太郎 著
河出書房新社
<僕>という日本語は、なぜ男性だけに普及したのか? 明治以降、男たちの間で急速に広まった自称詞<僕>について、幕末の志士・吉田松陰の書簡をはじめ、膨大な文献をたどりながら自称詞に込められた意味と変遷を読み解く。

毎日新聞 2023/12/16

2023:6./ 342p
978-4-309-63167-7
¥1,078〔税込〕

コンテクスト・マネジメント～個を活かし、経営の質を高める～(至善館講義シリーズ)

野田智義 著
光文社
人と組織の力を最大限に発揮するために、経営者リーダーが果たすべき役割とは何か。コンテクスト・マネジメントを切り口に、過去 50 年間にわたる欧米組織戦略論の知見を概観し統合する。大学院大学至善館の講義を再構成。

毎日新聞 2023/12/16

2023:9./ 421p
978-4-334-10058-2
¥3,520〔税込〕

ウクライナ動乱～ソ連解体から露ウ戦争まで～(ちくま新書　1739)

松里 公孝 著
筑摩書房
現地調査に基づき、ユーラシア世界の現代史を深層分析。ユーロマイダン革命、ロシアのクリミア併合、ドンバスの分離政権と戦争、ロシアの対ウクライナ開戦準備など、その知られざる実態を内側から徹底解明する。

毎日新聞 2023/12/16

2023:7./ 502p,8p
978-4-480-07570-3
¥1,430〔税込〕

在日韓国人になる～移民国家ニッポン練習記～

林晟一 著
ＣＣＣメディアハウス
外国人店員をディスる客。それを見て見ぬふりする、在日コリアン 3 世の私…。<国民>になりきれない半分アウトサイダーの著者が移民国家ニッポンの歩みをたどり、希望を描き出す。

毎日新聞 2023/12/16

2022:12./ 302p
978-4-484-22229-5
¥1,870〔税込〕

心のゾウを動かす方法

竹林正樹 著
扶桑社
人の心を優しく刺激して、よりよい行動へと動かす行動経済学「ナッジ」を概説。実践的なナッジの使い方や、「ミスを減らす」「省エネを促す」といった具体的な問題解決に使う方法を紹介する。TEDx トークを書籍化。

毎日新聞 2023/12/16

2023:9./ 251p
978-4-594-09379-2
¥1,760〔税込〕

水車小屋のネネ

津村 記久子 著
毎日新聞出版
身勝手な親から逃れ、姉妹で生きることに決めた 18 歳の理佐と 8 歳の律。たどり着いた町で出会った、しゃべる鳥<ネネ>に見守られ、人生が変転し…。人々が織りなす希望と再生の物語。『毎日新聞』連載を加筆修正。

毎日新聞 2023/12/16

2023:3./ 485p
978-4-620-10862-9
¥1,980〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

開かれたかご～マーシャル諸島の浜辺から～

キャシー・ジェトニル=キジナー 著
みすず書房
気候変動の影響を世界でもっとも受けている国のひとつ、マーシャル諸島。若き活動家が、母であり娘でもある自らの生、常に大国に翻弄されてきた祖国の歴史、国土をむしばむ温暖化などをテーマに綴った詩全 28 篇を収録する。

毎日新聞 2023/12/16

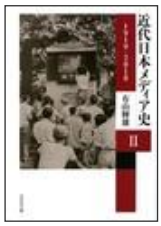
2023:3./ 204p
978-4-622-09589-7
¥2,970〔税込〕

近代日本メディア史<1>　1868-1918

有山　輝雄 著
吉川弘文館
明治新政権のメディア政策により、報道新聞がつくられた。新聞言論が活発化し、政府は讒謗律・新聞紙条例を公布して取り締まりを行う。明治国家体制のなかのメディアの役割形成など、第一次世界大戦までの歴史を描く。

毎日新聞 2023/12/16

2023:7./ 400p
978-4-642-03927-7
¥4,950〔税込〕



近代日本メディア史<2>　1919-2018

有山　輝雄 著
吉川弘文館
関東大震災後、朝日・毎日両新聞社の寡占体制となる。ラジオ放送の開始、国家総動員体制とメディアの協働関係…。活版印刷が消えてインターネットが始まった現代までの歴史を明らかにする。

毎日新聞 2023/12/16

2023:9./ 410p
978-4-642-03928-4
¥4,950〔税込〕

黙殺された被曝者の声～アメリカ・ハンフォード正義を求めて闘った原告たち～(世界人権問題叢書　113)

トリシャ・T・プリティキン 著
明石書店
アメリカ・ハンフォード核施設の風下住民は放射性物質に曝され続けていたが、40年以上調査されず政府に隠ぺいされてきた。核被害で障がいや重病に苦しむ無辜の人々の悲しみと怒りの記録。

毎日新聞 2023/12/16

2023:4./ 399p
978-4-7503-5556-6
¥4,950〔税込〕

杉浦康平と写植の時代～光学技術と日本語のデザイン～

阿部卓也 著
慶應義塾大学出版会
戦後日本のグラフィックデザインを牽引したデザイナー・杉浦康平は、写植という新たな技術といかに向き合い、日本語のデザインといかに格闘したのか。彼が日本語のレイアウトやブックデザインに与えた影響を明らかにする。

毎日新聞 2023/12/16

2023:4./ 481p
978-4-7664-2880-3
¥4,400〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

蚊が歴史をつくった～世界史で暗躍する人類最大の敵～

ティモシー・ワインガード 著
青土社
世界には 110 兆匹の蚊が生息し、毎年 83 万人が蚊が媒介する病気により命を落としている。ローマ帝国の興亡、南北戦争、第 2 次世界大戦…。蚊が人類の歴史に与えたインパクトを明らかにする。

毎日新聞 2023/12/16

2023:5./ 578p,15p
978-4-7917-7548-4
¥3,960〔税込〕

「ピアノを弾く少女」の誕生～ジェンダーと近代日本の音楽文化史～

玉川裕子 著
青土社
ほかの楽器に比べて、一般の家庭に積極的に受け入れられていったピアノ。なぜほかの楽器ではなく、ピアノなのか。なぜ習い手は女性なのか。ピアノが普及していく黎明期の日本社会を丹念に追い、その背景に迫る。

毎日新聞 2023/12/16

2023:9./ 305p,8p
978-4-7917-7586-6
¥2,640〔税込〕

ジダン研究

陣野俊史 著
カンゼン
フランスサッカーの体現者、ジネディーヌ・ジダン。ルーツであるカビリー文化の継承者、アルジェリア系選手の第 3 世代でもあるジダンを複数の文化の交錯する身体として捉え、彼自身や周囲の声とともにその内面世界に迫る。

毎日新聞 2023/12/16

2023:10./ 815p
978-4-86255-698-1
¥4,400〔税込〕

前川佐美雄歌集

三枝昂之 編
前川佐美雄 著
書肆侃侃房
「現代短歌の発端」として比類なき歌を紡いだ歌人・前川佐美雄。代表歌集「植物祭」「大和」の完本をはじめ、「春の日」抄、「日本し美し」抄など、1600 首を収録する。年譜、編者による解説も掲載。

毎日新聞 2023/12/16

2023:8./ 362p
978-4-86385-589-2
¥2,640〔税込〕

パリ日記～特派員が見た現代史記録 1990-2021～<5>　オランド、マクロンの時代

山口 昌子 著
藤原書店
在パリ 30 年、ボーン・上田記念国際記者賞受賞の女性ジャーナリストが 20 世紀末～21 世紀初頭の「世界」を克明に記した、スリリングな現代史クロニクル。5 は、2011 年 10 月～2021 年 5 月を収録。

毎日新聞 2023/12/16

2023:6./ 589p
978-4-86578-390-2
¥5,280〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

信州から考える世界史～歩いて、見て、感じる歴史～

岩下 哲典／中澤克昭／竹内良男／市川尚智 編

えにし書房

高校教師・大学教員・在野の研究者など 30 人以上が執筆。4 つに分かれた信州各地域の歴史的な事件・事象や人物に関する遺物・遺跡・史跡・史料などから、日本と世界の歴史の関係を古代から現代まで解説する。

毎日新聞 2023/12/16

2023:7./ 216p
978-4-86722-118-1
¥2,200〔税込〕

コスタリカ～「純粋な人生」と言いあう平和・環境・人権の先進国～

伊藤 千尋 著

高文研

どうしたら平和や人権に満ちた世界をつくれるのか? 「軍隊を持たない国」中米・コスタリカの人びとの平和国家のつくり方、その価値観や国づくりを通して、平和、そして戦争とは何かを再考する。

毎日新聞 2023/12/16

2023:11./ 215p
978-4-87498-862-6
¥1,980〔税込〕

訂正可能性の哲学(ゲンロン叢書 014)

東 浩紀 著

ゲンロン

「正しさ」の時代に、誤ることの価値を考える。伝統的な哲学を新たに読み替え、ビッグデータからこぼれ落ちる「私」の固有性をすくい出す。「観光客の哲学」をさらに先に進める、著者 30 年の到達点。

毎日新聞 2023/12/16

2023:8./ 359p
978-4-907188-50-4
¥2,860〔税込〕

長恨歌

王 安 憶 著

アストラハウス

1940 年代の虚栄の繁華、50～60 年代の困窮と苦難、そして 80 年代のロマン的悲劇…。上海を舞台に、美しき主人公の青春から死に至る 40 年の人生を通して、街の繁栄と虚栄を描いた長編小説。

毎日新聞 2023/12/16

2023:9./ 643p
978-4-908184-46-8
¥3,520〔税込〕

ポトゥダニ川～プラトーノフ短編集～(群像社ライブラリー 47)

アンドレイ・プラトーノフ 著

群像社

戦争が終わり故郷に帰った若い兵士。彼は以前と同じように生きていけるのか。貧しい男の聖なる魂や少年の心に寄りそう掌編、のちの作品のモチーフがつまっている実験的短編など全 5 篇を収録。作家の新たな一面が光る小作品集。

毎日新聞 2023/12/16

2023:6./ 227p
978-4-910100-31-9
¥1,980〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

サバキスタン<1>(路草 COMICS)

ビタリー・テルレツキー 著
トゥーヴァージンズ
架空の独裁国家における不自由や弾圧、陰謀、歴史の改ざん。そして人々の真実を求める心、抵抗、愛する国への願い——。迷える大国・ロシアから届いた、自由の意義を問いかけるアンチ独裁グラフィック・ノベル!

毎日新聞 2023/12/16

2023:8./ 156p
978-4-910352-81-7
¥1,980〔税込〕

家族と厄災

信田 さよ子 著
生きのびるブックス
パンデミックは水面下の家族問題をあらわにした。家族で弱い立場に置かれた女性達の手さぐりと再生の軌跡を、臨床心理士が見つめる。ウェブマガジン『生きのびるブックス』連載を加筆修正、書き下ろしを加えて単行本化。

毎日新聞 2023/12/16

2023:10./ 187p
978-4-910790-11-4
¥2,090〔税込〕

マルクス解体～プロメテウスの夢とその先～

斎藤 幸平 著
講談社
資本主義に対する処方箋として、マルクスという古典からこれからの世の中に必要な理論を提示。マルクスの物質代謝論、エコロジー論、プロメテウス主義の批判から、未来への希望を託す脱成長コミュニズム論までを精緻に語る。

毎日新聞 2023/12/16、朝日新聞 2023/12/23

2023:10./ 409p
978-4-06-531831-7
¥2,970〔税込〕

ハンチバック

市川 沙央 著
文藝春秋
重度障害者の井沢釈華は、10畳の自室からあらゆる言葉を送り出す。釈華の背骨は、右肺を押し潰すかたちで極度に湾曲し、生きれば生きるほど、身体はいびつに壊れていき…。『文學界』掲載を書籍化。

毎日新聞 2023/12/16、朝日新聞 2023/12/23

2023:6./ 93p
978-4-16-391712-2
¥1,430〔税込〕

宗教の起源～私たちにはなぜ<神>が必要だったのか～

ロビン・ダンバー 著
白揚社
ときに国家間の戦争を引き起こすほど人々の心に深く根ざした信仰心はなぜ生まれたのか? 「ダンバー数」で世界的に評価された著者が、人類学、心理学、神経科学など多彩な視点から「宗教とは何か」という根源的な問いに迫る。

毎日新聞 2023/12/16、朝日新聞 2023/12/23

2023:10./ 349p
978-4-8269-0248-9
¥3,300〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

励起～仁科芳雄と日本の現代物理学～<上>

伊藤 憲二 著
みすず書房
今日の科学研究を支えるインフラとカルチャーはいかに築かれたのか。原子物理学の父・仁科芳雄の動きを軸に、日本における現代物理学の基盤創設の道のりを詳らかにし、それをグローバルな文脈に位置付ける。

毎日新聞 2023/12/16、読売新聞 2023/12/24

2023:7./ 586p
978-4-622-09618-4
¥5,940〔税込〕

励起～仁科芳雄と日本の現代物理学～<下>

伊藤 憲二 著
みすず書房
今日の科学研究を支えるインフラとカルチャーはいかに築かれたのか。原子物理学の父・仁科芳雄の動きを軸に、日本における現代物理学の基盤創設の道のりを詳らかにし、それをグローバルな文脈に位置付ける。

毎日新聞 2023/12/16、読売新聞 2023/12/24

2023:7./ 674p
978-4-622-09619-1
¥6,600〔税込〕

かたばみ

木内 昇 著
KADOKAWA
女性の生き方もままならない戦後の混乱と高度成長期の中、小金井で教師をしていた悌子は、よんどころない事情で家族を持つことに…。血の繋がらない親子を描く、笑いと涙のホームドラマ。『北海道新聞』等連載を加筆修正。

毎日新聞 2023/12/16、日本経済新聞 2023/12/23

2023:8./ 556p
978-4-04-112253-2
¥2,585〔税込〕

新古事記～an impossible story～

村田 喜代子 著
講談社
太平洋戦争の最中、錚々たる科学者たちが続々と集結。秘密裏に進む原爆開発、施設内の出産ラッシュ、何も知らず家事と子育てに明け暮れる学者の妻たちの平穏な日々…。日系三世の数奇な物語。『群像』連載を加筆し単行本化。

毎日新聞 2023/12/16、日本経済新聞 2023/12/23

2023:8./ 349p
978-4-06-532683-1
¥2,420〔税込〕

リサーチのはじめかた～「きみの問い」を見つけ、育て、伝える方法～

トーマス・S・マラニー／クリストファー・レア／安原 和見 著
筑摩書房
最もむずかしいのは、リサーチをはじめる前の段階だ-。スタンフォード大教授らが、18 年かけて磨きあげたリサーチの極意を紹介。自身の研究課題を発見し、実際に研究プロジェクトを立ち上げるまでの具体的方法を解説する。

毎日新聞 2023/12/16、日本経済新聞 2023/12/23

2023:8./ 331p
978-4-480-83725-7
¥2,200〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

黄色い家～SISTERS IN YELLOW～

川上未映子 著
中央公論新社
惣菜店に勤める花は、ニュース記事で黄美子が若い女性の監禁・傷害の罪に問われているのを見つけた。20 年前花は、黄美子と少女たち 2 人と疑似家族のように暮らしていて…。『読売新聞』連載を書籍化。

毎日新聞 2023/12/16、日本経済新聞 2023/12/23、毎日新聞 2023/12/23

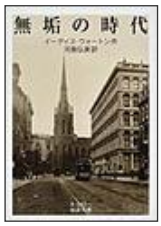
2023:2./ 601p
978-4-12-005628-4
¥2,090〔税込〕

恋ははかない、あるいは、プールの底のステーキ

川上 弘美 著
講談社
小説家のわたし、離婚と手術を経たアン、作詞家のカズ。カリフォルニアのアパートメンツで子ども時代を過ごした友人たちは、半世紀ほど後の東京で再会した-。たゆたうように心に届く大人の愛の物語。『群像』掲載を単行本化。

毎日新聞 2023/12/16、毎日新聞 2023/12/23

2023:8./ 291p
978-4-06-532438-7
¥1,870〔税込〕



無垢の時代(岩波文庫　赤 345-1)

イーディス・ウォートン 著
岩波書店
1870 年代初頭の冬の宵。メイとの婚約発表を控えた青年ニューランドは歌劇場で幼馴染のエレンと再会し…。2 人の女性の間で揺れ惑う姿を通して、時代の変化にさらされる<オールド・ニューヨーク>の社会を鮮やかに描く。

毎日新聞 2023/12/23

2023:6./ 588p
978-4-00-323451-8
¥1,507〔税込〕

精選物理の散歩道(岩波文庫　青 956-1)

松浦 壮 編
ロゲルギスト 著
岩波書店
有限の空間にどれだけ物を詰め込めるか? 洋服は二着交替に着た方がいいか? 呼鈴はなぜ鳴るか? ぬれた砂はなぜ黒い? 日常現象について、物理をこよなく愛する物理学者たちがユニークな視点で語り合う。全 16 編を収録。

毎日新聞 2023/12/23

2023:11./ 340p
978-4-00-339561-5
¥1,210〔税込〕

精神の生態学へ<上>(岩波文庫　青 N604-2)

グレゴリー・ベイトソン 著
岩波書店
現象に内在する精神とは。精神のエコロジーとは。科学と哲学をつなぐ基底的な知を求めたベイトソン。その生涯にわたる思索の足取りを辿る。上は、父娘の対話、類比を信頼する思考法、分裂生成とプラトーの概念などを収録。

毎日新聞 2023/12/23

2023:4./ 364p
978-4-00-386029-8
¥1,155〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

精神の生態学へ<中>(岩波文庫　青 N604-3)

グレゴリー・ベイトソン 著
岩波書店
現象に内在する精神とは。精神のエコロジーとは。科学と哲学をつなぐ基底的な知を求めたベイトソン。その生涯にわたる思索の足取りを辿る。中は、第二次学習やダブルバインドの概念、アルコール依存症の論究などを収録。

毎日新聞 2023/12/23

2023:6./ 398p
978-4-00-386030-4
¥1,210〔税込〕

精神の生態学へ<下>(岩波文庫　青 N604-4)

グレゴリー・ベイトソン 著
岩波書店
現象に内在する精神とは。精神のエコロジーとは。科学と哲学をつなぐ基底的な知を求めたベイトソン。その生涯にわたる思索の足取りを辿る。下は、イルカの情報伝達の分析、「有機体+環境」「柔軟性の経済」の概念などを収録。

毎日新聞 2023/12/23

2023:8./ 385p,44p
978-4-00-386031-1
¥1,276〔税込〕

言語哲学がはじまる(岩波新書　新赤版 1991)

野矢 茂樹 著
岩波書店
語の意味より文の意味が優先する? 「富士山」は本当の名前じゃない? 言語哲学の源流を形作った 3 人の哲学者、フレーゲ、ラッセル、ウィトゲンシュタインの考え方を丁寧に辿り、ふだん何気なく使っている言葉の根本に迫る。

毎日新聞 2023/12/23

2023:10./ 270p
978-4-00-431991-7
¥1,100〔税込〕

武家か天皇か～中世の選択～(朝日選書　1038)

関幸彦 著
朝日新聞出版
内乱期・中世が胚胎させた 2 つの分立王朝「東西朝」と「南北朝」に、武家はどう対峙したか。12 世紀末と 14 世紀の 2 つの内乱期を取り上げ、当該期の天皇及び武家の実相について、「王威」「武威」をキーワードに検討する。

毎日新聞 2023/12/23

2023:10./ 254p
978-4-02-263123-7
¥1,870〔税込〕

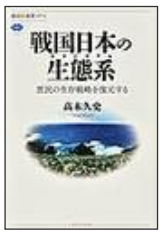
アメリカへようこそ

マシュー・ベイカー 著
KADOKAWA
「幽霊語」を生み出す辞書編纂者の正義、儀式で絶命することが名誉な一家の恥さらしな伯父、社会に辟易しデジタルデータになる決意をした息子と母親の葛藤…。あらゆるジャンルを横断する短篇集。

毎日新聞 2023/12/23

2023:3./ 493p
978-4-04-111085-0
¥2,750〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO



戦国日本の生態系～庶民の生存戦略を復元する～(講談社選書メチエ　777)

高木 久史 著
講談社
寒冷化を迎えた戦国時代、庶民はいかにサバイバルし、時代を動かしたのか。海・山・里の動植物が織りなす生態系と、そこから恵みを得て生活を営む人々の社会システムをひとつの系としてとらえ、戦国の動因を描き出す。

毎日新聞 2023/12/23

2023:1./ 293p
978-4-06-530681-9
¥2,200〔税込〕

N の廻廊～ある友をめぐるきれぎれの回想～

保阪 正康 著
講談社
汽車通学で出会った 2 人の中学生は、30 年余後にノンフィクション作家と保守的思想家として再会。それからまた 30 年、突然の別れが…。60 年の歳月を往還し、自裁を遂げた友の内実に迫る。『群像』連載を加筆し単行本化。

毎日新聞 2023/12/23

2023:3./ 261p
978-4-06-530693-2
¥2,090〔税込〕

逆襲する宗教～パンデミックと原理主義～(講談社選書メチエ　780)

小川 忠 著
講談社
クリスチャン・ナショナリストが陰謀論を叫ぶ米国、反イスラムの動きが先鋭化するインド…。パンデミックに揺れる世界で、いま何が起こっているのか? 危機の到来で急速に前景化した宗教と社会の問題を国別に平易に解説する。

毎日新聞 2023/12/23

2023:2./ 236p
978-4-06-530973-5
¥1,925〔税込〕

古代アメリカ文明～マヤ・アステカ・ナスカ・インカの実像～(講談社現代新書　2729)

青山 和夫／井上 幸孝／坂井 正人／大平 秀一 著
講談社
欧米には存在しない「世界四大文明」史観、アステカ王国「生贄」の虚像、「ワロチリ文書」が語るアンデス先住民の精神世界…。最新の知見をもとに「常識」のウソを明らかにし、文明が生まれる条件を考察する。

毎日新聞 2023/12/23

2023:12./ 317p
978-4-06-534280-0
¥1,320〔税込〕

なぜ豊岡は世界に注目されるのか(集英社新書　1170)

中貝 宗治 著
集英社
近年、国内外から注目を集める兵庫県豊岡市。インバウンドの急増、移住したい街ランキング上位入りは、なぜ実現したのか。地方が輝きを放つ方法とは。元市長が全国の自治体にも応用可能な視点を示しながら、その秘策を綴る。

毎日新聞 2023/12/23

2023:6./ 270p
978-4-08-721270-9
¥1,100〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

ネイティヴ・サン～アメリカの息子～(新潮文庫　ラ-20-1)

リチャード・ライト 著
新潮社
1930 年代、大恐慌下のシカゴ。アフリカ系の貧しい青年ビッガー・トマスは、白人女性を誤って殺害してしまう。発覚を恐れて首を斬り、遺体を暖房炉に押し込んだその時、彼の運命が激しく変転する逃走劇が始まった-。

毎日新聞 2023/12/23

2023:1./ 786p
978-4-10-240261-0
¥1,210〔税込〕

三島由紀夫論

平野 啓一郎 著
新潮社
「仮面の告白」「金閣寺」など 4 作品の精読を通して、文学者としての三島由紀夫の創作活動と、「天皇主義者」としての行動とを一元的に論じ、三島の生涯と思想を解明する。『新潮』『群像』『文學界』掲載を書籍化。

毎日新聞 2023/12/23

2023:4./ 670p
978-4-10-426010-2
¥3,740〔税込〕

貧乏ピッツァ(新潮新書 1018)

ヤマザキマリ 著
新潮社
17 歳でフィレンツェに留学。極貧の画学生時代に食べたピッツァの味が、今でも忘れられない-。食の記憶とともに溢れる人生のシーンを描く。フジ日本精糖株式会社ホームページの連載を再構成。

毎日新聞 2023/12/23

2023:11./ 237p
978-4-10-611018-4
¥902〔税込〕

プリニウス<12>(BUNCH COMICS)

ヤマザキマリ／とり・みき 著
新潮社
皇帝ネロの非業の死により混迷を極めたローマ帝国も、ウェスパシアヌス帝によって、ようやく安定がもたらされる。連載スタートから 10 年。魅惑の古代ローマを描く歴史伝奇ロマン、堂々完結!

毎日新聞 2023/12/23

2023:7./ 185p
978-4-10-772620-9
¥814〔税込〕

ホモ・サピエンスの宗教史～宗教は人類になにをもたらしたのか～(中公選書 142)

竹沢尚一郎 著
中央公論新社
宗教はどのようにして誕生し、人間の歴史の中でどのように変化してきたのか。宗教を生み出した共同性の経験から宗教改革まで、宗教の変化を追うことで、人間の歴史をたどりなおした壮大な書。

毎日新聞 2023/12/23

2023:10./ 441p
978-4-12-110143-3
¥2,860〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

アオサギの娘(HAYAKAWA POCKET MYSTERY BOOKS 1991)

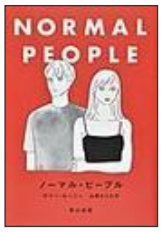
ヴァージニア・ハートマン 著

早川書房

鳥類画家のロニは、認知症を患う母の介護のため、故郷のフロリダに帰ってきた。父ボイドは 25 年前に沼で不審な溺死を遂げ、その名は家では禁句になっていたが、ロニは当時のことを探り始め…。

毎日新聞 2023/12/23

2023:5./ 455p
978-4-15-001991-4
¥2,970〔税込〕



ノーマル・ピープル

サリー・ルーニー 著

早川書房

アイルランド西部の小さな町で育ったコネルとマリアン。お互いに惹かれ合いながら、離れようとするのに、結局は離れられない 2 人の、数年にわたる友情と恋愛を描く。人が変わるのがどれほど難しいかを教えるラブストーリー。

毎日新聞 2023/12/23

2023:1./ 340p
978-4-15-210190-7
¥2,860〔税込〕

昆虫絶滅

オリヴァー・ミルマン 著

早川書房

環境悪化により、昆虫の個体数が激減している。昆虫が失われた未来は、人間の生活にどれほど悪影響があるのか。虫たちによる知られざる人間社会への恩恵とは。環境ジャーナリストが昆虫と人類の理想的な共生社会を提言する。

毎日新聞 2023/12/23

2023:12./ 292p
978-4-15-210289-8
¥2,530〔税込〕

ラーメンカレー

滝口 悠生 著

文藝春秋

9.11、日韓 WC、貧乏一人旅、サークル同期のあの子。青春の記憶はあらゆる所で飛び出して、あらぬ所へ誘い出す-。言葉と記憶があふれだす、旅の連作短編集。『文學界』掲載を単行本化。

毎日新聞 2023/12/23

2023:2./ 261p
978-4-16-391656-9
¥1,870〔税込〕

八色ヨハネ先生

三宅　威仁 著

文芸社

神学部元教授・八色ヨハネが、大阪市西成区のアパートで死亡した。享年 88。生粋の日本人であったが、「ヨハネ」と名付けられた彼は、どのように生き、どのように死んだのか…。生きることの意味を考えさせられる小説。

毎日新聞 2023/12/23

2023:9./ 169p
978-4-286-24606-2
¥1,540〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

上昇～アメリカは再び<団結>できるのか～

シェイリン・ロムニー・ギャレット／ロバート・D・パットナム 著
創元社
19 世紀末から現在まで、個人主義と共同体主義の間で振り子のように揺れていたアメリカ社会。多領域に共通して見られる、100 年にわたる大きな変化のカーブを、独創的なデータ分析をもとに検証し、未来への展望を探求する。

毎日新聞 2023/12/23

2023:7./ 461p
978-4-422-36014-0
¥4,950〔税込〕

マザーツリー～森に隠された「知性」をめぐる冒険～

スザンヌ・シマード 著
ダイヤモンド社
森林は「インターネット」であり、菌類がつくる「巨大な脳」だった-。木々をつなぐハブとなり、次世代を育む「マザーツリー」の驚くべき機能とは? 気候変動が注目される今、自然の中の「秘められた知性」に耳を傾ける一冊。

毎日新聞 2023/12/23

2023:1./ 573p 図版 16p
978-4-478-10700-3
¥2,420〔税込〕

熊の肉には飴があう(ちくま文庫　こ 57-1)

小泉 武夫 著
筑摩書房
鳥獣、川魚、山菜などを扱う名料理屋茶屋「右官屋権之丞」。その素材を活かし切る技法が想像を絶する一皿を生む。熊鍋、兎飯、筍鉄砲焼き、ヨシノボリたたき…。里山をまるごといただく 90 皿のうま汁小説。

毎日新聞 2023/12/23

2023:7./ 281p
978-4-480-43897-3
¥880〔税込〕

実践仕掛学～問題解決につながるアイデアのつくり方～

松村 真宏 著
東洋経済新報社
バスケットゴールのついたゴミ箱、ライオンの口に手を入れると消毒液…。仕掛けた人も、仕掛けられた人も、どちらも幸せになる「そそる仕掛け」45 事例と、仕掛けのコツなどを紹介する。

毎日新聞 2023/12/23

2023:12./ 213p
978-4-492-22414-4
¥1,760〔税込〕

スターリンの図書室～独裁者または読書家の横顔～

ジェフリー・ロバーツ 著
白水社
史上最も血にまみれた独裁者ヨシフ・スターリンの知的生活と生涯を描く。「本の虫」でもあった彼の膨大な蔵書と本への書き込みを精査し、思想と信条、革命と戦争、国政と外交に及ぼした影響、人格と感情の内奥に踏み込む。

毎日新聞 2023/12/23

2023:8./ 393p,66p
978-4-560-09359-7
¥4,950〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

リスボン大地震～世界を変えた巨大災害～

ニコラス・シュラディ 著
白水社
1755 年、万聖節の朝、リスボンを襲った大地震と火災・津波は街を廃墟に変えた。リスボン大地震の実態と復興の足取りを史料を駆使して描き、社会・経済・科学・思想・宗教など広範囲に及んだ影響をたどる。

毎日新聞 2023/12/23

2023:8./ 288p 図版 16p
978-4-560-09371-9
¥4,180〔税込〕

ジェイムズ・ボールドウィンのアメリカ～「もう一度始める」ための手引き～

エディ・S・グロード・ジュニア 著
白水社
アメリカが建国以来、失望と幻滅を味わい続けてきた人種差別問題の歴史とその本質を、作家ジェイムズ・ボールドウィンの足跡と作品に託して語り尽くした魂の書。

毎日新聞 2023/12/23

2023:9./ 309p
978-4-560-09377-1
¥4,620〔税込〕

性差別の医学史～医療はいかに女性たちを見捨ててきたか～

マリーケ・ビッグ 著
双葉社
心臓発作はヒステリー? 卵子は精子をただ待つ無力な存在? ジェンダーニュートラルが謳われる医学や、客観性が重視される科学の欺瞞を暴き、男性を中心に構築されてきた社会の不平等をさまざまな事例を交えて論じる。

毎日新聞 2023/12/23

2023:9./ 323p
978-4-575-31823-4
¥2,750〔税込〕

鏡花の家～泉鏡花生誕一五〇年記念～

泉鏡花記念館／泉鏡花研究会 著
平凡社
美と幻想の作家・泉鏡花。豊富なビジュアルを駆使し、その創作と生活の舞台を紹介する。最新の研究成果を踏まえた、評伝や解説も充実。2023 年 10～11 月開催の泉鏡花記念館の展覧会の公式図録。

毎日新聞 2023/12/23

2023:10./ 246p
978-4-582-20733-0
¥3,520〔税込〕

アードルフ・ヒトラー～ある独裁者の伝記～

ハンス＝ウルリヒ・ターマー 著
法政大学出版局
無職の青年は、どうやって大衆の指導者に上りつめたのか。なぜ政治的に未知数の人間が強大な権力を手にし、とてつもない破壊を引き起こしたのか。ヒトラーの生涯を、徹底した自己演出と巧みな政治スタイルに着目して描き出す。

毎日新聞 2023/12/23

2023:4./ 370p
978-4-588-36610-9
¥4,180〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

永遠と横道世之介<上>

吉田 修一 著
毎日新聞出版
39 歳になったカメラマン・横道世之介が暮らすのは、東京郊外に建つ下宿「ドーミー吉祥寺の南」。住人らとゆるーっと暮らす毎日に、知り合いの引きこもりの息子が入居することになり…。『毎日新聞』連載を加筆修正。

毎日新聞 2023/12/23

2023:5./ 347p
978-4-620-10864-3
¥1,760〔税込〕

永遠と横道世之介<下>

吉田 修一 著
毎日新聞出版
湘南のカフェ店員に一目惚れ、相手をふり向かせたくてサーフィンを始めた下宿人の谷尻。その恋を応援する傍らで、世之介は、最愛の人二千花と過ごした日々を幾度となく反芻し…。『毎日新聞』連載を加筆修正。

毎日新聞 2023/12/23

2023:5./ 382p
978-4-620-10865-0
¥1,760〔税込〕

依存症と人類～われわれはアルコール・薬物と共存できるのか～

カール･エリック・フィッシャー 著
みすず書房
依存症は「病気」なのか? それとも差別や疎外に苦しむ者に刻印されたスティグマなのか-? アルコール依存症から回復した精神科医が、依存性薬物と人類の 3000 年の攻防の歴史を圧倒的な筆力で描く。

毎日新聞 2023/12/23

2023:4./ 456p
978-4-622-09602-3
¥4,950〔税込〕

心的外傷と回復　増補新版

ジュディス・L・ハーマン 著
みすず書房
レイプ、児童虐待、ホロコースト、家庭内暴力、戦闘参加帰還兵など、具体的な様々な症例を通して、トラウマの諸相とその治療のあり方を描く。「あとがき-心的外傷の弁証法は続いている」「エピローグ」を新たに追加。

毎日新聞 2023/12/23

2023:10./ 520p
978-4-622-09650-4
¥5,940〔税込〕

シェニール織とか黄肉のメロンとか

江國 香織 著
角川春樹事務所
母と暮らす作家の民子のもとに、イギリスから帰国した友人・理枝が居候させてほしいとやってきた。主婦の早希も交え、かつての「三人娘」は、西麻布のビストロで再会を祝し…。『ランティエ』連載に加筆訂正し単行本化。

毎日新聞 2023/12/23

2023:9./ 268p
978-4-7584-1449-4
¥1,870〔税込〕

平和をつくる方法～ふつうの人たちのすごい戦略～

セヴリーヌ オトセール 著
柏書房
持続可能な平和を築くために有効だったのは、一般市民に力を与えることだ。地元住民主導の草の根の取り組みにこそ暴力を止めるヒントがある。20 年間の学びがつまった暴力を止めて平和を始めるための実践的ガイド。

毎日新聞 2023/12/23

2023:12./ 311p,35p
978-4-7601-5543-9
¥2,860〔税込〕

墓の建立と継承～「家」の解体と祭祀の永続性をめぐる社会学～

辻井 敦大 著
晃洋書房
「家」なき時代に、墓を建て、それを継承することの背景には何があるのか? 地方自治体・石材店・仏教寺院などが参与することによって、墓を建て、継承するという営みの意味が変容する過程を、社会学の観点から明らかにする。

毎日新聞 2023/12/23

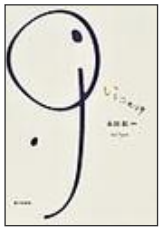
2023:2./ 290p
978-4-7710-3690-1
¥5,280〔税込〕

ふつうの相談

東畑 開人 著
金剛出版
人が人を支えるとはどういうことか。心の回復はいかにして可能になるか。日々の友人関係からサイコセラピーの治療関係まで、対人支援としての「ふつうの相談」を解き明かす。補遺「中断十カ条-若き心理士への手紙」を収録。

毎日新聞 2023/12/23

2023:8./ 204p
978-4-7724-1983-3
¥2,420〔税込〕



いま二センチ～永田紅歌集～(塔 21 世紀叢書 第 363 篇)

永田紅 著
砂子屋書房
蝶一頭二頭とかぞえしこともなくそんなふうだった会うまでの日は 抱きしむるにはまだ細く柔き子は長肌着の袖を噛みはじめたり 2012 年から 2015 年までの 488 首を収めた第 5 歌集。

毎日新聞 2023/12/23

2023:3./ 219p
978-4-7904-1856-6
¥3,300〔税込〕

フーコーと精神医学～精神医学批判の哲学的射程～

蓮澤優 著
青土社
「狂気」の治療は本当に必要なのか。「正常な人間」は存在するのか。臨床医の著者が、フーコーにとっての狂気の問題、精神医学の問題を、彼の思索の歩み全体のなかに位置づけ、検討する。

毎日新聞 2023/12/23

2023:9./ 398p,24p
978-4-7917-7570-5
¥3,960〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

ウクライナ戦争をめぐる国際法と国際政治経済

浅田　正彦、玉田　大 著
東信堂
2022 年 2 月に始まったロシアによるウクライナ侵攻。未だに多くの犠牲者を出し続ける未曾有の事態に、国際法は何ができるのか。2022 年 9 月にオンライン形式で開催されたシンポジウムの成果をまとめる。

毎日新聞 2023/12/23

2023:3./ 12p,246p
978-4-7989-1822-8
¥2,860〔税込〕

やっぱりおおかみ(こどものとも傑作集)

佐々木マキ 著
福音館書店
ひとりぼっちのおおかみは、仲間を求めて、ぶたの町、うさぎの町とさまよいますが、どこへ行っても仲間はいません……。今までの絵本にはない、斬新なテーマに取りくんだ意欲作。

毎日新聞 2023/12/23

1977:1./ 32p
978-4-8340-0520-2
¥990〔税込〕

扉の向う側

ヤマザキマリ 著
マガジンハウス
自分に見えてる世界なんてほんのちっぽけ。時に歓喜し時に悲しみ時に途方に暮れ、生きることを諦めない-。『ku:nel』連載の人間賛歌エッセイを、オールカラー画で書籍化。

毎日新聞 2023/12/23

2023:11./ 166p
978-4-8387-3253-1
¥1,760〔税込〕

庭のかたちが生まれるとき～庭園の詩学と庭師の知恵～

山内朋樹 著
フィルムアート社
京都北部の寺を訪ね、その作庭現場のフィールドワークから、庭の造形を考え、庭師の生態を観察し、庭のなりたちを記述した、新感覚の庭園論。フィルムアート社ウェブサイト『かみのたね』連載を改稿、書下ろしを加え単行本化。

毎日新聞 2023/12/23

2023:8./ 381p
978-4-8459-2300-7
¥2,860〔税込〕

芝居の面白さ、教えます～井上ひさしの戯曲講座～<海外編>

井上 ひさし 著
作品社
敬愛する戯曲家の伝記的事実、演劇史の解説、演出の仕方、せりふの一言一句への詳細な解釈…。井上ひさしが、シェイクスピア、イプセンなどを取り上げ、芝居に関する蘊蓄・愛情を縦横に語った、未発表の戯曲講座。

毎日新聞 2023/12/23

2023:7./ 373p
978-4-86182-987-1
¥3,520〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

芝居の面白さ、教えます～井上ひさしの戯曲講座～<日本編>

井上 ひさし 著
作品社
敬愛する戯曲家の伝記的事実、演劇史の解説、演出の仕方、せりふの一言一句への詳細な解釈…。井上ひさしが、真山青果、宮沢賢治などを取り上げ、芝居に関する蘊蓄・愛情を縦横に語った、未発表の戯曲講座。

毎日新聞 2023/12/23

2023:7./ 277p
978-4-86182-988-8
¥2,970〔税込〕

江戸役者～東京日日新聞夕刊連載版～

真田幸治 編
邦枝完二 著
幻戯書房
河原者たア誰を指した。江戸随一の團十郎だ! 小村雪岱が挿絵を手がけた昭和 7 年の邦枝完二による新聞連載小説を、73 点の挿絵と 7 点のカットを完全復刻し初書籍化。

毎日新聞 2023/12/23

2023:10./ 253p
978-4-86488-282-8
¥3,960〔税込〕

「アメリカ小麦戦略」と日本人の食生活　新版

鈴木 猛夫、江崎 道朗 著
藤原書店
第二次大戦後、アメリカの余剰小麦が日本に供給され、日本人の食生活は劇的に洋食化した。行政と食品業界のタブー、戦後の「アメリカ小麦戦略」の真相に迫り、非精白米を基本にした、風土にあった食生活の復活を訴える。

毎日新聞 2023/12/23

2022:12./ 6p,262p
978-4-86578-374-2
¥2,750〔税込〕

おろそかにされた死因究明～検証:特養ホーム「あずみの里」業務上過失致死事件～

出河 雅彦 著
同時代社
無実の看護職員はなぜ、起訴されたのか? 介護施設の職員がおやつを提供し利用者が死亡したとされる事件の捜査と公判の過程をたどり、刑事司法における死因究明の重要さを考える。『朝日新聞デジタル』連載をもとに書籍化。

毎日新聞 2023/12/23

2023:11./ 258p
978-4-88683-955-8
¥1,980〔税込〕

こうのとりの巣は巡る

川田絢音 著
アーツアンドクラフツ
矢はすでに手帖から放たれ 刺繍をほどこされた表紙の布が なにか隠されていないかと切り裂かれている(「手帖」より) リトゥアニアやイタリア南部サルデーニャ島に旅して生み出された異色の 20 篇を収録する詩集。

毎日新聞 2023/12/23

2023:1./ 46p
978-4-908028-81-6
¥2,420〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

闘う舞踊団

金森穣 著
夕書房
17 歳で渡欧、巨匠ベジャールらの寵愛を受けた舞踊家が日本で選んだのは、茨の道で-。新潟で日本初の劇場専属舞踊団 Noism Company Niigata を設立、踊り、創り、率いてきた金森穣が 18 年の軌跡を綴る。

毎日新聞 2023/12/23

2023:2./ 260p
978-4-909179-09-8
¥2,200〔税込〕

アボカドの種

俵　万智 著
KADOKAWA
アボカドのサラダ作ってあげることもうないだろうレシピ聞かれる 言葉から言葉をつむぐだけなら、AI にだってできる。心から言葉をつむぐとき、歌は命を持つ。375 首を収録した第 7 歌集。

毎日新聞 2023/12/25

2023:10./ 151p
978-4-04-884563-2
¥1,540〔税込〕

髪刈る椅子～吉田哲二句集～(阿吽叢書 第 73 篇)

吉田哲二 著
ふらんす堂
父の手に負へぬ夜泣きや夏の月 子の肩のてんたう虫をまだ告げず 裸子を肩車してゆく裸 闇に田のにほひや弥彦灯籠祭 遺伝とふ恐ろしきもの夏帽子 蝶を追ふ蝶ひるがへり午も過ぎ 吉田哲二の第 1 句集。

毎日新聞 2023/12/25

2023:7./ 211p
978-4-7814-1561-1
¥2,750〔税込〕

日々未来～南十二国句集～

南十二国 著
ふらんす堂
ロボットも博士を愛し春の草 せはしなくあをいてがみを読むひばり 水たまりわつしやんと踏み割れば夏 炎帝へギリシャより来し火を捧ぐ 2007 年から 2022 年までの作品を収めた第 1 句集。

毎日新聞 2023/12/25

2023:9./ 183p
978-4-7814-1580-2
¥2,750〔税込〕

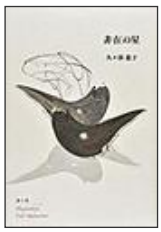
青葡萄～藤田るりこ句集～

藤田るりこ 著
ふらんす堂
シェイクスピア観て夏至の夜を言祝ぎぬ 長き夜の文芸論から組織論 終はりとは始まりであり絵双六 近況報告虹の写真を送り合ひ 流星や己が書店を持つ夢も 2009 年から 2023 年までの 330 句を収めた第 1 句集。

毎日新聞 2023/12/25

2023:9./ 192p
978-4-7814-1591-8
¥3,080〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO



非在の星～久々湊盈子歌集～

久々湊　盈子 著

典々堂

悪だくみするにあらねど冬魚の喉黒うしろめたきまで旨し 二十年ぶりに会いたるママ友と変らないねと嘘をつきあう 冬の夜にまたたく星よ光年の昔に死にて非在の星よ 歌誌『合歓』掲載等を、ほぼ制作順に収めた第 11 歌集。

毎日新聞 2023/12/25

2023:10./ 283p
978-4-910738-00-0
¥3,300〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO